

昭島市教育委員会の事務事業
に関する点検及び評価報告書
(平成 27 年度分)

平成 28 年 9 月

昭島市教育委員会

目 次

	ページ
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第1章 昭島市総合教育会議	
1 昭島市教育に関する大綱・・・・・・・・・・	2
第2章 教育委員会の組織及び活動状況	
1 教育委員会委員・・・・・・・・・・	4
2 教育委員会事務事業を主管する組織・・	4
3 教育委員会の会議における審議内容一覧	
(1) 総合教育会議（企画政策課所管）・・	6
(2) 定例会・・・・・・・・・・	6
(3) 臨時会・・・・・・・・・・	10
4 教育委員会委員の主な活動・・・・・・・・	11
5 教育委員会委員の研修・・・・・・・・・・	13
第3章 主要施策の点検及び評価	
プラン1 確かな学力の定着	
主要施策 1 学習指導要領の確実な定着・・	14
主要施策 2 理数教育の充実・・・・・・・・	22
主要施策 3 読書活動の推進と言語能力の育成	23
主要施策 4 個に応じた支援の充実・・	26
プラン2 豊かな心の醸成	
主要施策 1 人権教育の推進・・・・・・・・	33
主要施策 2 道徳教育の充実・・・・・・・・	35
主要施策 3 体験活動の充実・・・・・・・・	37
主要施策 4 いじめ問題への対応・・	39
プラン3 健やかな体の育成	
主要施策 1 体力向上の推進・・・・・・・・	41
主要施策 2 学校給食・食育の充実・・	45
主要施策 3 学校保健安全の推進・・	48
プラン4 輝く未来に向かって	
主要施策 1 幼・保・小・中が連携した教育の充実	51
主要施策 2 日本の伝統文化教育の充実・・	53
主要施策 3 家庭・地域の教育力の向上・・	55
主要施策 4 学校運営の改善・・・・・・・・	57
主要施策 5 教育環境の整備・・・・・・・・	59
主要施策 6 情報教育の推進・・・・・・・・	61
主要施策 7 環境教育の推進・・・・・・・・	63
主要施策 8 国際理解教育の推進・・	64
主要施策 9 キャリア教育の推進・・	67
プラン5 生涯学習の推進	
主要施策 1 生涯学習・・・・・・・・・・	69
主要施策 2 図書館活動・・・・・・・・・・	73
主要施策 3 文化・芸術・・・・・・・・・・	77
主要施策 4 スポーツ・レクリエーション	79
主要施策 5 文化財・・・・・・・・・・	83
第4章 平成27年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」 の調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・	85
第5章 平成27年度「昭島市立学校教育推進計画」の数値目標及びそれ に対する実績について・・・・・・・・	108
第6章 点検及び評価に関する有識者からの意見・・・・・・・・	120

は じ め に

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図るとともに教育委員会活動の透明性をより高め説明責任を果たすため、毎年、自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に報告し、公表することが義務付けられています。

平成27年4月から地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員会制度、そして教育行政の在り方が大きく変化しています。

昭島市教育委員会では、教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成27年度から、新たな教育活動の推進に向けた、『第2次昭島市教育振興基本計画（平成27年度から平成32年度）』を策定しました。この計画に基づく教育施策及び事業について、学識経験を有する方の知見を活用し、点検評価を行いました。

この報告書において課題とされた事項について、更に検討を加え、学校教育、社会教育の充実に努めてまいります。

平成28年 9月

昭島市教育委員会

第1章 昭島市総合教育会議

1 昭島市教育に関する大綱

第五次基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、本市の教育に関する大綱を次のとおり定めます。

- 市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進します。
- 子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努めます。
- 学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう自主的精神を培い、国際的視野を持ち、健全で豊かな心をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進します。
- 社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指します。
- 子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実を図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図ります。

基本方針

【学校教育】

基本方針１ 確かな学力の定着

- 1 学習指導要領の確実な定着
- 2 理数教育の充実
- 3 読書活動の推進と言語能力の育成
- 4 個に応じた支援の充実

基本方針２ 豊かな心の醸成

- 1 人権教育の推進
- 2 道徳教育の充実
- 3 体験活動の充実
- 4 いじめ問題への対応

基本方針３ 健やかな体の育成

- 1 体力向上の推進
- 2 学校給食・食育の充実
- 3 学校保健安全の推進

基本方針４ 輝く未来に向かって

- 1 幼・保・小・中が連携した教育の充実
- 2 日本の伝統文化教育の充実
- 3 家庭・地域の教育力の向上
- 4 学校運営の改善
- 5 教育環境の整備
- 6 情報教育の推進
- 7 環境教育の推進
- 8 国際理解教育の推進
- 9 キャリア教育の推進

【生涯学習】

基本方針１ 生涯学習

- 1 生涯学習推進体制の整備
- 2 生涯学習の推進
- 3 公民館活動の充実

基本方針２ 図書館活動

- 1 図書館サービスの充実
- 2 図書館資料の充実
- 3 子ども読書活動の支援
- 4 サービス網の整備

基本方針３ 文化・芸術

- 1 市民文化の育成
- 2 自主的な活動の支援
- 3 文化芸術に関する意識の高揚
- 4 文化芸術に接する機会の拡充
- 5 文化芸術を担う人材の育成

基本方針４ スポーツ・レクリエーション

- 1 スポーツ振興計画の推進
- 2 スポーツライフの形成
- 3 スポーツ・レクリエーションの基盤整備

基本方針５ 文化財

- 1 文化財の保護・保存
- 2 文化財の活用

第2章 教育委員会の組織及び活動状況

1 教育委員会委員

※ 平成28年3月31日現在

職 名	氏 名	任 期 期 間	期数
委 員 長	紅 林 由紀子	平成25年6月24日から 平成29年6月23日まで	4期
委 員 (職務代理)	寺 村 豊 通	平成24年4月8日から 平成28年4月7日まで	3期
委 員	石 川 隆 俊	平成24年12月25日から 平成28年12月24日まで	3期
委 員	小 林 和 子	平成24年4月1日から 平成28年3月31日まで	2期
委 員 (教育長)	木 戸 義 夫	平成26年6月22日から 平成30年6月21日まで	4期

2 教育委員会事務事業を主管する組織

教育委員会

部	課	係	主 な 分 掌 事 務
学 校 教 育 部	庶務課	庶務係	・教育委員会の会議に関すること。 ・条例、規則及び規程に関すること。 ・予算及び経理に関すること。 ・事務局及び課内庶務に関すること等
		施設係	・教育施設の建設計画に関すること。 ・教育機関の設置、管理及び廃止の手続きに関すること。 ・教育施設の新営工事及び維持修繕工事に関すること。 ・教育施設関係の補助金に関すること等
	指導課	学務係	・学齢児童及び学齢生徒の就学並びに児童生徒及び幼児の入 学、転学及び退学に関すること。 ・通学区域に関すること。 ・学級編制に関すること。 ・児童及び生徒に係る就学奨励に関すること等
		教職員係	・教職員の任免の内申その他人事に関すること。 ・教職員の服務に関すること。 ・教職員の給与、旅費、退職手当等に関すること。 ・教職員の福利厚生に関すること等
		指導係	・指導事務予算に関すること。 ・教育計画事業の推進に関すること。 ・教科書採択に関すること。 ・教育振興基金に関すること等
		特別支援教育係	・特別支援教育の推進に関すること。 ・教育相談及び適応指導に関すること。 ・就学、転学等の相談に関すること。 ・巡回相談に関すること等
		指導主事	・教育課程編成、実施に関すること。 ・教育施策の企画、実施に関すること。 ・校内研究等、教職員の研修に関すること。 ・学校教育に関する専門的事項の指導に関すること。

部	課	係	主 な 分 掌 事 務
学校教育部	学校給食課	庶務係	・学校給食の計画に関すること。 ・配送に関すること。 ・学校給食運営審議会に関すること。 ・業者登録に関すること等
		収納係	・学校給食費に関すること。 ・給食物資の支払いに関すること。
		共同給食係	・学校給食共同調理場において調理される学校給食に係る次の事務に関すること。 (1) 献立に関すること。 (2) 調理に関すること。 (3) 食品の管理に関すること。 (4) 衛生管理に関すること等
		学校給食運営計画担当	・学校給食の運営計画に関すること。
生涯学習部	社会教育課	社会教育係	・社会教育及び生涯学習の総合調整に関すること。 ・社会教育及び生涯学習に係る行政相談に関すること。 ・社会教育関係団体の育成及び援助に関すること。 ・市史及び文化財の保護、調査に関すること等
	教育福祉総合センター建設室		・(仮称) 教育福祉総合センターの建設に関すること。
	スポーツ振興課	スポーツ振興係	・スポーツ推進委員に関すること。 ・生涯スポーツの推進に関すること。 ・関係団体との連携及び協働に関すること。 ・スポーツの指導者の研修に関すること。 ・総合スポーツセンターの管理及び運営に関すること等
	市民図書館	整理係	・資料の収集及び受入れに関すること。 ・資料の整備、修理及び保存に関すること。 ・資料の分類、配列及び利用案内に関すること。 ・資料の目録の作成に関すること等
		貸出係	・図書館資料の提供及び貸出しに関すること。 ・読書相談及び参考調査に関すること。 ・児童及び学校図書館に対する奉仕に関すること等
	市民会館・公民館	管理係	・市民会館・公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 ・市民会館・公民館の利用承認並びに使用料の徴収、付属設備等の使用料の免除及び還付に関すること。 ・市民会館・公民館の庶務に関すること。 ・市民会館の自主文化事業に関すること等
		事業係	・公民館運営審議会の処務に関すること。 ・各対象別、課題別講座等の開設に関すること。 ・討論会、展示会、音楽会、美術展その他の集会に関すること。 ・公民館事業に係る情報収集及び提供に関すること等

3 教育委員会の会議における審議内容一覧

(1) 総合教育会議（企画政策課所管）

会議名 (開催日)	議 題
第1回 (5月28日) 傍聴者5名	・昭島市総合教育会議運営要綱（案）について ・昭島市教育に関する大綱（案）について
第2回 (10月6日) 傍聴者3名	・平成28年度 昭島市の教育に関する重点施策について

(2) 定例会

会議名 (開催日)	議案等	内 容
第4回 (4月16日) 傍聴者4名	議 案	・平成27年度昭島市立学校第三者評価委員会委員の委嘱について ・平成27年度昭島市立学校学校評議員の委嘱について
	協議事項	・昭島市立つつじが丘南小学校・つつじが丘北小学校の統合後の校名について
	報告事項	・平成27年度小学生英語チャレンジ体験事業の概要について ・平成27年度中学生英語キャンプ事業の概要について ・平成27年度昭島市中学生海外交流事業について ・平成27年度昭島市立学校教職員異動の概要について ・平成27年度昭島市立小・中学校学級編制の状況について ・その他13件
第5回 (5月28日) 傍聴者4名	議 案	・昭島市就学支援委員会委員の委嘱について ・昭島市難聴・言語障害通級指導学級入退級判定委員会委員の委嘱について ・昭島市情緒障害等通級指導学級入退級判定委員会委員の委嘱について ・昭島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について ・昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について ・昭島市学校給食費会計監査役員の委嘱について ・昭島市青少年委員の委嘱について ・平成27年度昭島市青少年教育協力者感謝状の被贈呈者について
	協議事項	な し
	報告事項	・平成27年度昭島市一般会計第1号補正予算（案）＜教育委員会関係＞について ・平成27年度第1回教育委員の学校訪問について ・平成26年度「昭島市立学校教育推進計画」の成果と課題並びに平成27年度「昭島市立学校教育推進計画」について ・平成27年度各学校における補習指導等実施状況一覧について ・市立会館の改修工事等に伴う休館について ・その他8件

会議名 (開催日)	議案等	内 容
第 6 回 (6 月 26 日) 傍聴者 6 名	議 案	・平成27年度昭島市立学校学校評議員の委嘱について ・昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について ・昭島市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について
	協議事項	な し
	報告事項	・平成 27 年第 2 回昭島市議会定例会一般質問＜教育委員会関係＞について ・平成 27 年度昭島市中学生海外交流事業派遣生、平成 27 年度昭島市小学生英語チャレンジ体験事業及び平成 27 年度昭島市中学生英語キャンプ事業参加者の決定について ・（仮称）教育福祉総合センターの整備について ・その他 7 件
第 7 回 (7 月 16 日) 傍聴者 6 名	議 案	・昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について ・昭島市学校給食費会計監査役員の委嘱について
	協議事項	な し
	報告事項	・昭島市学力・学習状況調査結果（中学校 1 年生）について ・昭島市中学生ネットいじめ防止サミットの実施について ・平成27年度学級満足度調査の実施について ・つつじが丘南小学校・つつじが丘北小学校統合準備委員会委員の委嘱及び経過報告について ・その他 7 件
第 8 回 (8 月 20 日) 傍聴者53名	議 案	・平成 28 年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択について
	協議事項	な し
	報告事項	・平成 27 年度昭島市一般会計第 2 号補正予算(案)＜教育委員会関係＞について ・平成 27 年度小学生英語チャレンジ体験事業及び中学生英語キャンプ事業実施報告について ・平成 27 年度中学生海外交流事業（派遣）実施報告について ・昭島市立学校学区の変更について ・昭和町分室改修及び補強工事について ・その他14件
第 9 回 (9 月 24 日) 傍聴者 5 名	議 案	な し
	協議事項	・昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書（平成26年度分）について
	報告事項	・平成 27 年第 3 回昭島市議会定例会一般質問＜教育委員会関係＞について ・平成 27 年度第 2 回教育委員の学校訪問について ・平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果について ・振り込め詐欺防止講演会等の実施について ・昭島市民文化祭の開催について ・その他 7 件

会議名 (開催日)	議案等	内 容
第10回 (10月15日) 傍聴者 3 名	議 案	・昭島市教育委員会表彰被表彰者について
	協議事項	・昭島市立学校設置条例の一部を改正する条例 ・昭島市立学校施設設備使用条例の一部を改正する条例
	報告事項	・平成 27 年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査（東京都統一体力テスト）の結果について ・平成 26 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について ・格技道場の閉鎖について ・その他10件
第11回 (11月19日) 傍聴者 3 名	議 案	・昭島市立学校における教育課程編成基準 ・昭島市立公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則
	協議事項	な し
	報告事項	・平成 28 年度予算編成方針について ・平成 27 年度昭島市一般会計第 3 号補正予算（案）＜教育委員会関係＞について ・教育委員と市立小中学校長との教育懇談会について ・学校給食運営のあり方について～「昭島市学校給食運営基本計画」～（答申案）に関するパブリックコメントの実施について ・市民図書館の耐震補強工事に伴う休館について ・その他 8 件
第12回 (12月17日) 傍聴者 3 名	議 案	な し
	協議事項	・平成27年度昭島市立学校卒業証書授与式及び平成28年度昭島市立学校入学式におけるお祝いのことばについて
	報告事項	・平成 27 年第 4 回昭島市議会定例会一般質問＜教育委員会関係＞について ・平成 27 年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都）」の結果について ・平成 27 年度 L e t ' s 食育実践発表会の開催について ・改修工事等に伴う市立昭和会館及び図書館昭和分館の休館について ・昭島市民球場ネーミングライツ・パートナーの募集結果について ・その他 6 件

会議名 (開催日)	議案等	内 容
第1回 (平成28年 1月14日) 傍聴者5名	議 案	・昭島市公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則
	協議事項	な し
	報告事項	・昭島市実施計画（平成28年度～平成30年度）＜教育委員会関係＞について ・平成27年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果について ・特別支援教室の開設について ・みほり体育館研修室の利用休止について ・その他5件
第2回 (2月9日) 傍聴者3名	議 案	・昭島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則 ・昭島市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令
	協議事項	・平成28年度教育施策推進の基本的考え方について ・昭島市スポーツ推進計画の策定について
	報告事項	・平成27年度昭島市一般会計第4号補正予算（案）＜教育委員会関係＞について ・昭島市立学校の移動教室等における看護師配置要綱 ・昭島市立学校土曜・放課後等補習教室実施要綱の一部を改正する要綱 ・平成27年度東京都教育委員会職員表彰について ・平成28年度昭島市公立学校教職員異動に伴う辞令伝達式の日程について ・その他12件
第3回 (3月17日) 傍聴者5名	議 案	・昭島市教育委員会表彰被表彰者について ・平成28年度昭島市立学校の教育課程の受理について ・昭島市立小中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について ・昭島市公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則 ・昭島市学校給食運営基本計画の策定について ・昭島市青少年委員の委嘱について ・昭島市スポーツ推進委員の委嘱について
	協議事項	な し
	報告事項	・平成28年度昭島市一般会計予算＜教育委員会関係＞について ・平成28年度予算編成に対する昭島市議会各会派からの要望等＜教育委員会関係＞について ・平成28年第1回昭島市議会定例会代表質問及び一般質問＜教育委員会関係＞について ・平成27年度昭島市立学校第三者評価委員会の評価結果について ・平成27年度昭島市立中学校における進路決定の状況について ・その他20件

(3) 臨時会

会議名 (開催日)	議案等	内 容
第3回 (6月12日)	報告事項	・平成28年度昭島市立中学校で使用する教科用図書の採択について
第4回 (6月23日)	議 案	・昭島市教育委員会委員長及び委員長職務代理者の選任について
第5回 (10月15日)	報告事項	・平成27年度校長選考・教育管理職選考 一次選考状況について
第6回 (12月17日)	報告事項	・平成27年度校長職候補者選考及び教育管理職候補者選考の結果について
第1回 (平成28年2月9日)	議 案	・平成28年度昭島市公立学校長等の任命に関する内申について
第2回 (2月24日)	議 案	・昭島市教育委員会委員の辞職につき同意を求めることについて
第3回 (3月17日)	議 案	・平成28年度昭島市教育委員会統括指導主事の配置について ・平成28年度昭島市立学校校長・副校長の一覧について

4 教育委員会委員の主な活動

事業名	実施日	場所
校長辞令伝達式	平成27年 4月1日	市民ホール
昭島市教育委員会表彰式（平成26年度第2回）	4月5日	市民ホール
小学校入学式	4月6日	各小学校
中学校入学式	4月7日	各中学校
東京都教育施策連絡会	4月9日	東京都庁第一本庁舎
東京都市町村教育委員会連合会理事会	4月30日	東京自治会館
昭島市租税教育推進協議会総会	5月14日	市役所201会議室
東京都市町村教育委員会連合会定期総会	5月19日	東京自治会館
昭島市体育協会評議委員会（総会）	5月25日	市民ホール
関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会、研修会	5月29日	新潟県長岡市
昭島市立公立小学校PTA協議会総会	6月5日	市民交流センター
昭島市中学生海外交流事業結団式	6月7日	市役所602・603会議室
昭島市立公立中学校PTA協議会総会	6月19日	市民交流センター
教育委員会学校訪問（第1回）	6月26日	拝島第一小学校、つつじが丘南小学校
東京都市町村教育委員会連合会第1回研修推進委員会	7月2日	東京自治会館
東京都市教育長会研修会	7月16日	東京自治会館
東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会及び第1回理事研修会	8月27日	東京自治会館
第35回昭島市書道連盟表彰式	8月30日	公民館
シェントン・カレッジ歓迎セレモニー	9月1日	庁議室
「未来をひらく」発表会	9月12日	市民ホール
第62回昭島市民体育大会開会式	9月13日	KOTORIホール
小学校音楽鑑賞教室	9月16日	KOTORIホール
東京都市町村教育委員会連合会管外視察研修	10月9日	群馬県藤岡市
昭島市民文化祭	10月9日～ 11月3日	KOTORIホール・公民館
市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル2015	10月12日	昭和公園内運動施設
教育委員会学校訪問（第2回）	10月15日	成隣小学校、多摩辺中学校
東京都市町村教育委員会連合会第2ブロック研修会	10月23日	フレスポ国立南 南区公会堂
東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会	10月27日	武蔵野スイングホール
昭島市教育委員会表彰式（平成27年度第1回）	11月3日	市民ホール
小学校音楽会	11月6日	KOTORIホール

事業名	実施日	場所
昭島市教育懇談会	11月18日	フォレスト・イン昭和館
中神小50周年記念式典・祝賀会	11月21日	中神小学校、フォレスト・イン昭和館
2015青少年フェスティバル	11月22日	KOTORIホール・公民館
税の作文・標語表彰式	12月7日	市長応接室
平成28年昭島市まちづくり新年賀詞交歓会	平成28年 1月7日	フォレスト・イン昭和館
第61回新春駅伝競走大会	1月10日	光華小東～八清通り～光華小北
第62回成人式	1月11日	フォレスト・イン昭和館
市民との懇談会、校長との教育懇談会	1月14日	市民交流センター
東京都市町村教育委員会連合会第3回理事会及び 第2回理事研修会	1月15日	東京自治会館
特別支援学級合同学習発表会	1月16日	KOTORIホール
第55回新春たこあげ大会	1月17日	拝島自然公園他4箇所
Let's食育実践発表会	1月25日	市民ホール
小学校展覧会	1月29日～ 31日	公民館
第4回昭島市自治会ブロック対抗スポーツ大会	2月7日	総合スポーツセンター
第62回昭島市民体育大会閉会式	2月15日	市民ホール
東京都市町村教育委員会連合会研修会	2月16日	東京自治会館
中学校卒業式	3月18日	各中学校
小学校卒業式	3月25日	各小学校

5 教育委員会委員の研修

事業名	実施日	場所	内 容
関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会研修会	5月29日	長岡市立劇場	演題 「儒学者 小林虎三郎がめざした教育理念」 講師 河井継之助記念館館長 稲川 明雄 氏
東京都市町村教育委員会連合会第1回理事研修会	8月27日	東京自治会館	演題 「市町村立学校における学校教育の充実に 向けて」 講師 東京都多摩教育事務所 指導課長 宇 田 剛 氏
東京都市町村教育委員会連合会管外視察研修	10月9日	富岡製糸場ほか	高山社跡、多胡碑記念館及び富岡製糸場の見学
東京都市町村教育委員会連合会第2ブロック研修会	10月23日	プレスポ 国立南・ 南区公会 堂	講演 「児童養護について」 講師 至誠学園名誉学園長 法政大学名誉教授 高橋 利一氏
東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会	10月27日	武蔵野ス イニングホ ール	講演 「児童・生徒に育成すべき資質・能力～21 世紀型能力としての教科等を横断する汎用 的なスキル～」 講師 上智大学総合人間科学部教育学科長 奈須 正裕 氏
東京都市町村教育委員会連合会第2回理事研修会	平成28年 1月15日	東京自治 会館	演題 「初等中等教育における諸課題」 講師 文部科学省初等中等教育局財務課教育財政 室長 丸山 洋司 氏
東京都市町村教育委員会連合会研修会	2月16日	東京自治 会館	演題 「子どもの心が飛躍する時 ～感性・思考 力を引き出す『本の力』～」 講師 ノンフィクション作家・評論家 柳田 邦男 氏

第3章 主要施策の点検及び評価

第2次昭島市教育振興基本計画(平成27年度～32年度実施)

- プラン1 確かな学力の定着
- プラン2 豊かな心の醸成
- プラン3 健やかな体の育成
- プラン4 輝く未来に向かって
- プラン5 生涯学習の推進

プラン1 確かな学力の定着

主要施策 1 学習指導要領の確実な定着

子ども一人一人に学習指導要領に示されている基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるために、子どもの学習意欲の向上や学習規律の確立を図ることは重要です。また、子どもの特性や習熟の程度に応じた学習集団を編成したり、指導体制や指導方法を工夫したりするなど、個に応じた教育を推進することは大切です。

そのためには、小学校4年生から中学校3年生で実施する学力調査の結果を分析し、その結果から「授業改善推進プラン」を作成し、授業の質的改善を図らなければなりません。

また、それらの目的を達成するために、教職員は常に研究と修養に努め、その指導力を高めることが求められています。

【施策の取組状況】

- (1) 教職員の指導力の向上
- (2) 授業改善の推進
- (3) 個に応じた指導の充実
- (4) 子どもの実態に合った教科用図書の採択と副読本の作成
- (5) 教職員のサービスの充実

番号	施策・事業名	概要	取組内容
1-(1)	教職員の研修 の充実 【指導課】	主任・主幹教諭の研修、加えて副校長・校長の研修などについて、職層に応じた研修の実施やOJTの充実を図ります。	職層に応じて、4月に新任主任教諭、7月に主任教諭2年目、主幹教諭研修、管理職を対象とした研修を実施しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(1)	若手教員の育成 【指導課】	初任者から3年次までの教員の指導力を育成するための研修を実施します。	初任者研修では「問題解決的な学習」を主なテーマに10回、2年次研修では「指導と評価の一体化」を主なテーマに3回、3年次研修では「言語活動の充実」を主なテーマに2回行いました。
1-(1)	教育研究会との連携 【指導課】	教育委員会は、教員が研究を行っている小学校教育研究会・中学校教育研究会と連携し、指導力の向上を図ります。	小学校教育研究会は年8回、中学校教育研究会は年7回の研修会を開催し、授業研究を中心に指導力の向上を図りました。
1-(1)	教育委員会研究 指定校制度の活用 【指導課】	様々な教育課題や施策推進に対しての研究を推進する学校を指定し、全校で共有し、教育活動を推進します。	東小学校・中神小学校・成隣小学校は国語科、拝島第二小学校は算数科、光華小学校は体育科、多摩辺中学校は特別支援教育において研究及び研究発表会を実施し、研究紀要を各校に配布しました。また、全教員が1回以上、研究発表会に参加しました。
1-(1)	教員における リーダー層の育成 【指導課】	校長・副校長への人材発掘をはじめ、有望な若手教員への研修への積極的なアプローチを行い、リーダー層を育成します。	若手の主任教諭を対象とした学校マネジメント講座を実施し、ミドルリーダーとしての意識や役割について研修を行いました。14名の教員が受講しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(2)	学力調査の実施 【指導課】	子どもの学力向上を図るために小学校４年生と中学校１年生で市独自の調査を実施します。また、国の調査を小学校６年生と中学校３年生で、都の調査を小学校５年生と中学校２年生で実施し、授業改善の指標とします。	全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率の比較では、小学校（国語Ａ：＋0.1ポイント、国語Ｂ：－2.3ポイント、算数Ａ：－1.9ポイント、算数Ｂ：－1.3ポイント）、中学校（国語Ａ：＋0.4ポイント、国語Ｂ：－0.5ポイント、数学Ａ：－0.6ポイント、数学Ｂ：－0.7ポイント）でした。都及び市の学力調査の結果においても同様の傾向がありました。教務主任会で子どもの実態を伝え、各校での分析結果を生かした授業改善推進プランに生かすことや取組方法について指導しました。また、市の子どもの学力定着の課題を集めた確認問題集を作成し、各校に配布しました。 (※全国学力・学習状況調査、都及び市の学力調査の教科別平均正答率については〔表１〕～〔表３〕のとおり)
1-(2)	授業改善推進 プランの作成・活用 【指導課】	各学力調査の結果を学校ごとに分析し、「授業改善推進プラン」を作成し、授業の質的向上を図るとともに、子どもの学力の定着を図ります。	全校が全教科で授業改善推進プランを作成し指導に生かすとともに、指導主事が学校訪問を延べ 73 回実施し、プランの実施状況の効果・確認等を行いました。
1-(2)	学力向上推進 委員会での研究 【指導課】	小・中学校の学力向上のための方策について検討し、推進する委員会を実施、子どもに確かな学力を身に付けさせます。	全校の学力推進委員からなる学力向上推進委員会を 5 回開催し、算数・数学の授業の充実について検討を行い、リーフレット『『東京方式 習熟度別指導ガイドライン』に基づく授業の充実』を作成し、市内全教員に配布し、啓発を行いました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(2)	学習規律の徹底 【指導課】	授業内容の定着をより図るために、子どもたちに学習に取り組む規準を示し、徹底を図ります。	6つの中学校区の小中連携事業の取組の中で、小中共通の学習規律の項目を作り、全校で実践しました。
1-(3)	習熟度別指導等の実施 【指導課】	少人数習熟度別学習など、子どもの実態に合わせた指導を実施するとともに、各校の教員が集まり効果的な指導法を検討します。	小学校では、主に第4学年以上の算数、中学校では数学・英語において少人数習熟度別学習を実施しました。また、教育委員会職員及び指導主事が定期的に訪問し、指導内容・方法について、指導・助言を行いました。
1-(3)	東京ベーシックドリルの活用 【指導課】	小学校4年生までに習得すべき基礎的・基本的な内容のドリルを活用し、一人一人の子どもに応じた指導を行います。	教育委員会で印刷・製本した東京ベーシックドリルを小学校4年生全員に配布し、各校での活用を促しました。東京ベーシックドリルは、小学校土曜補習事業全体でも活用しました。
1-(3)	土曜日・放課後補習の実施 【指導課】	学校と教育委員会が連携して、土曜日や放課後等に子どもの学習状況に応じて補習を行い、確かな学力の定着を図ります。	全小・中学校において、土曜日補習を延べ1,752時間、103人の指導員で実施しました。放課後補習は、延べ535時間、41人の指導員で実施しました。指導員については、教育委員会が人材を取りまとめて派遣を行いました。各校の1回あたりの平均参加児童・生徒数は約46人でした。
1-(4)	教科用図書の採択 【指導課】	昭島市の小・中学校で使用する教科用図書が子どもの実態に合ったものとなるよう選定資料を作成し、教育委員会で適正に採択します。	平成28年度から中学校で使用する教科用図書について、校長会、副校長会、調査研究部、学識経験者、保護者の代表15名からなる選定資料作成委員会を2回開催し、選定資料を適切に作成しました。その資料を基に教育委員会にて採択を行いました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(4)	社会科副読本の編集・作成 【指導課】	昭島市のことについて学ぶ、「わたしたちの昭島市」を作成し、小学校3・4年生の社会科の学習で活用します。	「わたしたちの昭島市」を1,000冊発行し、市内第3学年児童に配布しました。活用しやすい副読本を目指し、副読本作成委員会を3回開催し、検討を行いました。
1-(5)	子どもと触れ合う時間の確保 【指導課】	教職員が子どもと触れ合う時間を確保するために、業務の効率化や削減を行います。また、ワークライフバランスを考えた職場環境の充実に努めます。	全校に校務改善推進委員会を設置し、各校で校務改善に取り組み、業務の効率化を図りました。
1-(5)	教職員の服務の徹底 【指導課】	体罰の根絶など、教職員の服務事故防止に向けた研修を実施し、服務の徹底を図ります。	全小・中学校において年に2回以上の全教職員悉皆の服務事故防止研修を実施し、服務の徹底を図りました。

〔表 1〕

〈全国学力・学習状況調査〉

調査対象：全小学校6年生及び全中学校3年生

実施日：平成27年4月21日

		教科別平均正答率				
小 学 校	教 科	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	計
	国平均	70.0	65.4	75.2	45.0	255.6
	昭島市	70.1	63.1	73.3	43.7	250.2
中 学 校	教 科	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	計
	国平均	75.8	65.8	64.4	41.6	247.6
	昭島市	76.2	65.3	63.8	40.9	246.2

〔表 2〕

〈東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査〉

調査対象：全小学校5年生及び全中学校2年生

実施日：平成27年7月2日

		教科別平均正答率					
小 学 校	教 科	国語	社会	算数	理科		計
	都平均	62.5	56.8	63.7	67.3		250.3
	昭島市	58.8	51.9	61.4	65.0		237.1
中 学 校	教 科	国語	社会	数学	理科	英語	計
	都平均	54.3	52.7	57.0	50.0	59.6	273.6
	昭島市	50.6	50.2	53.0	48.8	56.3	258.9

〔表 3〕

〈市独自の児童・生徒の学習状況を把握するための調査〉

調査対象：全小学校 4 年生及び全中学校 1 年生

実施日：（小学校）平成28年 1 月14日

（中学校）平成27年 4 月16日

		教科別平均正答率		
小 学 校	教 科	国語	算数	計
	国平均	71.8	68.4	140.2
	昭島市	65.9	63.8	129.7
中 学 校	教 科	国語	数学	計
	国平均	68.1	68.4	136.5
	昭島市	66.1	67.6	133.7

【主な課題】

（a） 教員の研修について

若手教員の増加により、教員の指導力の向上を図る取組が求められており、研修時間等の確保やOJTの充実を図る必要がある。

（b） 児童・生徒の学力向上について

各種学力調査の結果では、全国や都の平均正答率を若干下回る状況であるが、全国学力・学習状況調査の国語A問題では、国の平均正答率を上回る結果となった。基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指してきた取組の成果が見られ始めているが、依然として基礎的・基本的な知識・技能の定着には、課題が見られる。特に学力の二極化傾向が見られ、学習の定着に遅れのある児童・生徒への指導の充実が課題である。また、学校間において、平均正答率にばらつきが見られ、各学校の実態に応じた、学力向上策の立案が必要である。

（c） 学力調査の活用について

各校が調査結果を分析・作成した授業改善推進プランを活用した授業に取り組むとともに、昭島市の実態として児童・生徒の理解が十分ではない問題を確認問題集として作成し配布しているが、通常の授業との関連性が不明確で活用方法の周知も不十分だったこともあり、効果が薄かった。

（d） 東京ベーシックドリルについて

内容が問題集のようで、習熟が低い子どもが取り組むには難しい。もう少しレイアウトを使いやすく工夫し、子どもが意欲的に取り組めるようにする必要がある。

（e） 土曜・放課後補習について

各校の実施状況が6回から27回と実施回数に差があるので、取組方法を検証し、学力向上策の一環として改善していく必要がある。また、参加者の学力に差があり、課題のある児童・生徒の指導が十分にできていない。

(f) 教員の労働安全衛生について

毎月実施している任意の教員の勤務時間を超える労働時間調査は、提出率が41%であり、教員に調査方法に対する負担感がある。2月の悉皆の教員の勤務時間を超える労働時間調査では、小学校教員が平均47時間、中学校教員が平均53時間の時間外労働を行っており、100時間を超える教員が小学校で4人、中学校で9人いた。中学校においては、部活動顧問教員は、部活動が放課後や土日に行われるため、在校時間が長くなっている。

(g) 教員の体罰について

体罰にはいたらないが、児童・生徒に対する不適切な指導、暴言があった。

【今後の取組の方向性】

(a) 教員の研修について

今後の学習指導要領改訂の焦点である「アクティブ・ラーニング」の研修を学校運営研修会で取り上げ、教員の資質向上を図る。

(b) 児童・生徒の学力向上について

学習の定着に遅れのある児童・生徒の指導の充実を図るために、習熟度別少人数指導を充実させる。また、土曜日放課後補習教室を活用しながら、家庭学習の習慣化を図り、自ら学習する態度を育てる。また、授業改善推進プラン、教育推進計画を活用して、各校が実態に応じた学力向上に向けた取組を行う。

(c) 学力調査の活用について

学力を身に付けさせるための方策を明確にするために各教科等の改善方法を一つにしぼって授業改善推進プランを作成する。

授業改善推進プランに基づいた取組や学力向上に効果のあった取組について教務主任会で発表・協議し、各校のレベルアップを図る。

(d) 東京ベーシックドリルについて

東京都教委員会に使いやすいドリルを作成するよう要望していく。また、学校における活用方法について、教務主任会等で周知していく。

(e) 土曜・放課後補習について

回数、内容、支援員の支援方法、該当する子どもへのアプローチなどを見直し、基礎学力の定着を図るための取組を行う。また、主任指導員制度を設け、課題のある児童・生徒に個別指導ができるように指導員を割り振るなど効果的に指導ができる体制を目指す。

(f) 教員の労働安全衛生について

タイムレコーダーを導入して、全教員の時間外労働の状況を把握し、内容を分析し、活用していく。学校においても管理職が教員の時間外労働を把握して対応していくとともに教員自身も時間管理の意識を高めていく。また、部活動顧問教員が部活動に出席しなくても指導ができる部活動支援員の配置を検討する。

(g) 教員の体罰について

継続して全小・中学校において年に2回以上の全教職員悉皆の服務事故防止研修を実施し、体罰防止を含めた服務の徹底を図る。また、教育委員会主催の初任者研修、10年経験者研修において体罰防止を含めた服務に関する研修を実施する。

プラン1 確かな学力の定着

主要施策 2 理数教育の充実

学術研究や科学技術の分野において、世界で活躍する人材を育成するためには、その土台である理数教育の充実を図る必要があります。科学に関する基礎的な素養を身に付けるとともに、仮説を立てて観察・実験を行い、その結果を評価して表現したり、帰納的な考え方や演繹的な考え方を活用したりするなど、思考力・判断力・表現力の育成に向けた指導内容の充実を図ります。

また、観察・実験において子どもの学習意欲を高めるよう教員研修を実施します。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2	理科実技実験研修 の実施 【指導課】	小学校若手教員を対象に理科の実験に関する研修会を実施し、模擬授業を実践するとともに、実験の演習を通じて指導力の向上を図ります。	初任者研修の課題別研修として指定し、2回実施し、延べ42人が受講しました。理科の実験を行う際のポイント、安全管理についての研修を行いました。
2	理数フロンティア 事業 【指導課】	東京都から指定された理数フロンティア校における実践を市内小・中学校に広めるとともに、様々な教材を提供します。	平成26年度で東京都の理数フロンティア事業が終了したため、理科実技研修事業で成果を還元しました。

【主な課題】

(a) 理数教育について

子どもの理科離れを防ぐために、教員の理科指導の能力を身に付ける必要がある。

【今後の取組の方向性】

(a) 理数教育について

理科の観察や実験において、子どもの学習意欲を高めるように初任者教員を対象に理科実技実験研修を引き続き実施する。また、小学校においても理科の専科教員の配置について柔軟に対応していく。

プラン1 確かな学力の定着

主要施策 3 読書活動の推進と言語能力の育成

各校で「学校図書館活用計画」を作成し、学校図書館担当教員、司書教諭、学校司書及びボランティアなどが連携し、子どもの読書活動を一層推進します。

また、学校図書館と市民図書館の連携を強化するとともに、子どもに読書活動を通して考える力や豊かな感性、情緒などを身に付けさせ、人間力の基礎となる「言語力」の育成を図ります。

東京都から指定された、言語能力向上拠点校を中心とした取り組みを、学力向上推進委員会を通じて広めます。

【施策の取組状況】

- (1) 読書活動の推進
- (2) 司書の専門性の活用
- (3) 言語能力の育成

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
3-(1)	全校一斉朝読書の実践 【指導課】	市内全校で朝読書を実施し、言語能力の向上を図るとともに、豊かな感性や思いやりの心をはぐくみます。	小学校は、学期毎に1週間程度の期間を設けて実施しました。中学校は年間をとおして、実施しました。
3-(1)	読み聞かせの実践 【指導課】	学級担任や上級生、ボランティア等による「読み聞かせ」を実施し、読書への関心を高めます。	全小学校で図書ボランティアや上級生が読み聞かせを行いました。
3-(1)	学校図書館の蔵書の充実 【庶務課】	子どもに親しまれる図書や調べ学習に役立つ図書資料の充実に努めます。	古い図書等の整理を行い、各学校の予算の範囲内で図書を購入しました。その結果、学校図書館図書標準に対する蔵書率は、小学校全校及び中学校4校で100%を超え、全体として小学校は137%、中学校は106%となっています。
3-(1)	学校図書館の利用促進 【指導課】	学校図書館の利用促進を図るための指導を行います。	国語の読書の時間を中心に総合的な学習の時間や社会科等の調べ学習の活用が促進されました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
3-(2)	学校司書の派遣と 図書ボランティア による活動の推進 【指導課】	学校司書を派遣し、学校図書館の充実を図るとともに、図書ボランティアの育成を図り、学校における読書活動を推進し、子どもの豊かな感性や情緒を身に付けさせるとともに、言語能力を育成します。	小・中学校全校に司書教諭を配置し、各校に支援員を年間 30 回程度派遣するとともに、図書ボランティアを活用して読書活動の充実を図りました。
3-(2)	学校図書館管理 システムの活用 【指導課】	学校図書館管理システムの活用を図り、子どもたちの読書傾向を分析し、図書購入の資料とするとともに、言語能力育成に生かします。	各分野の蔵書割合を基に、バランスのとれた図書購入を行いました。国語の読書の時間を中心に総合的な学習の時間や社会科等の調べ学習において、子どものニーズに合った本をそろえられるようにしました。
3-(3)	言語能力向上 拠点校の取組 【指導課】	拠点校において、伝統的な言語文化の理解や社会生活に役立つ言語の技能及びコミュニケーション能力の育成についての研究に取組み、その成果を広めます。	東京都教育委員会言語能力向上拠点校として、3校が指定を受けました。東小学校と中神小学校が国語科において、拝島第二小学校は算数科を通して、言語活動の充実を図り、研究発表を行いました。
3-(3)	子どもの主張意見 文コンクールの 開催 【指導課】	「青少年とともにあゆむ都市宣言」に基づき、自分の思いを発表する意見文コンクールを開催します。	国語の「書く」能力を育成し、小中学校全校で意見文に取り組みました。応募数は2,331点、2回の委員会を開催し、30点の入選作品を選定しました。コンクールには、243人の参観がありました。

【主な課題】

(a) 読書活動について

国語の授業の充実に伴い、読書活動にかかわる授業時数の確保が難しい。
また、調べ学習で活用する授業が集中してしまい、図書室に子どもが入りきれない場合があった。

(b) 昭島市に関連する図書について

学校の図書館は市の発行する図書がまとまってなく、子どもの調べ学習には使いにくい。

(c) 学校図書館運営業務の人材の確保について

司書教諭は全校に配置されているが、専任ではないため図書館運営業務に携わる時間が十分に確保できていない。また、司書資格を持っている学校図書館支援員（委託業務）の配置日数が年30日と少ない状況がある。

(d) 学校図書館の運用の仕方について

学校図書館運営委託業者が入札で毎年決まるため、場合により業者が変更になり、その学校の特性や利用状態への知識が白紙になり、安定した運用に時間を要する。

【今後の取組の方向性】

(a) 読書活動について

国語の授業以外の時間（朝の時間・休み時間・放課後等）を工夫して活用する。また、学校全体の年間指導計画を作成し、調べ学習で活用する授業を計画的に分散する。

(b) 昭島市に関連する図書について

各学校の図書館に昭島市に関連する図書コーナーを設置していく。

(c) 学校図書館運営業務の人材の確保について

司書教諭の継続配置及び更なる授業時数軽減について、都市教育長会をとおして東京都教育委員会に要望する。また、学校図書館支援員の配置日数を年45日程度に増加し、学校図書館業務を行う。

(d) 学校図書館の運用の仕方について

今年度は業者の変更がなかったために、スムーズな運営ができている。業者の変更があった場合は、学校図書貸出システムや図書データベースシステムの活用方法等についての研修会を教員、図書ボランティア、学校図書館運営支援員に対して実施する。

プラン1 確かな学力の定着

主要施策 4 個に応じた支援の充実

発達障害を含めた特別な支援を必要とする子どもをトータルな面から支援する体制を整え、子どもの一人一人の教育ニーズを把握し、もてる力を高め、生活や学習の困難を改善・克服するための特別支援教育を推進します。

また、不登校傾向にある子どもに適応指導教室における支援を行うことや、教育に関する悩みがある保護者が相談しやすいよう相談体制を充実します。

【施策の取組状況】

- (1) 特別支援教育の充実
- (2) 不登校への対応・適応指導の充実
- (3) 教育相談体制の充実
- (4) 就学援助等による支援

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(1)	推進体制の整備 【指導課】	特別支援学級を始め、特別支援教室を開設し、子どもが必要としている支援に応じた教育を行います。	平成 28 年 4 月の特別支援教室の開設に向け、前年の 10 月から拝島第一小学校に特別支援教室をプレ開設し、児童、保護者への理解の促進を図った。
4-(1)	教育内容の充実 【指導課】	通級指導学級における教育課程や個別の教育支援計画の充実を図ります。また、交流や共同学習を実践します。	通級指導学級担当教員を対象とした通級指導学級部会、知的障害特別支援学級担当教員を対象とした特別支援学級部会を年間で各 3 回開催し、教育課程の内容の充実や個別の教育支援計画の作成方法、交流及び共同学習の実践等について研修を行いました。
4-(1)	人材の育成 【指導課】	すべての教員が特別支援教育に携わることから、研修を実施するとともに、教育内容を充実します。	多摩辺中学校が「特別支援教育の視点を踏まえた指導の充実」を研究主題に研究指定校として研究に取り組み、研究発表会を行い、研究成果を広めました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(1)	特別支援教育関係 機関との連携 【指導課】	エリア・ネットワークを活用し、都立あきる野学園などの関係機関との連携を図るとともに「居住地交流」や「副籍交流」を活性化し、特別支援教育を推進します。	「居住地交流」は 20 名、「副籍交流」は 29 名の子どもが障害の程度に応じた交流内容を保護者等と協議して実施しました。
4-(1)	特別支援教育 の啓発活動の推進 【指導課】	特別支援教育について多くの方に理解していただくために、説明会や研修会を定期的を実施します。	特別支援教育市民説明会を年 2 回実施して、市民の方に発達障害の特性についての講演会と市の特別支援教育の取り組みや内容の発表を行いました。参加者は延べ 115 人でした。
4-(1)	情緒障害等通級 指導学級での 指導の充実 【指導課】	情緒障害等通級指導学級に指導員を配置し、子どもへの指導を充実させるとともに、通級指導学級の担任が子どもの在籍校を巡回指導します。	情緒障害等通級指導学級に 5 人の指導員を配置しました。通級指導学級の担任は、学期始めを中心に在籍校の巡回指導を実施しました。
4-(1)	特別支援学級 の開設 【指導課】	支援を必要とする子どもに対して、個に応じた指導が充実できるよう、特別支援学級を開設します。	平成 28 年度に光華小学校と拝島中学校に情緒障害等通級指導学級を開設するため、グループ学習や個別指導ができるように教室の改装工事、備品購入等、教室環境の整備を進めるとともに、市民への周知を行いました。
4-(2)	適応指導教室の指 導體制と指導内容 の充実 【指導課】	適応指導教室における指導體制と指導内容を充実し、不登校傾向にある子どもが学校復帰できるよう支援します。	適応指導教室には、小学生 18 人、中学生 28 人が通室しました。通室児童・生徒に対して、個別指導を継続的に行い、学校復帰した児童・生徒が 8 人いました。(※適応指導教室児童・生徒在籍状況については〔表 4〕のとおり)

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(2)	学校と家庭の 連携推進事業 【指導課】	不登校・いじめなどの生活指導の課題に対応するため、支援員を配置し、地域や学校の実態にあった取組を行います。	全校に学校と家庭の連携支援員を配置し、登校時の家庭訪問や登校後の子どもへの個別指導により、不登校傾向の子どもに支援を行いました。（※児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題（不登校）に関する調査については〔表5〕のとおり）
4-(3)	窓口を一本化した 相談体制の充実 【指導課】	特別支援教育を含め、学校教育に関しての相談について、窓口を一本化し、充実した相談活動を行います。	学務係が窓口対応を行い、相談内容によって各担当係に振り分ける体制を図りました。
4-(3)	適切な就学 【指導課】	子どもが適切な教育を受けることができるよう就学相談を実施します。	特別支援教育係が年間を通して、随時、就学相談を受け、必要に応じて就学相談委員会（年16回開催）につなげる体制をとりました。
4-(3)	スクールカウンセ セラーの配置 【指導課】	子どものみならず保護者の相談に応じるために、全校にスクールカウンセラーを配置します。	スクールカウンセラーを全校に配置し、子ども・保護者の相談に応じました。
4-(3)	スクールソーシャル ワーカーの派遣 【指導課】	教育相談室にスクールソーシャルワーカーを配置し、子どもの様々な行動や保護者のもつ課題について関係諸機関との連携を図り、解消します。	スクールソーシャルワーカーを教育相談室に毎日配置し、子どもや保護者の家庭にかかわるトラブルに、円滑な対応ができる体制をとりました。
4-(3)	教育相談研修・ 教育相談担当者会 の実施 【指導課】	教員が教育相談の能力を身に付け、子どもとの関わり方を学ぶための研修を実施します。また、教育相談の担当者が集まり各校の取組について情報交換を行います。	初任者及び希望者を対象に教育相談基礎研修を実施し、20人が受講しました。10年経験者及び希望者を対象に教育相談研修を一日行い、35人が受講しました。また、教育相談担当者会を年2回開催し、情報交換を実施しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(3)	教育相談室の充実 【指導課】	教育相談員のキャリアアップを図るとともに、相談体制をより整備し、教育相談の充実を図ります。	東京都教育委員会指導主事を講師に、臨床心理士とSSWを対象に教育相談研修を行いました。また、週に1回、受付会議を実施し、相談の方向性について検討を行いました。（※教育相談室相談状況については〔表6〕のとおり）
4-(3)	望ましい学級集団を形成するための調査の実施 【指導課】	学級集団への満足度についての調査を実施し、よりよい学校生活が送れるように支援します。	学級満足度調査を小学校3年生～中学校3年生で実施した。教員に対して、理解を深めるため全体講義を3回実施するとともに、各校で個別講義を行って、学級の状態や支援すべき子どもを把握し、学級経営の充実を図る体制を構築しました。
4-(4)	就学援助の実施 【指導課】	経済的な事情で教育費の支出が困難な家庭を対象として、就学に必要な費用を援助します。	小学生 928 人、中学生 624 人を対象に合計 1 億 2,637 万 9,750 円の援助を行いました。（就学援助率は小学校 16.9%、中学校で 23.4%）
4-(4)	特別支援教育 就学奨励の実施 【指導課】	子どもが特別支援学級に在籍する家庭を対象として、その就学の特殊性から経済的な負担を軽減するため、就学に必要な費用を援助します。	小学生 45 人、中学生 22 人を対象に合計 275 万 9,929 円の援助を行いました。
4-(4)	日本語指導の実施 【指導課】	外国籍の児童・生徒や帰国子女に対して、日本語指導が必要な場合、日本語指導員を派遣します。	外国籍の子ども 12 人に対して日本語指導員を派遣して、授業の補助を行いました。

〔表 4〕

〈適応指導教室児童・生徒在籍状況〉

区分	小学校	中学校	合計
人数	18	28	46

〔表 5〕

〈児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題（不登校）に関する調査〉

小学校	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
都出現率	0.36%	0.34%	0.43%	0.46%	
市出現率	0.40%	0.42%	0.48%	0.55%	0.51%
不登校児童数	23	24	27	31	28

中学校	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
都出現率	2.93%	2.76%	3.03%	3.17%	
市出現率	3.55%	3.50%	3.52%	3.06%	2.85%
不登校生徒数	93	91	94	81	76

〔表 6〕

〈教育相談室相談状況〉

相談 内容	不登校	いじめ	交友 関係	性格上 の問題	情緒 不安定	特別 支援	進路 相談	学校 教育	家庭 教育	その他	合計
相談 件数	147	3	9	249	20	37	7	45	51	10	578

【主な課題】

(a) 特別支援教育の啓発活動について

特別支援教育に関わりの少ない保護者について、特別支援教育、特に発達障害について正しい理解が得られていない。

(b) 就学支援委員会等の開催について

就学支援委員会、情緒障害等入級判定委員会等、特別支援学級への就学、転学、入級に係わる会議の開催日数が多く、出席する教員の負担が大きくなっている。

(c) 就学について

就学相談の結果と保護者の希望が一致しない場合がある。

(d) 特別支援教室の開設について

特別支援教室の実施が、段階的（派遣校ごとに年度が違う）ため、拠点校の教員の派遣体制の調整が難しい。また、児童や保護者の中には教育環境が変わることへの不安がある。

(e) 情緒障害等通級指導学級の開設について

情緒障害等通級指導学級に通う児童・生徒数が増え続けている。

年度	24年度	25年度	26年度	27年度
通級人数	71人	92人	103人	142人

(f) 特別支援教育支援員（通常の学級）について

通常の学級に在籍している特別な支援や配慮を必要とする児童・生徒に特別支援教育支援員を配置しているが、学校が支援方法を伝えずに支援していることがあった。また、支援員のスキルを上げる必要がある。

- (g) 不登校児童・生徒について
一度不登校になると長期化する傾向がある。また、保護者の貧困問題（経済状況等）に係るケースが増加している。
- (h) 適応指導教室と学校との連携
適応指導教室と在籍校との連絡が不十分のため、支援方針等を共有するのに時間がかかるケースがあった。
- (i) 保護者の相談について
保護者が学校に相談しづらいことがある場合など、どこに相談すればよいか分からないとの保護者からの声がある。
- (j) 日本語指導の実施について
外国籍の子どもが日本語の習得に時間がかかるため、日本語指導員の派遣期間を延ばす必要がある。

【今後の取組の方向性】

- (a) 特別支援教育の啓発活動について
発達障害に関する市民向け説明会を今後も実施するとともに、学校だより等を活用し、特別支援教育への理解・啓発に努める。
- (b) 就学支援委員会等の開催について
委員会組織の見直しや事務改善を図り、開催日数を見直し、効率的な委員会運営を行う。
- (c) 就学について
就学支援委員会の判定を保護者に丁寧に説明する。就学支援委員会の判定と異なる就学先を選んだ場合は、就学相談員が継続して行動観察や面談等を実施し、保護者が転学等を希望した場合には、必要な手続きを円滑に進める。
- (d) 特別支援教室の開設について
拝島第一小学校と拝島第三小学校のモデル実施の成果と課題を踏まえて、平成28年度はつつじが丘小学校と武蔵野小学校、光華小学校と中神小学校、東小学校と富士見丘小学校が円滑に特別支援教室の開設に取り組めるように10月からプレ実施を行う。教員の派遣体制の整備や調整は今後も継続して行い、平成30年度の全面実施に向けて計画的に準備を進めていく。
特別支援教室開設に関する市民向け説明会を開催し、保護者への理解・啓発に努める。また、プレ実施を行い、個別指導計画に基づいた指導を実施する。
- (e) 情緒障害等通級指導学級の開設について
平成28年度に光華小学校、拝島中学校に情緒障害等通級指導学級を開設し、通級希望の児童・生徒の増加に対応する。
- (f) 特別支援教育支援員（通常の学級）について
校内委員会を中心とした組織的な支援体制を図るとともに、特別支援教育支援員に支援の方向性を明確に伝えるように、学校に指導を行う。また、特別支援教育市民説明会等に特別支援教育支援員を参加させ特別支援教育への理解を深める。

(g) 不登校児童・生徒について

学校は常に欠席状況を把握し、きめ細やかな対応を行うようにする。児童・生徒の欠席状況に関する調査を実施し、1か月に5日以上欠席があった児童・生徒を確実に把握し、支援につなげられるようにする。福祉部門との連携強化を目指し、スクールソーシャルワーカーを1名増員する。

(h) 適応指導教室と学校との連携

たまがわ適応指導教室と学校との連絡会議を学期に1回、開催して、学校との連携を深める。もくせい適応指導教室は、学校訪問を継続して実施する。

(i) 保護者の相談について

東京都・昭島市の相談機関一覧を毎年度子どもを通して配布するとともに、学校のスクールカウンセラーに相談できることを学校だより等で紹介して保護者に周知していく。

(j) 日本語指導の実施について

日本語の理解を短期間で深めるため、学校だけでなく、保護者の協力を得て、家庭でも日本語の習得に取り組むよう働きかける。

プラン2 豊かな心の醸成

主要施策 1 人権教育の推進

子ども一人一人が発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解する必要があります。自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下で具体的な態度や行動で示せることが大切であり、さらには、人権が尊重される社会づくりにつながるようにしていかなければなりません。

この目標を達成するために、学校の教育活動全体を通して人権教育に取り組みます。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1	人権教育の推進 【指導課】	あらゆる偏見や差別をなくすために、全教育活動を通じて人権教育を推進します。	今年度より、教育課程編成の最重要課題に位置付け、教育活動全体を通して、全教職員で取り組みました。
1	人権教育 推進委員会の開催 【指導課】	様々な人権課題を解決していくために毎年テーマを定め、委員会で検討し、各学校で実践します。	年に6回開催し、人権教育推進の基本的な考え方を研修するとともに人権課題の授業を学ぶために、すべての委員が人権課題の公開授業に取り組みました。啓発資料「子どもの心」を3回発行し、全教員に配布しました。
1	人権教育全体計画の作成と人権諸課題に関する指導の充実 【指導課】	小・中学校全校で「人権教育全体計画」及び「人権教育年間指導計画」を作成するとともに、人権教育推進委員会で情報を共有しながら、人権課題に関する計画的な指導を行います。	教育課程編成の際に、全体計画と年間指導計画を見直し、次年度の全体計画と年間指導計画を作成しました。

【主な課題】

(a) 人権教育推進委員会の開催について

委嘱した全委員による授業研究を実施したが、ねらいとした人権課題にせまるためには、人権教育の視点だけにとどまらず、授業力の向上も必要である。

【今後の取組の方向性】**(a) 人権教育推進委員会の開催について**

委嘱した全委員による授業研究を実施し、人権の視点と授業力の二つとも指導ができる講師を招聘し、委員の人権教育に対する理解を深めるとともに授業力向上を図る。

プラン2 豊かな心の醸成

主要施策 2 道徳教育の充実

子どもたちが、自他の生命を尊重し、法やルールの意味やそれらを遵守することの意味を理解し、主体的に判断し、適切に行動できるよう、学校・家庭・地域、学校の連携のもと、道徳教育の改善、充実を図ります。

各学校における道徳の時間を道徳教育の要の時間と位置づけ、各教科との密接な関連を図りながら、計画的、発展的に道徳的価値や人間としての生き方について自覚を深められるようにするとともに、道徳的实践力を育成します。

また、毎年度「道徳授業地区公開講座」を実施し、家庭や地域と連携して子どもたちの豊かな心を育成するとともに、道徳教育の一層の充実を図ります。

【施策の取組状況】

(1) 道徳授業の充実

(2) 道徳教育の推進

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(1)	道徳授業の充実 【指導課】	小・中学校における年間指導計画の検討を行い、道徳の時間を中心に全教育活動を通じて指導の充実を図ります。	全校で、道徳教育の全体計画を見直し、道徳の教科化に向けた道徳の時間の 35 時間の年間指導計画を作成しました。
2-(1)	道徳授業地区公開講座の充実 【指導課】	道徳授業を保護者及び地域に公開し、家庭、学校、地域社会が連携して子どもたちの豊かな心を育成します。	各学校が年に 1 回実施し、保護者と意見交換会を行い、道徳の授業や豊かな心の醸成について話し合いました。道徳授業地区公開講座へは、全校で延べ 6,063 人の保護者や地域の方が参加しました。
2-(2)	各教科等における道徳教育の推進 【指導課】	道徳教育推進教師を中心に、各学校において指導の重点項目を設定し、学習指導要領に基づき、各教科等における道徳教育を推進します。	教育課程編成時に今までの取り組みを踏まえて、各学校において指導の重点項目を設定しました。
2-(2)	道徳教育推進委員会の開催 【指導課】	道徳教育を推進するため、道徳教育推進委員会を開催し、授業研究や教材の開発を行います。	年 4 回開催し、2 回の授業研究を行い、国や都の資料の授業での具体的な活用方法を検討しました。また、リーフレットを作成し、全教員に配布して周知を図りました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(2)	あいさつ運動 の実施 【指導課】	学校・保護者・地域が連携してあいさつ運動を実施することにより、子どもたちを地域で育てる意識を醸成します。	あいさつ運動を各校で年3回のふれあい月間の取組に位置付けました。

【主な課題】

- (a) 特別の教科 道徳について
「特別の教科 道徳」に向け、各校で先行実施を行うことになったが、取組内容にばらつきがあった。
- (b) 道徳授業地区公開講座での意見交流会について
保護者は、意見交流会で意見を求められることに抵抗感があり、出席をためらうため意見交流会の参加者が少ない。

【今後の取組の方向性】

- (a) 特別の教科 道徳について
玉川小学校・昭和中学校をモデル校に指定し、「特別の教科 道徳」に向けた取り組みを明らかにし、各校に取組内容を広める。
- (b) 道徳授業地区公開講座での意見交流会について
各校で様々な工夫をしているが、意見交換会の保護者等の出席者が少ないのは共通している課題である。今後は、保護者にとって切実なテーマの設定や時間設定、特定の人に意見を求めない交流会の進行などの工夫を行い、参加者の増加を図っていく。

プラン2 豊かな心の醸成

主要施策 3 体験活動の充実

子どもたちが、地域の自然や歴史、文化などに直接触れる郷土学習や福祉の心を育てるボランティア活動等に参加するとともに、小・中学校で、発達段階に応じた「移動教室」等を通し、子どもたちの体験活動の充実を図ります。そして、自主的に体験しようとする力を育成します。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
3	小学校での 移動教室の実施 【指導課】	集団での宿泊体験を通して、よりよい人間関係をきずくとともに、思いやりの心や助け合いの心、あきらめない気持ちを育成するため、市内全小学校5・6年生による移動教室を実施します。	小学校6年生は全校2泊3日で日光移動教室を実施しました。小学校5年生は全校で実施し、5校が2泊3日に拡充して実施しました。
3	中学校移動教室 ・修学旅行の実施 【指導課】	自然との関わりを深めるとともに、最後まで努力する態度を育成するため、市内全中学校で農業体験、スキー教室などの移動教室や修学旅行を実施します。	中学校3年生は全校2泊3日で実施し、中学校2年生の移動教室は5校、中学校1年生の移動教室は1校が実施しました。
3	小・中学校での 生産体験の実施 【指導課】	小・中学校において、学校農園や近隣の農園等を活用して、生産活動を行います。	各学校の実情に応じて、学校農園や近隣の農園を活用したり、ゲストティーチャーを招いたりして実施しました。
3	移動教室検討委員会による宿泊行事の充実 【指導課】	5年生宿泊行事検討委員会をはじめとして、移動教室における体験活動の内容を検討・実践することにより、教育効果を高めます。	小学校5年生の体験活動を充実するため、検討委員会を2回開催し、2泊3日の宿泊を拡充していくことで体験活動を充実させることの必要性を確認しました。

【主な課題】**(a) 小学校第5学年の移動教室について**

自然体験活動の充実が求められており、1泊2日では移動に時間を要し十分な効果が得られていない。また、2泊3日になると保護者の費用負担が大きくなる。

【今後の取組の方向性】**(a) 小学校第5学年の移動教室について**

自然体験活動の充実を目指し、2泊3日で実施するよう行先や宿泊先を統一化し、学校における負担や保護者の費用負担を軽減できるよう、教育委員会が実地踏査を行い、実施内容のモデルプラン等を示す。

主要施策 4 いじめ問題への対応

昭島市の全ての子どもが安心して登校し、学校生活を送ることができるよう、学校の内外を問わず、いじめの未然防止、早期解消に取り組みます。

いじめはどんなことがあっても社会の中では許されないことですが、どの子どもにも起こる可能性があるという意識をもって、関係機関と連携し、組織的かつ継続的な取組を行います。

学校でも教育活動全体を通じて、全ての子どもに「いじめは決して許されない」ことの理解を促し、豊かな情操や道徳心、自他の存在を尊重し合える態度、自己肯定感等、心の通う人間関係を構築する能力を育成します。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4	いじめ問題防止 会議等の開催 【指導課】	いじめは絶対許されないという意識啓発活動を推進し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等に関係機関と連携して取り組みます。	学校関係者、保護者、関係機関、地域の健全育成団体等の代表者が委員となり年2回開催しました。各校のいじめの未然防止の取り組みについて報告するとともに、関係機関との連携の在り方について協議を行いました。
4	いじめ防止等に関する教育委員会の 具体的な取組の 実施 【指導課】	いじめ問題の状況に関する調査、いじめ相談体制の確立、サポートチームや関係諸機関との連携、教職員の資質・能力の向上、インターネット等によるいじめ対策の推進、啓発活動の推進など、具体的な取組を実施します。	中学生ネットいじめ防止サミットとして、全中学校の生徒会が集まり、いじめを未然防止するための話し合いを行いました。インターネットの活用方法やネットいじめについて、SNS東京ルールをもとに、SNS学校ルール策定の支援を行いました。
4	学校いじめ防止 基本方針の推進 【指導課】	各学校の実態に応じていじめを防止する方針を定め、いじめを受けている子どもに対しての支援を的確に行います。	各校において、毎年、方針の見直しを図り、保護者会等を活用して、周知した。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4	いじめに関する 学校における 取組の実施 【指導課】	いじめ防止のポスターの掲示 やふれあいボックスを設置す るなど、いじめの防止や早期発 見等のため、子どもがいつでも 思いを伝えることができるよ うな取組を実施します。	全校が子どもに年3回アンケ ートを実施して、いじめの早期 発見・早期対応に努めました。

【主な課題】

(a) いじめ問題防止会議について

保護者、地域、関係機関との相互連携を図り、社会総がかりでいじめを防止する取り組みを行う会議であるが、各団体すべての協力のもと、いじめを防止する取り組みを実施することが難しい。

(b) いじめ防止サミットの開催について

中学生の生徒会を中心に、各校の取り組みが明らかになったが、小学校の取り組みを充実させる必要がある。

(c) 児童・生徒のいじめの認知件数について

平成27年度のいじめの認知件数は、小学校48件、中学校48件であり、平成26年度に比べて倍程度認知件数が増えている。

【今後の取組の方向性】

(a) いじめ問題防止会議について

各団体の特性を理解し、いじめ問題防止会議の中で議論し、できることから実施する。

(b) いじめ防止サミットの開催について

小学校の児童会の代表が参加できる昭島市立小・中学校ネットいじめ防止サミットを開催し、関係諸機関との連携を図る。各学校においてSNS学校ルールを策定し、サミットで発表する。

(c) 児童・生徒のいじめの認知件数について

いじめを発見したきっかけとして、アンケート調査や本人の訴えが大きく増えており、児童・生徒へのアンケート調査の丁寧な説明や教員への信頼の結果であると判断している。アンケート調査の丁寧な説明の継続と教員の人権感覚をより高め、信頼される教員を目指す。また、「いじめはどの学校にも起こりうる」との認識のもと、いじめの早期発見・早期対応に取り組むよう継続して学校を指導する。

プラン3 健やかな体の育成

主要施策 1 体力向上の推進

子ども一人一人の体力の向上及び健康の保持増進を図るため、「第五次昭島市総合基本計画」（平成23年5月策定）を踏まえ、学校・家庭・地域が連携した体力向上策を推進します。

また、各学校では、東京都の「総合的な子どもの基礎体力向上方策（第2次推進計画）」に基づき、子どもの体力の実態を把握するとともに、一校一取組を推進し、計画的に体力の向上を図ります。

【施策の取組状況】

- (1) 体育・保健体育の授業の充実
- (2) オリンピック教育の推進
- (3) 一校一取組の充実
- (4) 部活動の充実

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(1)	体育・保健体育の授業の充実 【指導課】	小・中学校における体育や保健体育の授業改善を図り、子どもたちの体力向上に資するため、体力向上推進委員会を設置し、実践研究を推進します。	体力向上推進委員会を年4回開催し、体力調査の分析を基に、小学校では課題である「調整力」の向上を図るため、実技研修を行いました。中学校は、全校で取り組む「補強運動」の授業の実技研修を行いました。また、リーフレットを作成し、全教員に取組の周知を図りました。
1-(1)	体力・運動能力・運動習慣等調査の実施・活用 【指導課】	各種調査を実施し、その調査結果を分析し、本市の子どもたちの実態に応じた指導や体育・保健体育の授業改善に活用します。	小学校は「反復横跳び」、中学校は「立ち幅跳び」に課題があることが明確になったため、この運動につながるプログラムの開発を行い、体育授業に生かしました。（※東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査については〔表7〕のとおり）
1-(1)	武道実技研修の実施 【指導課】	中学校における武道の指導を安全に行うとともに、確実な指導技術を身に付けるため、教員の実技研修を実施します。	東京都教育委員会が実施する武道実技研修に参加することにより、他地域との交流も図ることができました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(1)	校庭芝生化の推進 【庶務課】	校庭の芝生化を推進し、地球環境への配慮を行うとともに、子どもたちの運動能力の向上を図ります。	光華小（拡張）1,442 m ² 、成隣小 150 m ² 、拝島第一小 260 m ² 、昭和中 836 m ² 合計 2,688 m ² の芝生化を実施しました。 これまでの芝生化面積は、小学校 11 校と中学校 3 校で 13,100 m ² です。
1-(2)	オリンピック教育推進校での研究と啓発 【指導課】	運動・スポーツへの興味・関心を高める体育授業等の内容・方法の改善や日常的な運動・スポーツの実践による健康増進に向けた取組の充実を図ります。	オリンピック・パラリンピック教育推進校に 14 校が指定され、体育の授業改善や日常的に体を動かす取り組みを行いました。オリンピック・パラリンピック教育を推進するため、全校が全体計画を作成しました。
1-(3)	一校一取組の充実 【指導課】	体力の向上及び健康の保持増進を図るため、運動量を増やすなど、指導法の工夫・改善を図ります。	各校が創意工夫を生かし、朝の時間や休み時間、放課後等に子どもが運動できるような環境や時間を設定しました。
1-(4)	中学校における運動系部活動参加の推進 【指導課】	中学校において、スポーツを通して、生徒一人一人が特性を生かして部活動に参加できるようにし、最後まであきらめずに継続することや仲間と協力して成し遂げることの喜びを体験できるようにします。	全中学校の運動部活動は 80 部あり、それぞれの運動部活動での特性を生かし、生徒一人一人の成長を目指して取り組みました。
1-(4)	運動系部活動指導補助員の充実 【指導課】	中学校に運動系部活動の技能の向上を図るため指導補助員を派遣し、より専門的な指導を行います。	全中学校で 25 人の指導補助員を派遣し、生徒の能力向上を図りました。
1-(4)	部活動対外試合への支援 【庶務課】	部活動の各種大会の参加費や全国大会及び関東大会への交通費を支援します。	部活動に対して、各種大会の参加費や消耗品、備品等を支出しました。また、関東大会以上の試合に延べ 11 人が出場し、交通費、宿泊費等を支出しました。

〔表 7〕

〈東京都児童・生徒体力運動能力、生活・運動習慣等調査〉

※色が濃いものは、都の平均を越えている種目

体格及び体力・運動能力調査結果平均値(昭島市)															
性別	学年	人数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	持久走(秒)	シャトルラン(回)	50M走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点	(東京都) 体力合計点
小学校	男子	1	470	116.4	20.9	9.1	10.6	26.8	24.3	—	16.0	11.4	113.6	7.4	28.9
		2	458	122.8	23.6	11.1	13.1	28.1	28.9	—	24.4	10.7	119.2	11.1	35.9
		3	445	127.8	26.1	13.0	15.6	29.3	32.4	—	33.9	10.1	131.9	14.7	42.4
		4	460	133.1	29.3	14.9	18.0	30.8	37.5	—	43.5	9.5	144.0	18.8	48.8
		5	466	139.0	33.4	17.3	19.8	33.8	41.6	—	48.9	9.3	152.0	23.0	54.2
		6	472	144.8	36.8	20.0	22.8	37.7	43.6	—	59.8	8.8	165.4	26.0	61.0
	女子	1	455	115.3	20.5	8.2	10.0	29.2	23.7	—	13.3	11.8	104.3	5.3	28.5
		2	432	121.8	23.2	10.3	12.6	30.0	27.8	—	18.3	11.0	113.6	7.2	35.4
		3	455	127.4	26.0	12.5	15.6	33.6	31.9	—	26.0	10.4	122.9	9.6	43.8
		4	426	133.3	29.5	14.5	18.2	35.2	35.7	—	32.9	9.8	138.3	12.1	51.2
		5	434	139.7	33.4	16.4	19.0	38.0	39.3	—	37.3	9.5	143.4	14.2	55.5
		6	489	146.8	38.5	19.4	19.9	41.3	41.4	—	45.5	9.0	152.0	16.7	61.4
中学校	男子	1	479	153.1	42.8	22.5	23.5	35.2	48.1	428.7	—	8.5	172.6	17.8	30.9
		2	428	159.2	47.1	27.7	27.3	42.6	51.9	389.5	90.2	7.9	190.0	20.1	40.4
		3	420	165.4	52.4	33.8	29.4	46.1	55.7	370.7	95.7	7.5	202.9	23.1	47.5
	女子	1	418	152.5	43.0	20.6	21.0	40.8	44.8	306.0	—	9.1	155.2	12.4	42.6
		2	415	155.5	46.0	23.3	22.7	44.0	46.2	290.4	51.5	8.8	160.3	12.9	46.9
		3	415	156.9	49.0	24.6	23.9	44.5	47.1	293.8	56.9	8.6	162.8	14.1	49.3
	※網掛けは東京都以上の数値														

【主な課題】

(a) 体力・運動能力・運動習慣等調査の実施・活用について

小学校の課題である「反復横跳び」に関しての取り組みは充実できたが、中学校の課題である「立ち幅跳び」に関して、充実させる必要がある。

(b) オリンピック・パラリンピック教育推進校について

全校で全体計画を作成することにより、見通しをもつことができたが、全学年の具体的な計画の作成が必要である。

(c) 校庭芝生化について

芝生化した学校により、芝の生育状態や、除草、散水などの管理等に差が出ている。また、維持管理等に保護者や地域の方の協力を得ているものの費用がかかる。

(d) クリケットの普及について

市が「クリケットのまち」づくりを推進しており、普及させる必要がある。また、中学校でクリケット部を作ってほしいという声がある。

【今後の取組の方向性】

(a) 体力・運動能力・運動習慣等調査の実施・活用について

中学校の課題である「立ち幅跳び」に関して、「球技」をもとに総合的な体力を高めることをねらいとして体力向上を図る。

(b) オリンピック・パラリンピック教育推進校について

各校の全体計画をもとに、全学年35時間以上の指導時間が確保できるように年間指導計画を作成する。

(c) 校庭芝生化について

芝生の大規模校については、散水用の井戸を併せて掘削するなど維持管理費の抑制に努めていく。また、踏圧等により芝生が枯れてしまった部分について、児童生徒を巻き込みながら補植用の苗を育て、補植する。

(d) クリケットの普及について

小学校の体育の授業の中で実施できるように、学習指導要領に照らし合わせ、指導が行えるようにする。各中学校にクリケット部を創設することは、生徒や教員の人数等により難しいため、市内中学校合同のクリケット部を創設する。

プラン3 健やかな体の育成

主要施策 2 学校給食・食育の充実

子どもの健全な発育のため、地元農家の協力を得て、地場野菜を積極的に活用し、安全・安心な学校給食の提供を行います。

また、「第五次昭島市総合基本計画」（平成 23 年 5 月策定）を踏まえ、学校、家庭及び地域等と連携し、食育を推進します。

そして、各学校では、「食に関する全体計画」に基づき、食育リーダーを中心とした指導体制を一層充実するとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣の形成を促進します。

【施策の取組状況】

- (1) 学校給食の充実
- (2) 食に関する指導の充実

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(1)	学校給食運営 基本計画の策定 及び実施 【学校給食課】	学校給食に関する中期的な計画を策定し、学校給食の充実に図ります。	学校給食の充実に図るため、平成 28 年 3 月に「昭島市学校給食運営基本計画」を策定しました。今後は、この計画に基づき学校給食の運営を行っていきます。
2-(1)	学校給食施設・設備 の維持管理 【学校給食課】	学校給食を安定的に提供するため、学校給食の調理用施設・設備の維持管理を行います。	施設等の適正な維持管理をするため、保守点検などを行うとともに、調理機器の修繕や買換えを行い、安全・安心な給食の提供に努めました。
2-(1)	学校給食を通した 食育の推進 【学校給食課】	子どもに身近な教材である学校給食を通して、食料の生産・流通や地域の食文化及び適正な食生活の理解を深めます。	各学校において、栄養教諭及び栄養士が児童・生徒に対し、食に関する指導を行い、食育の推進に努めました。また、その取り組みなどを内容とした Let's 食育実践発表会を開催し、保護者などへ周知を行いました。 【Let's 食育実践発表会】 平成 28 年 1 月 25 日（月） 参加人数 72 人

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(1)	地産地消の推進 【学校給食課】	地産地消を進め、自然に親しみ、自然のめぐみと生産者への感謝の心を育成するため、学校給食に地場食材を積極的に取り入れます。	地産地消の推進を図るため、生産者と連携を図り、学校給食に地場食材を取り入れました。また、各学校の給食時間、試食会等において地場食材について情報を提供しました。
2-(2)	お弁当の日の実施 【学校給食課】	学齢に応じたお弁当作りへの協力を通じて、家庭内での役割や食事の大切さについて考える機会となるよう、お弁当の日を実施します。	小中学校全校において「お弁当の日」を年3回実施しました。児童・生徒がお弁当づくりなどに係わることができるよう学年ごとにテーマを決めて取り組みました。
2-(2)	食に関する指導の推進 【指導課】 【学校給食課】	食育の推進を図るため、各学校で食育リーダーを選任し、食に関する全体計画を作成し、家庭へ情報発信をします。	教育課程編成時に今までの食に関する全体計画の取り組みを見直して、作成しました。また、各学校で食育リーダーを選任し、食育や今後の取組み等について会議を開き、情報交換等を行いました。
2-(2)	栄養教諭の活用 【学校給食課】 【指導課】	共同調理場に栄養教諭を配置し、学校を巡回しながら、食に関する指導の充実を図ります。	授業や給食時間を利用し、栄養教諭及び栄養士が学校と連携を図り、食に関する指導を行いました。また、栄養教諭の巡回指導に関しては、指導助言を行い、各校の取り組みの充実を図りました。

【主な課題】

(a) 給食施設の整備について

学校給食共同調理場及び自校調理校において、施設や設備の老朽化が目立つ。

(b) 衛生管理について

学校給食に異物が混入する場合があります、業者、職員等へ衛生管理の徹底を図る必要がある。

(c) 食育推進のための連携について

学校給食を通じた食育を推進していく中で、家庭や地域と連携した取組みについて、更に検討を進める必要がある。

(d) 食育指導の充実について

食育を更に推進するため、栄養教諭の複数配置が必要である。また、共同調理校については、学校毎の栄養士が配置されていないので、自校調理校との間に食育指導上での差が生じている。

(e) 家庭における食育の取組みについて

食育を推進するにあたり、家庭での食育が重要であり、保護者や児童・生徒が食育を身近にとらえる機会が必要である。

(f) 地産地消の推進について

地元の食材を身近に感じてもらうとともに、生産者や食材への感謝の気持ちを育み、地場食材の関心を高めていくため、学校給食に地場食材を積極的に取り入れていく必要があるが、天候による生産量への影響や食材の規格などについて関係者等との十分な調整が図れず、前年より使用量が減った。

【今後の取組の方向性】

(a) 給食施設の整備について

学校給食共同調理場の建替えについて検討していくとともに、現状の施設・設備の維持管理に努める。

(b) 衛生管理について

職場環境の整備や職員の衛生管理に対する意識向上を図り、異物混入を防いでいく。また、異物混入時の対応や異物混入防止対策に関するマニュアルを作成する。

(c) 食育推進のための連携について

学校給食を通じた食育を推進するため、家庭・学校・地域が一体となって取り組める体制を整える。

(d) 食育指導の充実について

栄養教諭の増員配置について東京都教育委員会へ要望する。また、現在の自校調理校の栄養士が共同調理校へ食育指導を可能にするため、自校調理校の統一献立の実施に向け、取り組んでいく。

(e) 家庭における食育の取組みについて

家庭での食育を推進するため、お弁当の日の取り組みを家庭に周知し、理解を深めていくとともに、児童・生徒がお弁当づくりを通じて、食への関心や食事の大切さなどについて、家庭で考えるきっかけづくりとなるよう繋げていく。

(f) 地産地消の推進について

地元生産者や関係者と連携を図り、供給の見通しや食材の安全性、給食施設への効率的な納品などについて、検討を行う場を設け、地産地消の推進に取り組んでいく。

プラン3 健やかな体の育成

主要施策 3 学校保健安全の推進

子どもたちが安全な学校で安心して学校生活を送ることができるよう、安全教育を推進するとともに心と体の健康を保つための体制を整えます。

【施策の取組状況】

- (1) アレルギー疾患対応の充実
- (2) 心と体の健康管理の充実
- (3) 安全教育・防災教育の充実
- (4) 通学路における安全対策の推進
- (5) 中学生救命救急講習授業の実施

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
3-(1)	アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応の充実 【学校給食課】 【指導課】	学校がアレルギー疾患を理解し、個々の子どもの症状等を的確に把握します。また、個別の配慮や緊急時の対応へ備えます。	アレルギー疾患対応については、「学校生活管理指導表」の提出を受け、面談を行い、保護者、学校、教育委員会が共通認識を持ち対応しています。 なお、学校給食における食物アレルギー対応については、「昭島市学校給食食物アレルギー対応給食実施要綱」に基づき対応しています。
3-(2)	定期健康診断の実施 【指導課】	子どもの健康状態を定期的に把握するために、定期健康診断を行います。	6月30日までに各校が定期健康診断を行い、子どもの健康状態を把握しました。
3-(2)	就学時健康診断の実施 【指導課】	小学校入学前の子どもに対して、安心して学校生活を始めることができるよう、就学時健康診断を行います。	各校で10月～12月に就学時健康診断を実施し、希望する保護者に対して面談を行いました。
3-(2)	薬物乱用防止教室の実施 【指導課】	小学校低学年では「薬の正しい使い方」から学び、中学校では、薬物（シンナー・覚せい剤・危険ドラッグ等）の作用を科学的に学び、薬物の害について理解を深め、自己の生き方を考え、行動選択ができるようにします。	小・中学校全校で薬物乱用防止教室を実施し、薬物の害についての理解を深めることができました。12校が警察官、学校薬剤師等、薬物乱用防止について専門性の高い講師を活用しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
3-(3)	学校地震防災計画 の実施 【指導課】	各学校で策定した計画を確実に実施し、子どもの安全確保に努めます。	学校地震防災計画を基にした訓練を各校において、年間 10 回程度実施しました。
3-(3)	学校保健安全計画 の実施 【指導課】	安全指導や保健指導、避難訓練、不審者対応訓練など、各学校が策定した計画を確実に実施します。	教育課程編成時に学校保健安全計画をもとに実施した取り組みを改善し、作成しました。
3-(3)	セーフティ教室 の実施 【指導課】	子どもが自分で自分の身を守ることができるよう、様々な危険について対応できる能力を育成するためにセーフティ教室を開催します。	全校がセーフティ教室を実施し、警察や関係諸機関と連携し、万引き防止やSNSに関して体験的に学ぶことができました。
3-(4)	スクール・ガード リーダーや見守り 活動の実施 【指導課】	学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、スクール・ガードリーダーや地域・保護者による見守り活動の充実を図ります。	スクール・ガードリーダーを6名配置し、通学路や校内安全について年間6回の巡回指導を実施しました。また、各校でPTA・地域と連携し、登下校の見守りを実施しました。
3-(4)	防犯ブザーの貸与 【指導課】	防犯ブザーを小学校1年生に貸与します。	小学校1年生912名に対して防犯ブザーを貸与しました。
3-(4)	防犯カメラの設置 【指導課】	学校、地域等が行う通学路における児童の見守り活動を補完するため、計画的に防犯カメラを設置します。	新たに5校の小学校区に各5台、計25台の防犯カメラを設置しました。
3-(5)	中学生救命救急 講習の全員実施 【指導課】	昭島消防署と連携し、中学校2年生全員を対象に救命救急講習を行い、非常時への備えを学ばせます。	昭島消防署と連携し、中学校2年生856名が救命救急に関して体験的に学びました。

【主な課題】

(a) アレルギー疾患対応について

アレルギー疾患対応マニュアルについては、事務処理上の整合性を図るため見直しの必要がある。また、マニュアルの内容について、学校への周知徹底を図る必要がある。

【今後の取組の方向性】

(a) アレルギー疾患対応について

アレルギー疾患対応マニュアルについて、実情とあった内容とするため、学校などと確認をとりながら見直しを行っていく。また、食物アレルギーを持つ児童・生徒については、学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）をもとに学校・家庭・学校給食課で情報を共有するとともに、間違いが起きないチェック体制を整備し、それぞれの児童・生徒に合った安全な対応を行う。

プラン4 輝く未来に向かって

主要施策 1 幼・保・小・中が連携した教育の充実

幼稚園・保育園と小学校の間において、小学校入学段階において円滑なスタートができるよう連携会議を開催したり、学級支援員の配置等を行ったりします。

また、小学校から中学校への進学時に学習や生活面においてギャップを感じることが無いように、小・中連携推進委員会において情報交換を行い、年間3回の小中連携の日を設定するなどの取組を推進します。

また、特別な支援を必要とする子どもに適切な支援を行うため、個別の教育支援計画を小学校と中学校間で情報共有します。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1	幼・保・小連携推進 委員会の開催 【指導課】	幼稚園・保育園・小学校の代表者が集まり、円滑な小学校生活が始まるよう情報を共有します。	幼・保・小連携推進委員会を年間3回開催し、小1プレブレムの防止に生かすことができました。また、小学校見学を1回開催し、13人の幼稚園教諭、保育士が参加しました。
1	小・中連携推進 の強化 【指導課】	中学校の学区ごとに年間3回小・中連携の日として具体的な取組を行うとともに、小中一貫教育校の設置について検討を行います。	各校が年間3回小・中連携の日を設定して、全教員で中学校区ごとに「各校のきまり」を持ち寄り、内容を見直しました。
1	学級支援員の配置 【指導課】	新1年生が学校生活を始める4月に、きめ細かな指導を行うために学級支援員を配置します。	全小学校の新1年生の学年に学級支援員を配置しました。
1	個別の教育支援 計画の活用 【指導課】	特別な支援を必要とする子どもに対して、個別の教育支援計画を立て活用するとともに、進学時に引継ぎを行います。	発達に課題のある子どもには、保護者の協力を得て、個別の教育支援計画を作成して、進学時引き継ぎを行いました。全体で182件について作成しました。

【主な課題】**(a) 小・中学校の連携推進について**

昭島市の学校間での情報共有が図られ各学区で小中連携推進の取り組みが進んできたが、さらに連携を深める必要がある。

【今後の取組の方向性】**(a) 小・中学校の連携推進について**

「小中一貫教育校」の設立を視野に入れ、今年度は準備委員会を設置して、昭島市における小中一貫教育の理念や運営に関する検討を行う。

プラン4 輝く未来に向かって

主要施策 2 日本の伝統文化教育の充実

子どもの発達の段階を踏まえ、各教科等を通じて日本の文化や伝統、東京都や昭島市の歴史と風土についての学習を充実することで、我が国と郷土を愛し、伝統や文化を継承・発展させようとする子どもを育成します。また、他国を尊重し、国際社会で活躍する子どもの育成に努めます。

また、小学校において音楽鑑賞教室・連合音楽会を実施するとともに、連合の展覧会を開催し、豊かな情操を育成します。

【施策の取組状況】

- (1) 伝統文化教育の推進
- (2) 文化行事の開催

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(1)	各教科等における 日本の伝統文化 教育の推進 【指導課】	学習指導要領等の趣旨を踏まえ、各教科等において、日本の伝統文化教育を推進し、我が国の歴史や文化を継承・発展させようとする子どもを育成します。	7校が東京都教育委員会「日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業」の指定を受けて、日本の伝統文化教育を推進しました。
2-(1)	体験活動を通した 日本の伝統文化 教育の推進 【指導課】	生活科や総合的な学習の時間における昔あそび等の体験活動を充実します。また、日本の伝統や文化、昭島市の歴史や風土について学ぶ機会の充実を図り、伝統文化を継承・発展させようとする態度をはぐくみます。	生活科や総合的な学習の時間を中心に、体験活動を通して伝統文化教育を理解しました。「日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業」指定校は、年5回JET青年と交流して、日本の伝統文化を発信しました。
2-(1)	地域との連携による 伝統文化教育 の推進 【指導課】	外部講師として地域人材の活用を図り、東京都や昭島市の歴史や文化を学ぶことで、郷土を愛する心や継承しようとする態度を育成します。	車人形、和太鼓、茶道、箏など伝統文化に関する見識の高い外部講師を招聘し、体験的な活動を重点において伝統文化教育を実践しました。
2-(2)	連合音楽行事 の開催 【指導課】	小学校5年生で音楽鑑賞教室、小学校6年生で連合音楽会を行い、音楽に親しむ機会を設けます。	小学校5年生では、国立音楽大学のオーケストラを鑑賞し、小学校6年生では連合音楽会を通して全校が発表形式で交流しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(2)	小学校展覧会 の実施 【指導課】	小学校全校で取り組んでいる 図画工作の作品から代表作品 を集め、展覧会を実施し、鑑賞 する機会を設けます。	全小学校から705点の作品を集 め、1月29日・30日に小学校 展覧会を実施しました。延べ 2,110人が観賞しました。
2-(2)	中学校合唱 コンクールの実施 【指導課】	中学校において合唱コンクー ルを実施することにより、協力 する大切さや豊かな情操を育 成します。	全中学校で合唱コンクールを 実施し、子どもの自主的な態度 を育て、豊かな情操を育みまし た。

【主な課題】

- (a) 地域との連携による伝統文化教育について
外部講師を招いて有意義な活動をすることができたが、学年が限定され
ていたり、授業時数が少なかったりした。

【今後の取組の方向性】

- (a) 地域との連携による伝統文化教育について
全校を伝統文化教育推進校に指定し、外部講師を招いた体験活動ができ
る学年や授業の拡充を図り、学年に偏りの無いよう日本の伝統や文化に係
る教育を推進する。

プラン4 輝く未来に向かって

主要施策 3 家庭・地域の教育力の向上

子どもたちの教育は、学校だけでなく、家庭や地域と連携し、充実させる必要があります。

学校での学習指導に加えて、家庭における基礎的な生活習慣や学習習慣を身に付けていくことも大切です。

そのために、家庭学習についての重要性を各学校が家庭に伝え、連携して取り組みます。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
3	家庭学習の定着 【指導課】	学習ドリルや家庭学習のしおり等を活用し、家庭での学習習慣の定着を図ります。	「家庭教育のすすめ」等の資料を作成するなど、各校で保護者と連携して学年や発達段階に応じた家庭学習の習慣化を図りました。
3	家庭における生活習慣の充実 【指導課】	「早寝・早起き・朝ごはん」などの家庭における生活習慣の啓発を行い、保護者の協力のもと、充実を図ります。	全小・中学校において、年度当初の保護者会において、「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的な生活習慣についての啓発を図りました。
3	eーライブラリー事業の展開 【庶務課】 【指導課】	インターネットの接続環境がある中で、学校以外でも予習・復習ができるコンテンツにアクセスできるeーライブラリー事業を展開します。	夏休みの宿題の一部をeーライブラリーを利用することとした福島中学校でのeーライブラリー活用事例を各学校へ紹介し、活用促進活動を行いました。

【主な課題】

(a) 家庭学習の定着について

家庭学習に意欲的に取り組む子どもとそうでない子どもの二極化が起きている。

(b) eーライブラリー事業の普及について

eーライブラリーの利用率について、学校間で差がある。

【今後の取組の方向性】

(a) 家庭学習の定着について

学習ドリルや家庭学習の手引き等を活用し、家庭での学習習慣の定着を図り、子どもへの学習習慣の確立を図る。

(b) eライブラリー事業の普及について

eライブラリーの活用パンフレットの配布を行うとともに、開発事業者が学校を訪問し、活用促進活動を行う。また、公開授業の中でeライブラリーの活用授業を行い、保護者の理解を深める。

プラン4 輝く未来に向かって

主要施策 4 学校運営の改善

多くの行事、各種公開講座、学校公開週間等の機会を設け、「開かれた学校」づくりを推進し、学校運営の状況について、保護者・地域の方々の理解を図ります。

現在増加している若手教員に研修や経験を積ませることにより、リーダーとしての資質を身に付けるとともに指導力を高めます。

また、各学校の自己評価（教員による評価）、学校関係者評価（子ども・保護者、学校評議員による評価）、第三者評価（専門家による評価）を関連させ、学校の取組に対して評価と支援をいただき、学校運営を活性化します。

【施策の取組状況】

- (1) 教育推進計画の着実な実施
- (2) 「開かれた学校」の推進
- (3) 人材育成の推進
- (4) 学校評価（自己評価・学校関係者評価・第三者評価）の充実

番号	施策・事業名	概要	取組内容
4-(1)	教育推進計画の 着実な実施 【指導課】	各学校が作成する教育推進計画（HDS プラン）を着実に実施し、学校運営の充実を図ります。	9月にヒアリングを実施し、2月に教育課程の届出相談に合わせて成果と課題を確認しました。
4-(2)	情報発信への取組 の推進 【指導課】	学校の取組をホームページや学校だより等を通じて、保護者や地域に向けて発信します。	全小・中学校のホームページにおいて、各校の取り組みを紹介しました。
4-(2)	学校公開の推進 【指導課】	現在行っている学校公開（行事・公開講座・公開週間）について積極的に行うとともに、主な行事の公開の日について市のホームページで公表します。	全校で年6回以上の土曜日授業を学校公開とし、ホームページにおいて日程等を公表しました。
4-(2)	スクール インターンシップ 事業の実施 【指導課】	近隣の大学と連携・協力し、小中学校で実習活動する大学生を受け入れ、教育活動を活性化します。	9校の小・中学校でスクールインターンシップの学生12名を受け入れ、教育活動の活性化を図りました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(3)	職層に応じた研修 の実施 【指導課】	職層に応じた研修を教育委員会が行うとともに、教育課題についての研修会を設定し、教員の指導力を高めます。	4月に新任主任教諭、7月に主任教諭2年目、主幹教諭研修、管理職を対象とした研修を実施しました。職層毎の教育課題の解決に向けて理解を深めました。
4-(4)	学校評価の充実 【指導課】	自己評価・学校関係者評価・第三者評価を行い、多くの視点から学校運営を検証し、課題として明らかになった部分を改善します。	自己評価・学校関係者評価を全校で実施し、次年度の教育課程に生かしました。また、6校を対象に学識経験者・企業経営者・市民代表の12名からなる第三者評価委員により、教員の指導力向上を中心に第三者評価を実施しました。

【主な課題】

(a) 教育推進計画の着実な実施について

学校経営計画をもとにしたPDCAサイクルの進行管理を徹底させるために、教職員の担当学年や分掌において実践しているかを把握・指導し、教育推進計画の目標を達成させる。

(b) 学校評価の充実について

学校での自己評価・学校関係者評価・第三者評価等を活用し、成果と課題を明らかにしたが、客観性にかけるところがあった。

【今後の取組の方向性】

(a) 教育推進計画の着実な実施について

校長のヒアリングや学校訪問による学校の実態把握だけではなく、新たに指導課訪問を実施し、全教員の授業力の把握、学級経営等を確認し、教育推進計画に対して指導を行う。

(b) 学校評価の充実について

校長ヒアリングを通して、校長の学校経営計画の具現化に向けた校内のPDCAサイクルの確立にかかわる指導・助言をしていく。また、学校経営計画の具現化に向けた指針を教育推進計画に盛り込み、校長の経営方針の達成状況の評価に応じて次年度の目標を確認し、予算配分をする。

主要施策 5 教育環境の整備

子どもたちが安全で快適に学校生活を送り、効果的な学習活動ができるように施設や設備、教材の維持・整備を計画的に行います。

また、地域の活動拠点としての学校施設の充実を図ります。

【施策の取組状況】

- (1) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施
- (2) 学校施設の維持と活用
- (3) 学校ICT・教育機器・教材の整備

番号	施策・事業名	概要	取組内容
5-(1)	学校施設の大規模改修工事の計画的実施 【庶務課】	トイレや空調設備、外壁、プールなどの大規模改修工事を計画的に実施します。	つつじが丘北小東側便所改修工事、玉川小除湿温度保持機能復旧工事、中神小プール浄化装置改修工事、拝島第一小プール改修工事を実施しました。
5-(2)	学校施設・設備の維持及び整備 【庶務課】	子どもたちが安全・安心で快適に学校生活が送れるよう、各種施設の維持管理を行うとともに、設備を利用しやすいよう整備します。	冷暖房機、プール浄化装置、消防用設備などの保守点検や、快適な学習環境の確立に向けた修繕を実施しました。
5-(2)	校内防犯体制の整備 【庶務課】	不審者等の侵入に備えて、子どもたちを守る体制を整えとともに、設備の充実を図ります。	不審者侵入対策として、各学校に設置してある防犯カメラ、モニター、感知式パトライトについて、中学校の設備を更新しました。
5-(3)	学校 ICT の整備 【庶務課】	情報教育の推進に不可欠な教育用・教職員用コンピュータ及び周辺機器の計画的な整備を行います。	拝島第一小に校内無線LANの整備及びタブレット端末（12インチ）40台を設置しました。また、小学校5校に1校あたり11台のタブレット端末（10.1インチ）を設置しました。
5-(3)	教育機器・教材等の整備 【庶務課】	学習指導要領に対応した授業を円滑に実施するため、教育機器・教材等の整備を行います。	電子黒板機能付きプロジェクタを小学校3校へ合計3台導入しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
5-(3)	情報教育研修 の実施 【指導課】	導入した ICT 機器や教育機器・教材等を有効活用するため、情報教育研修を実施します。	夏季休業日中に、初任者教員を中心に 20 人が受講しました。学校で活用している教育用ソフトウェアの操作・活用方法を中心とした研修を実施しました。

【主な課題】

(a) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施

学校施設の老朽化が進み、大規模改修工事を行わなければならない施設が多々ある。

(b) 校内防犯体制の整備

学校の囲障等によっては、不審者の学校敷地内への侵入を防ぐのが難しい。また、地震の緊急情報を広報無線に頼っており聞きづらい学校がある。

(c) ユニバーサルデザインの推進

黒板周りの貼り紙や机・椅子の引きずる音が気になる子どもがいる。

【今後の取組の方向性】

(a) 学校施設の大規模改修工事の計画的実施

学校施設の大規模改修等工事については、実施計画に基づき実施し、学校運営に支障が出ないよう施設を整備する。

(b) 校内防犯体制の整備

不審者対応として、校内に設置している防犯カメラによる訪問者の確認と来校者に対する教職員の声掛け等を徹底する。また、全小・中学校に緊急地震速報装置を設置し、大地震の際に校内放送が流れるようにする。

(c) ユニバーサルデザインの推進

黒板周りの貼り紙をなくしたり、棚にカーテンをつけるなど各校に徹底させる。机・椅子の足にテニスボールをつけ騒音を減らす。

主要施策 6 情報教育の推進

子どもたちが高度情報化社会に柔軟な対応ができるようにするため、情報機器の導入や視聴覚ソフトの活用による効果的な学習指導を行うとともに、インターネットなどを活用した学校間交流などを推進します。

また、情報リテラシー教育の徹底により、正しい利用方法の指導を行うとともに、インターネットなどの普及による多種多様な危険や犯罪に巻き込まれないよう、情報教育の充実を図ります。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
6	小・中学校コンピュータ等の活用の推進 【指導課】	子どもがICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟することなどを通じて、急速に進展する情報化社会に対応した能力を身に付けます。	教科等の学習を通してコンピュータに慣れ親しむとともにコンピュータリテラシー等の授業を取り入れ、子どもがICTを活用できるようにしました。
6	タブレット端末の活用 【庶務課】 【指導課】	タブレット端末の教育効果を検証し、計画的な配備を行い、子どもたちの活用能力を育成します。	拝島第一小に40台のタブレット端末をモデル的に導入し、今までの先行研究を取り入れ、タブレット端末の効果的な活用を検討し、授業実践に生かしました。
6	情報活用能力の育成 【指導課】	コンピュータや学習情報センターとしての図書館を利用した学習を通して、子どもの情報活用能力を育成します。	国語・社会・総合的な学習の時間において、図書館やパソコンを活用した調べ学習を授業に取り入れ、子どもの情報活用能力を育てました。
6	情報モラル教育の推進 【指導課】	情報活用には光と影の部分があり、SNSやスマートフォンの活用には、それらを踏まえた情報モラルが必要であることを指導します。	各校において教育活動全体を通して、情報モラル向上について指導を行いました。また、セーフティ教室では、SNSやスマートフォンの活用の正しい利用方法について指導を行いました。12月にSNS東京ルールの策定に伴い、全校でSNS学校ルールの検討を行いました。

【主な課題】**(a) 情報モラル教育の推進について**

SNS（例・LINE）を用いた子ども同士の不適切な関わりから生じるいじめなどの諸問題に対して学校でも取り組み、家庭に情報発信する必要がある。

【今後の取組の方向性】**(a) 情報モラル教育の推進について**

スマートフォンやインターネットから生じるネットいじめ等の諸問題について、セーフティ教室でメリットと危険性を子どもに認識させる。また、小・中学生によるネットいじめ防止サミットを実施する。

プラン4 輝く未来に向かって

主要施策 7 環境教育の推進

自然に親しみ、自然を大切にする心を育成するとともに、地球環境の保全について考え、行動できる教育を推進します。

また、学校・家庭・地域の連携・支援体制を確立し、環境教育のより一層の充実を図ります。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概要	取組内容
7	太陽光発電設備の設置 【庶務課】	太陽光発電設備を小・中学校へ計画的に設置し、環境教育への一助とします。	つつじが丘北小学校増築工事（26年・27年継続費）において、10kwの太陽光発電設備を屋上に設置しました。
7	豊かな自然環境を生かした教育の推進 【指導課】	総合的な学習の時間を活用して、農業体験や昭島に残されている自然やその保全など、地域の教育資源を生かした教育活動を実施します。	生活科・総合的な学習の時間を活用し、地域や学校の実態に応じた農業体験等を実施しました。
7	環境月間における環境教育の推進 【指導課】	環境月間（6月）に関連して、各教科等で環境教育を推進します。	各校が環境月間において、それぞれの学校の実態に応じて、節電、節水等を実施しました。
7	みんなで実行 ISO の実施 【指導課】	電気・ガス・水道について使用量等の調査活動を通して、環境への配慮や節約意識を醸成します。	電気・ガス・水道について使用量が見えるようにし、全教職員に節約意識を周知させ、環境への配慮を行いました。

【主な課題】

（a） みんなで実行ISOの実施について

子どもが主体的に環境に配慮した取組が十分に行われていない。また、省エネに対する意識が低下してきている。

【今後の取組の方向性】

（a） みんなで実行ISOの実施について

各学校で節電、節水、ゴミ減量の目標を設定し、各学校で行っている取組を支援する。

プラン4 輝く未来に向かって

主要施策 8 国際理解教育の推進

グローバル化が進展するなかで、子どもたちが広い視野をもち、異文化を理解し、世界の人々と協調しながら生きていく態度を身に付けることを目指し、国際理解教育を推進します。

また、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を育てるために、小・中学校において外国語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。

【施策の取組状況】

- (1) 外国語教育・外国語活動の推進
- (2) 国際理解に関する事業の実施

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
8-(1)	外国語教育や 外国語活動の充実 【指導課】	外国語の授業や外国語活動を通じて、小学校段階から系統的に指導を行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と能力の基礎を培います。	小学校5・6年生の外国語活動の授業や教科等における国際理解教育の充実を図りました。
8-(1)	A L T（外国語指導 助手）派遣事業 の充実 【指導課】	国際理解教育を一層推進するために、各小・中学校にA L Tを派遣し、中学校外国語教育及び小学校外国語活動の充実を図ります。	外国語を母国語とするA L Tを中学校には、各校 95 日派遣し、小学校5・6年生の外国語活動には、各学級 25 時間派遣しました。
8-(1)	小学校外国語カリ キュラムの開発 【指導課】	学習指導要領の改定内容を踏まえ、文部科学省が発行する外国語活動副教材に合ったカリキュラムを開発します。	文部科学省発行の外国語活動副教材「Hi friends」などの教材を活用して、今後のカリキュラムの検討を行いました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
8-(2)	平和教育の充実 【指導課】	他者と共存できる感性を育み、命と人権に関する身近な問題から平和な社会的関係のあり方を考えたり、世界の人々と緊密につながっていることを理解したりして、共に友好的に生きることのできる基礎を養います。	9月に各中学校において平和パネル展を実施しました。また、小・中学校の教科等の指導においては、社会の授業を中心に、平和な社会的関係のあり方を考えたり、世界の人々と緊密につながっていたりすることへの理解を図りました。また、各校が人権教育を推進する中で、命と人権の大切さを指導しました。
8-(2)	中学生英語スピーチコンテストの実施 【指導課】	英語による中学生の主張の機会を設け、話すことを中心として積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ります。	中学生 23 名が出場し、未来をひらく発表会において、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することができました。
8-(2)	英語チャレンジ体験事業・英語キャンプ事業の実施 【庶務課】 【指導課】	国内施設に宿泊し、外国人学生がリーダーとなり、英語研修や英語を使ったゲームなどを行い、外国人とのコミュニケーションを図る楽しさを実感させます。	アメリカ人学生との2泊3日の宿泊事業を実施しました。国分寺市及び東大和市と共同で実施し、昭島市の小学校6年生65名、中学校2・3年生13名が参加し、外国人とコミュニケーションを図る楽しさを実感しました。
8-(2)	中学生海外交流事業の実施 【庶務課】 【指導課】	オーストラリア（パース）にある学校との相互交流を通して、直にその国の文化や歴史、言語に触れることで、国際的視野を広げさせます。	西オーストラリア州パースにあるシェントン・カレッジと交流事業を実施し、中学生 20 名が8泊9日で同校を訪問し、学校生活、ホームステイ等を通して交流を図りました。また、9月には、同校の 20 名の生徒を福島中で受け入れました。

【主な課題】

(a) 外国語教育や外国語活動の推進について

小学校教員が外国語活動指導を行う上で、初めて外国語活動を指導する教員と指導したことのある教員では指導技術に差がある。また、外国語活動補助員との打ち合わせの時間を確保することが必要である。

(b) 国際理解に関する事業の実施について

中学生海外交流事業では81名の応募があったが、20名の生徒しか参加できない。また、中学校英語キャンプ事業には、定員30名に対し14名の応募があり定員に満たなかった。

【今後の取組の方向性】

(a) 外国語教育や外国語活動の推進について

小学校英語科教員を2名配置し、英語教育推進リーダーとして、小学校3年生から6年生までのカリキュラム開発・授業公開・他校への指導を行う。

(b) 国際理解に関する事業の実施について

中学生海外交流事業で派遣生とならなかった生徒には、中学生英語キャンプ事業への参加の周知を図っていく。中学生英語キャンプ事業について、応募者が定員に満たない場合は、再募集を行う。

主要施策 9 キャリア教育の推進

子どもの望ましい勤労観・職業観を育て、将来の進路につなげるキャリア教育が重視されています。職場訪問や職場体験などの体験活動は、子どもの勤労観・職業観を育成する上で大きな期待が寄せられ、小学校段階から意図的・計画的に実践する必要があります。自立した社会人・職業人として生きていくために求められる資質、能力の育成を目指して、キャリア教育を推進します。

【施策の取組状況】

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
9	キャリア教育全体計画の作成と年間指導計画の作成 【指導課】	各学校において「キャリア教育全体計画」に基づいた年間指導計画を作成し、子どもが将来への夢をもてるようにするとともに、望ましい勤労観を育成します。	今年度の取組を見直し、「キャリア教育全体計画」に基づき、各校の特色を生かした年間指導計画を作成しました。
9	中学生職場体験の充実 【指導課】	全中学校において2年生による職場体験を実施し、働くことの意義や勤労観・職業観を育成するとともに、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てます。	全中学校2年生が3日間の職場体験を実施しました。また、その実体験を発表することで、生徒全体に仕事の重要さや望ましい勤労観の育成を図りました。
9	職場体験受入事業所の確保・拡大 【指導課・各課】	生徒に幅広い選択肢の中から自分の将来の夢に近い事業所や興味のある事業所で働くことを体験させ、好ましい勤労観を育成します。そのために中学生職場体験の受入事業所の確保に努めます。	東京都の中学生職場体験の受入事業所の紹介、他校との情報交換を通して、受入事業所を増やしました。
9	キャリア教育推進委員会の活用 【指導課】	小中学校のキャリア教育推進担当教員が集まり、講師を招いた研修会や情報交換を行うとともに、研究授業を通じて教員の指導力の向上を図ります。	年間3回開催し、講師を招き、キャリア教育の年間指導計画の重要性や作成の仕方を学び、各校が特色ある年間指導計画を作成しました。また、リーフレットを作成し、全教員に配布してキャリア教育の啓発を図りました。

【主な課題】

- (a) キャリア教育全体計画の作成と年間指導計画の作成について
キャリア教育全体指導計画をもとに、全校が作成した年間指導計画について、授業実践を積み重ねることが必要である。
- (b) 職場体験受入事業所について
事業所によって、生徒の学習や体験内容に差が出ている。また、すべての生徒が希望する事業所への体験が難しい。

【今後の取組の方向性】

- (a) キャリア教育全体計画の作成と年間指導計画の作成について
年間指導計画について、授業実践を行い、評価、改善を通して、年間指導計画の内容を充実させる。
- (b) 職場体験受入事業所について
学校間の情報交換をするなど、事業所の確保に努める。受入事業所をホームページに公表したり、長年継続して受け入れた事業所には感謝状を贈呈したりするなどの検討を行い、継続した受入先の確保に努める。

プラン5 生涯学習の推進

主要施策 1 生涯学習

平成 25 年 3 月に策定した「あきしま学びぷらん（第 2 次昭島市生涯学習推進計画）」に基づき、「だれもが、いつでも、どこでも」学ぶことができる生涯学習の社会の実現に向けて、学習の機会と場の充実を計画的に推進します。

また、市民の学習ニーズの把握につとめ、学習講座の充実を図ります。

【施策の取組状況】

- (1) 生涯学習推進体制の整備
- (2) 生涯学習の推進
- (3) 公民館活動の充実

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(1)	社会教育関係団体 指導者育成 【社会教育課】	社会教育関係団体の育成、発展を図るため団体の登録、補助事業や指導者育成の研修会などを実施します。	社会教育関係団体研修会 「人が集まるチラシの作り方」 7 月 11 日 参加者 29 人
1-(1)	生涯学習推進のための校区協議会 機能の充実 【社会教育課】	「小学校区を中心にした生涯学習」を推進するために、PTA や自治会などと連携し、実施団体の設置や活動を支援します。	生涯学習校区協議会育成補助金 つ北小校区 98,000 円 田中小校区 190,000 円
1-(1)	(仮称) 教育福祉 総合センター 整備事業 【教育福祉総合 センター建設室】	「つなぐ・広がる・見つける・はぐくむ」知の拠点となる（仮称）教育福祉総合センターの設置に向けて取り組みます。	公募型プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計業務を進めました。
1-(1)	市立会館 管理運営事業 【社会教育課】	11 館設置されている市立会館が市民の皆様の活動拠点として、また、地域の情報交換の場としての充実を図ります。	福島会館空調設備等改修工事、拝島会館耐震補強等工事、昭和会館気密建具取替等改修工事を実施しました。また、作品展示用パネルを設置しました。
1-(2)	生涯学習援助協力者の登録制度の充実と活用の促進 【社会教育課】	生涯学習援助協力者制度の充実を図り、登録者への支援の場の提供など支援者の充実を図ります。	生涯学習援助協力者登録数 44 名 昭島生涯学習サポーターの会 「まなぶん」を結成しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(2)	土曜地域ふれあい 事業 【社会教育課】	子どもたちの居場所づくりと 地域の方々の技能や技術を生 かした生涯学習の場の充実を 図ります。	・囲碁教室（6月～11月） 2会館 各10回 参加者 38人 ・陶芸教室（7月） 福島会館 2回 参加者 32人
1-(2)	生涯学習情報 センターの設置 【社会教育課】	生涯学習情報雑誌「あきしま学 びガイド」による生涯学習の機 会の情報提供を図り、生涯学習 センターとしての機能強化の ため市立会館の充実を図りま す。	4月に発刊 市主催の講座・イベントなど 241件を掲載しました。 閲覧用 192部発行 配布用 653部発行
1-(2)	成人式の実施 【社会教育課】	昭島市の将来を担う市民の成 人式を、新成人による実行委員 会を組織し、実施します。	1月11日 市内民間ホテルで開催しまし た。 参加者 749人 実行委員 7人
1-(3)	公民館事業の充実 【公民館】	仲間づくりの場、集団活動の 場、学びの場、文化創造の場と して明日を築く市民が育つ場 としての事業を展開します。	障害のある青年の交流講座、シ ニアグループ合同発表会、市民 大学、各種講座、 自主市民講座、市民文化祭を実 施しました。
1-(3)	公民館利用団体 懇談事業の実施 【公民館】	公民館がより一層効果的に活 用されるよう、公民館運営に関 する意見交換会を公民館利用 登録団体と行います。	公民館利用団体懇談会、 公民館保育室保育者連絡会を 実施しました。
1-(3)	市民講座の実施 【公民館】	地域課題や生活課題に即した テーマでの各種講座を開設し、 市民の皆さんの自主的な学習 の場を提供します。	家庭教育セミナー、男女共同参 画セミナー、地域課題講座、夏 休み親子映画会 冬休み親子工作教室、JAXA 子ど も科学教室を実施しました。
1-(3)	市民大学の実施 【公民館】	市民としての自治能力を培い、 学びの成果を地域で活かせる ように、学術的な学びの場を提 供する昭島市民大学を実施し ます。	市民大学第7期2年次 修了者 33名 市民大学フォーラム公開講座 を実施しました。 全4回 参加者 39名
1-(3)	シニア講座の実施 【公民館】	高齢者が抱える様々な課題を 学び、交流し、学びの成果を自 身の生活に活かせるような講 座を実施します。	絵手紙入門講座を実施しまし た。 全4回 参加者 24名

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
1-(3)	障害のある青年 の交流講座の実施 【公民館】	障害のある青年たちが、健常な青年たちと共に活動し、交流を深め、共生できる社会の実現のために、多様な機会の提供と支援に努めます。	開講のつどい、くじら祭り参加（よさこいソーラン）、工作・料理教室、クリスマス会などを実施しました。 全 23 回 参加者 27 名

【主な課題】

(a) 土曜地域ふれあい事業について

土曜地域ふれあい事業などは継続的に行われており、新たなボランティア講師の人材発掘が必要である。

(b) 生涯学習の普及について

市内企業の生涯学習に関する考え方や地域や市民団体の需要が把握できていない。

(c) 社会教育関係団体指導育成事業について

生涯学習充実のための登録団体の指導者や子ども会の指導者向けの講習会を毎年実施しているが、団体間の情報交換を進める必要がある。

(d) 生涯学習推進事業について

生涯学習の情報提供について、冊子を毎年発行することで最新の情報提供に努めるとともに、各窓口においても情報提供に努めているが統一的な窓口は設置されていない。

(e) 公民館の役割及び支援体制について

公民館で学んだことを地域に生かすということが公民館活動の目的のひとつであり、市民大学の修了生などが、市の各種審議会委員やボランティアとして活動し、また、自治会との協働で高齢者の居場所作りなどの活動を続けている団体もあるが、相談窓口としての公民館に関係機関との連携体制が整っていない。

(f) (仮称) 教育福祉総合センター整備事業について

利用者の視点に立った整備を行うために、基本設計において市民の意見を取り入れる必要がある。また、本施設は様々な機能が集まる複合施設となることから、関連部署との調整が必要となる。

(g) 市民会館・公民館の施設整備について

市民会館・公民館は開館から33年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。平成25年に大規模改修工事を実施したが、今後も今回の工事対象以外の施設・設備について、状況の確認と改修・整備が必要である。

【今後の取組の方向性】

(a) 土曜地域ふれあい事業について

地域の人材である高齢者に、生涯学習援助協力者として土曜地域ふれあい事業での囲碁、陶芸の指導を継続して依頼していくとともに、生涯学習援助協力者の制度を広く周知し、いっそうの活用を図る。また、外部団体などからの援助・支援を受けることを検討する。更に、文化財ボランティアガイドの養成を行い、ボランティアガイドの活用を図っていく。

(b) 生涯学習の普及について

商工会や昭島観光まちづくり協会、市内外の企業などの関係機関の情報の把握に努めるとともに、地域や市民団体の関心等需要を把握し、更に連携の仕組みについて検討していく。

(c) 社会教育関係団体指導育成事業について

社会教育関係団体や子ども会関係者など各種の団体が意見交換をできる場の設定に努めていく。

(d) 生涯学習推進事業について

冊子による生涯学習の情報提供に努めるとともに、関係部署との連携を探り、未整備となっているセンター機能の検討を進める。

(e) 公民館の役割及び支援体制について

市民が求める多様な学習課題と時局の流れを把握するための情報収集を行うとともに、公民館の活動や役割についての積極的な周知を行っていく。

また、市民の自主的な公民館活動を支え、地域での活動の場に関する情報を提供できるような支援体制、庁内・関係機関との連携について引き続き検討していく。

(f) (仮称) 教育福祉総合センター整備事業について

平成27年度においては、市民ワークショップや市民説明会等を開催し、市民の意見を聴きながら基本設計を行った。今後においては、これらの意見を参考に平成28年度に実施設計を行い、関連部署との連携を図りながら、平成31年度中の開館を目指し整備を進める。

(g) 市民会館・公民館施設整備について

市民会館・公民館の今後の施設整備についても財政状況を勘案し、補助金等の活用も視野に入れながら、計画的に改修・整備を進め、安全な施設の管理運営に努める。

プラン5 生涯学習の推進

主要施策 2 図書館活動

市民図書館は、市民生活に欠かすことのできない教育文化施設です。子どもの読書活動推進のための様々な事業、青少年の読書活動、図書館利用の推進及びあらゆる人に対応した読書環境への整備を進めます。

また、(仮称)教育福祉総合センターの中に中央図書館の建設が計画されており、図書館機能の充実を図ります。

【施策の取組状況】

- (1) 図書館サービスの充実
- (2) 図書館資料の充実
- (3) 子どもの読書活動の支援
- (4) サービス網の整備

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(1)	中央図書館の整備 【市民図書館】	中央図書館建設に向けて図書館機能の充実を図ります。	中央図書館への移行を踏まえ、現図書館でできることとして、オンラインデータベースや国立国会図書館図書館向けデジタル化資料送信サービスの検討を行いました。
2-(1)	障害者用録音図書 のデジタル化 【市民図書館】	障害者用録音図書の安定供給や利便性の向上を図ります。	デージー図書(録音図書のCD版)を貸出しました。(27年度貸出件数 145 件)
2-(1)	図書館ボランティア の活用や市民 図書館協議会 との連携 【市民図書館】	図書館ボランティア講習会を実施し、活躍の場を広げるとともに、市民図書館協議会との共催事業を企画するなど、市民が参画した図書館づくりに努めます。	・対面朗読講習会及び録音図書デジタル化講習会を実施しました。 ・市民図書館協議会との共催で山梨県立図書館を視察しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(2)	蔵書の充実 【市民図書館】	市民の身近な課題解決を支援したり、ブックスタートに適したりする図書を中心に蔵書を充実させていきます。また、利用者のリクエストや社会ニーズを考慮した資料の整備に努めます。 さらに、児童・青少年を対象とした各種事業を行うとともに、児童図書の充実に努め、児童・青少年の図書館利用の促進を図ります。	・図書購入冊数 20,381 冊 ・福島県の地元新聞を設置しました。 ・ブックスタート事業として絵本ライブを実施しました。 ・児童・生徒による図書館見学 (691 人)、体験学習 (29 人)、図書館員派遣事業として小学校 2 校及び昭和高校に派遣しました。
2-(3)	第二次子ども読書活動推進計画の推進 【市民図書館】	平成 24 年 3 月に策定した計画を学校等とともに連携をしながら実施します。	・小学校教育研究会図書館部会に図書館職員が参加しました。 ・小学校 1 年生を対象に貸出券を交付しました。
2-(3)	第三次子ども読書活動推進計画の策定及び実施 【市民図書館】	第二次子ども読書活動推進計画の取り組み状況や国の計画などを参考に第三次子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書への関心を深める事業を推進します。	平成 28 年度計画策定に向け、第三次子ども読書活動推進計画の原案づくり等を検討しました。
2-(3)	学校図書館との連携 【市民図書館】	小学校教育研究会との連携や職員の学校派遣を行い、連携を深めます。また、中学校の読書活動推進委員会と協働し、中学生の読書活動を推進します。	・小学校・中学校に貸出期間 3 か月・1 回貸出冊数 300 冊以内で団体貸出を実施しました。 ・子ども読書活動推進委員会（中学校）を開催しました。
2-(3)	中・高校生の読書フォーラム 【市民図書館】	中・高校生の読書フォーラムを実施し、読書に関する興味・関心を深めます。	・3 月 19 日実施 ・参加者数 80 人 ・ビブリオバトルの実施 ・講師 拝島高校教諭（作家）
2-(4)	移動図書館の実施 【市民図書館】	図書館から遠い地域や身体的理由で図書館を利用できない方々のために、移動図書館「もくせい号」による利用サービスの向上を図ります。	・利用の実態にあわせて、武蔵野二丁目北児童遊園、西武拝島ハイツの曜日、時間を変更しました。

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
2-(4)	近隣他市の図書館との連携 【市民図書館】	近隣他市の図書館との相互利用について模索し、市民の利便性を高めます。	・昭島市民の近隣他市の利用状況及び近隣他市の住民の昭島市民図書館利用状況は増加傾向にあります。 ・相互利用の拡充に向けて、調査研究を行いました。

【主な課題】

(a) 図書館利用について

市民意識調査では図書館の利用頻度が低いとの結果がでた。原因を分析し、登録率の向上を図る施策を検討する必要がある。

(b) 図書館資料の充実について

幅広い年齢層に利用してもらえるよう選書の充実や図書館資料を整理する必要がある。

(c) 子どもの読書活動の支援について

平成28年度で第二次子ども読書活動推進計画が終了するので第三次子ども読書活動推進計画を策定する必要がある。

(d) (仮称) 教育福祉総合センターの図書館機能開設について

(仮称) 教育福祉総合センターの図書館機能開設に向け、これからの図書館の方向性を定めその実現に取り組むとともに、実施設計において遺漏の無いよう準備を進める必要がある。

(e) 高齢者への対応について

高齢化が急激に進む時代にあって、事務事業外部評価においても高齢向け事業の実施について意見をもらっており、高齢者を対象とした図書館施策が必要である。

【今後の取組の方向性】

(a) 図書館利用について

多くの住民に利用されるよう選書及び書架の充実に努めるほか、広報・ホームページの活用など図書館活動のPRを強化する。また、個人的な欲求への対応のほか社会的欲求への対応としてタイムリーな情報の提供などに取り組む等図書館サービスの充実に努め、魅力ある図書館づくりを推進する。

(b) 図書館資料の充実について

選書の充実と一定の保存場所の中で資料の適切な管理を行う。

(c) 子どもの読書活動の支援について

子ども読書活動の実態や国や都の計画を踏まえ、第三次子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書活動を支援し推進する。

(d) (仮称) 教育福祉総合センターの図書館機能開設について

昭島市民図書館基本方針・基本計画及び管理運営計画を策定するほか、図書資料の計画的な収集、什器・備品の調達及びシステム構築等、新図書館機能の開設に向け準備を進める。

(e) 高齢者への対応について

高齢者対応については引き続き高齢者に関心のある資料の充実を図るとともに、高齢者の関心のあるテーマで講演会等の催し物を開催し、昭島市老人クラブ連合会と連携を図りながら利用の促進を図る。

主要施策 3 文化・芸術

昭島市文化芸術の振興に関する基本方針に基づき、市民の文化活動の振興を図るため、身近な場所での多様な芸術鑑賞の機会の提供、また、日常的な文化活動や発表の機会の提供を行い、市民の文化活動や教養を高め、感動や喜び、精神的な安らぎをもたらす心豊かにする文化芸術活動を推進します。

【施策の取組状況】

- (1) 市民文化の育成
- (2) 自主的な活動の支援
- (3) 文化芸術に関する意識の高揚
- (4) 文化芸術に接する機会の拡充
- (5) 文化芸術を担う人材の育成

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
3-(1)	市民文化祭の実施 【公民館】	昭島市の文化の祭典として、多くの市民が日頃の文化活動の成果を発表する場として、また市民相互の交流を図る機会として市民文化祭を実施します。	市民文化祭 10/9～11/3 演奏・演芸・展示・発表及び対局を実施しました。 27 部門 参加者 15,383 名
3-(2)	文化・芸術活動団体への支援 【公民館】	自主的な文化芸術活動を行っている団体への活動場所の提供や発表機会の拡充に努めるとともに、文化芸術に関する情報を提供します。	市民文化祭、シニアグループ合同発表会を実施しました。
3-(3)	文化芸術に関する講座・講演会の実施 【公民館】	日々の生活に潤いをもたらす文化芸術作品に触れ、豊かな感性を養えるよう関心と理解を高める講座・講演会等を実施します。	歴史文化セミナー 「百人一首を味わう」 全4回 参加者 49 名 シニア講座 「絵手紙入門講座」 全4回 参加者 24 名
3-(4)	市民会館自主文化事業の充実 【市民会館】	昭島市民会館文化事業協会が中心となって質の高い多様な芸術・文化事業を実施し、市民文化活動の振興と地域文化の向上を目指します。	市民会館文化事業協会による、歌謡、クラシック、寄席、能など様々な鑑賞事業を、大ホールは共催を含め9事業、小ホールは1事業を実施しました。 入場者数 延べ 7,367 名

番号	施策・事業名	概要	取組内容
3-(4)	公民館ふれあい コンサートの充実 【公民館】	市民のみなさんに身近な場所で芸術鑑賞の機会を提供します。	ふれあいコンサートを2回実施しました。 1回目 5/16 実施 参加者 110 名 2回目 1 / 9 実施 参加者 100 名
3-(5)	伝統芸能の後継者 の育成 【社会教育課】	市民の共有の財産であり、将来の文化芸術の発展の基礎となる伝統芸能を保存・継承するための支援をします。	【文化財保存事業補助金】 ・ 拝島日吉神社祭礼囃子保存育成事業 120,000 円 ・ 福島ばやし保存育成事業 60,000 円

【主な課題】

(a) 文化芸術の振興について

昭島の文化芸術に関する施策は、現在、市長部局、教育委員会の各課が独自に実施している。「昭島市文化芸術の振興に関する基本方針」において課題となっている文化芸術の振興を計画的に推進していくための市の各部課の調整と民間団体との連携の強化を行う体制の整備がいまだなされていない。

(b) 文化芸術活動の推進について

公民館事業として市民文化機会の拡充を検討する必要性がある。

【今後の取組の方向性】

(a) 文化芸術の振興について

「昭島市文化芸術の振興に関する基本方針」に基づき、昭島の文化芸術に関する施策を計画的に推進していくために、各部課の調整と民間団体との連携を強化しコーディネートを行う「協議機関」の設置などの推進体制について庁内で協議してきたが、今後も引き続き検討を行っていく。

(b) 文化芸術活動の推進について

市民による自主的な文化芸術活動の発表の場を提供するとともに、さらなる活動の促進のために文化芸術に関する情報の収集と施設の限られたスペースを有効活用し、誰でも気軽に情報を得ることができるように、情報の提供についてさらなる検討をしていく。

プラン5 生涯学習の推進

主要施策 4 スポーツ・レクリエーション

健康志向の高まりにより、生涯にわたりスポーツに親しみ、個々のライフステージに応じたスポーツの楽しみ方が求められ、スポーツ・レクリエーションの種目も多様化しています。

こうした中で、市民が健やかでより豊かな生活を実現するため、「いつでもどこでも いつまでも」スポーツ・レクリエーションを親しむ地域スポーツ社会と市民の多様なニーズに取り組みます。

【施策の取組状況】

- (1) スポーツ振興計画の推進
- (2) スポーツライフの形成
- (3) スポーツ・レクリエーションの基盤整備

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(1)	スポーツ振興計画の推進 【スポーツ振興課】	平成 19 年 3 月に策定した計画の最終年度にあたるため、基本施策の実現に向けて着実に実施します。	計画の各施策の達成状況や目標値の達成状況を市民アンケートを実施し検証しました。
4-(1)	スポーツ推進計画の策定及び実施 【スポーツ振興課】	平成 23 年度に改正された「スポーツ基本法」に基づき、国の定めた「スポーツ基本計画」を参酌し、「昭島市スポーツ推進計画」を策定し、実施します。	スポーツ振興計画の考え方を踏まえつつ、スポーツ推進計画策定委員会を設置し、平成 33 年度までを計画期間とするスポーツ推進計画を策定しました。
4-(2)	チャレンジデーの実施 【スポーツ振興課】	市民のスポーツへの参加のきっかけづくりと健康づくりを図るため「チャレンジデー」を実施します。	4 年連続となるチャレンジデーへの参加 参加者数：85,541 人 参 加 率：75.9%
4-(2)	各種スポーツ・レクリエーション教室の充実 【スポーツ振興課】	多様なニーズに応じたスポーツ・レクリエーション教室を開催し、スポーツをするきっかけづくりとともに、健康づくりを支援します。	新たな教室を 4 種目含め、開催しました。 開催教室数：全 22 教室 参加者：延べ 8,276 人

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(2)	市民体育大会 の実施 【スポーツ振興課】	競技スポーツとしての日頃の練習成果を発揮する場及びスポーツを通して、地域の交流を深め、活性化を図る機会を提供します。	体育協会及び自治会連合会に委託し実施しました。 種目別大会 開催種目：25 種目 参 加 者：7,714 人 自治会ブロック別運動会 会場数：15 会場 参加者：9,860 人
4-(2)	スポーツによる市民 交流大会の実施 【スポーツ振興課】	スポーツを通して、市民の健康づくりを図り、地域の交流と親睦を深める大会を実施します。	自治会対抗スポーツ大会を実施しました。 実施日：2月7日 自治会数：13 自治会 チーム数：26 チーム 参 加 者：105 人
4-(2)	気軽にスポーツを 親しむ事業の実施 【スポーツ振興課】	子どもから高齢者までが様々なスポーツを体験し、身近で気軽にスポーツに親しむことができる場を提供します。	親子ふれあいスポーツデーを市内3小学校で実施しました。 会 場：田中小、共成小、拝三小 参加者：延べ283人 スポーツレクリエーションフェスティバルの実施 実施日：10月12日 参加者：3,552人
4-(2)	高齢者のためのスポーツ大会の実施 【スポーツ振興課】	高齢者が生涯スポーツに親しみ、健康維持・増進を図るためのスポーツ大会を実施します。	シニア軟式野球大会を実施しました。 実 施 日：11月7日 チーム数：4 チーム 参 加 者：78 人
4-(2)	新春駅伝競走大会 の実施 【スポーツ振興課】	「走る」ことによるスポーツの振興と健康づくり及び市民の交流を深める機会を提供します。	第61回の大会を実施しました。 実 施 日：1月10日 チーム数：231 チーム 参 加 者：1,671 人 なお、今大会より記録の集計には電子チップ方式を採用し、より正確で迅速な集計を図りました。
4-(2)	スポーツ力向上 事業の充実 【スポーツ振興課】	競技力向上を目的として、トップアスリートなどを招き、専門的な指導を実施します。	昭島市体育協会の所属スポーツ団体にて実施しました。 実施団体：7 団体 参 加 者：482 人

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(2)	スポーツ推進委員 によるスポーツ の推進 【スポーツ振興課】	各小学校区域にスポーツ推進委員を配置し、市民の健康づくりのためにスポーツの推進を図ります。	各地域でスポーツ指導を実施しました。 市民健康づくり歩け歩け運動を2回実施しました。 1回目 5月17日 参加者：89人 2回目 11月1日 参加者：115人
4-(2)	大会への選手・役員の派遣 【スポーツ振興課】	スポーツを通して、近隣市等との交流を深めるとともに、競技力向上のために各種大会に選手・役員を派遣します。	都民体育大会などに昭島市代表として選手を派遣しました。 派遣大会数：4大会 派遣選手数：579人
4-(3)	指導者向け講習会の実施 【スポーツ振興課】	スポーツ団体の指導員向けの各種講習会を実施することにより、さらなる競技力の向上を図ります。	指導者を対象に、上級救命講習会を実施しました。 参加者：13人
4-(3)	運動施設の整備 【スポーツ振興課】	市内各運動施設の適切な維持管理を図るとともに、利用者が安心して利用できる施設整備を行います。	老朽化が進む各スポーツ施設において、建物・機械設備など各種修繕を行いました。 また、みほり体育館では雨漏りが頻繁に発生したため、急きょ屋根の防水工事を行いました。
4-(3)	学校施設の活用 【スポーツ振興課】	学校教育の場である学校施設の運動施設を、夜間及び休日に、地域のスポーツ活動の場としての活用を図ります。	校庭夜間照明設備開放 つつじが丘北小 利用者：268人 旧拝島第四小 利用者：3,884人 昭和中校庭 利用者：805人 昭和中テニスコート 利用者：1,253人 旧拝島第四小学校運動施設開放 校庭：5,023人 体育館：2,968人 小学校プール一般開放 会場：拝島第一小 開催日数：7日間 利用者：235人

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
4-(3)	スポーツ団体への支援 【スポーツ振興課】	各種スポーツ団体への支援に努めるとともに、組織化の推進及び活動の活性化を図ります。	スポーツ団体の普及及び競技力向上のため各団体に補助金を拠出しました。 団 体 数：6団体 補助金額：3,735,000 円

【主な課題】

(a) チャレンジデーの実施について

チャレンジデーの開催の関心を高め、参加者の拡大を図るとともに、開催をきっかけに、市民一人一人がそれぞれに応じて継続的に運動やスポーツを行うような施策の内容の検討が必要である。

(b) 東京オリンピック・パラリンピックについて

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けスポーツへの関心が高まる中、啓発活動の充実の検討が必要である。

(c) 運動施設の整備について

老朽化が進む各運動施設の修繕等の対策や新たに設置を予定している立川墓地跡地内の調節池の平常時利用の運動施設としての設置に関し、東京都との調整が必要である。

(d) スポーツ振興計画の未達成施策への対応について

スポーツ振興計画が、平成27年度に計画期間の満期を迎えるが、施策の進捗状況の評価・検証した結果、未達成であった施策があるため、今後どのように対応をするか検討する必要がある。

【今後の取組の方向性】

(a) チャレンジデーの実施について

多くの市民がチャレンジデーに参加し、また継続的に運動やスポーツを行っていただけるよう啓発活動を拡充する。

(b) 東京オリンピック・パラリンピックについて

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたジュニア育成のため、競技団体と連携し競技力の向上を図る。

(c) 運動施設の整備について

健康づくりとしての生涯スポーツの関心が高くなっている現状を踏まえ、より多くの市民がスポーツを安全で安心して利用できる場を提供するため、老朽化が進む運動施設の計画的な修繕を実施するほか、新たに設置する調節池の平常時利用の整備を進めるため、東京都と詳細な調整を行う。

(d) スポーツ振興計画の未達成施策への対応について

スポーツ振興計画で未達成であった施策については、平成28年3月に策定した「スポーツ推進計画」策定時に対応を検討し、継続する施策については、計画期間である平成33年度までに達成できるよう、具体的な事業の検討を図る。

主要施策 5 文化財

文化財は、地域の伝統的な文化が結実したもので、昭島の歴史や文化の理解に必要不可欠なものです。また、将来の地域づくりの核となるものとして、確実に次世代に継承していくことが大切です。

そこで、これらの文化遺産を後世に伝え、地域の文化遺産としての活用を図るため、その調査と保護・保存と活用を図ります。

【施策の取組状況】

- (1) 文化財の保護・保存
- (2) 文化財の活用

番号	施策・事業名	概 要	取組内容
5-(1)	郷土資料室の展示 【社会教育課】	市内の遺跡から発掘された土器・石器類や古文書、農具等の民具を体系的に展示し、昭島の歴史や文化の理解を図ります。	毎週、水曜・土曜・日曜日の正午～午後4時に開室 夏休期間に10日間の特別開室 来館者延696人 (工事休館5か月有)
5-(1)	民具の調査・整理 【社会教育課】	現在では使用されなくなった民具は、先人の生活実態を知る手掛かりとして貴重な文化財です。その収集と保存に努めます。	民具調査整理補助作業員2名(臨時職員)を雇用しました。 民具等の調査、整理、分類作業を実施しました。
5-(1)	埋蔵文化財の発掘調査 【社会教育課】	土木工事等により、貴重な文化遺産である埋蔵文化財の散逸を防ぐため、文化財保護法に基づく、諸手続きを確実に実施します。	埋蔵文化財発掘調査箇所 ・林ノ上遺跡(24.00㎡) ・熊野神社東遺跡(24.00㎡) ※宅地開発に伴う遺跡範囲の確認調査(検出なし)
5-(1)	指定文化財の保護 【社会教育課】	国や都の指定文化財を保護・保存の支援を行うとともに、市指定文化財の保護・保存と活用を図るため助成事業などを継続します。	文化財保存事業補助金 ・文化財公開謝礼 17件 204,000円 ・拝島日吉神社祭礼奈賀町屋台修理事業 8,210,000円 ・大日堂境域消火設備不具合箇所修理事業 248,000円

番号	施策・事業名	概要	取組内容
5-(2)	文化財ボランティアガイドの活用 【社会教育課】	文化財ボランティアガイドによる文化財めぐりの企画や郷土資料室の団体見学の解説など、活動の場の提供に努めます。	浄土古墳清掃（毎月1回）、 文化財めぐり説明・随行 （10月に2回） 郷土資料室（毎週水曜日）
5-(2)	文化財めぐりの実施 【社会教育課】	郷土昭島の歴史を自らの目で確かめ、身近な文化遺産を通して郷土を知り、文化財保護に対する啓発を図るために実施します。	10月10日 ・中部地区（上川原・田中・大神）コース 参加者 30人 10月31日 ・旧五日市鉄道廃線敷跡コース 参加者 28人
5-(2)	市史・文化財資料図書の発刊・頒布 【社会教育課】	昭島市の歴史や文化財に関する資料を作成し、広く市民に周知します。	昭島市近代史調査報告書Ⅲ 「明治初期 昭島旧十ヶ村誌」 750冊発刊
5-(2)	郷土資料室企画事業の充実 【社会教育課】	郷土資料室の企画による「まが玉づくり教室」の実施のほか、郷土の歴史や文化に親しむ機会の場の提供を図ります。また、アキシマクジラの化石の活用を検討します。	・まが玉づくり教室 8月7日 参加者 23人 ・アキシマクジラ見学ツアー 7月23日 参加者 29人

【主な課題】

（a） 郷土資料室企画事業の充実について

郷土資料室の老朽化、また狭あい化のため、保管している文化財や出土遺物は、旧校舎や空き教室などを借用して保管しており、統一的な管理ができていない。また昭島市史編さんに収録したマイクロフィルムの劣化に伴うデジタル化を図ったが、活用方法を試行している。

【今後の取組の方向性】

（a） 郷土資料室企画事業の充実について

現状施設での文化財の保護保存に努めるとともに、（仮称）教育福祉総合センター内への移設に向け検討していく。また、昭島近代史調査報告書の発刊など関係図書の充実に努めていく。

第4章 平成27年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果

平成28年1月定例会で報告

1 確かな学力①

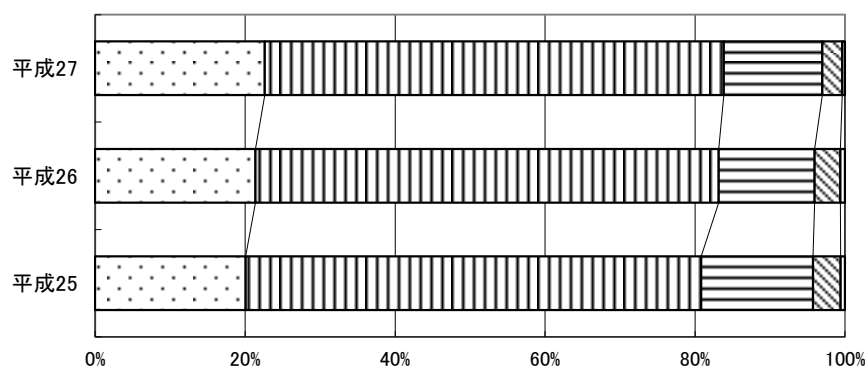
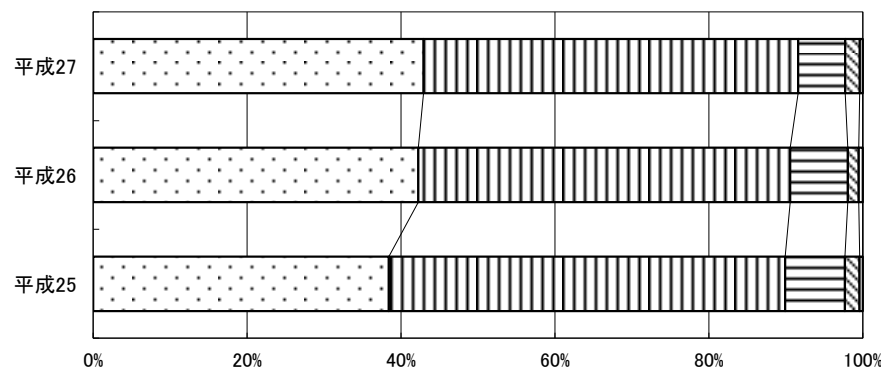
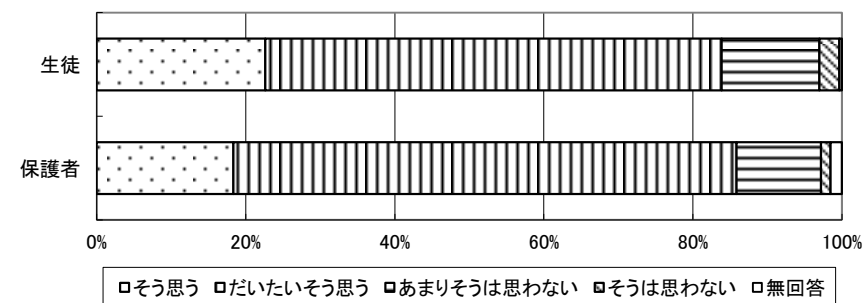
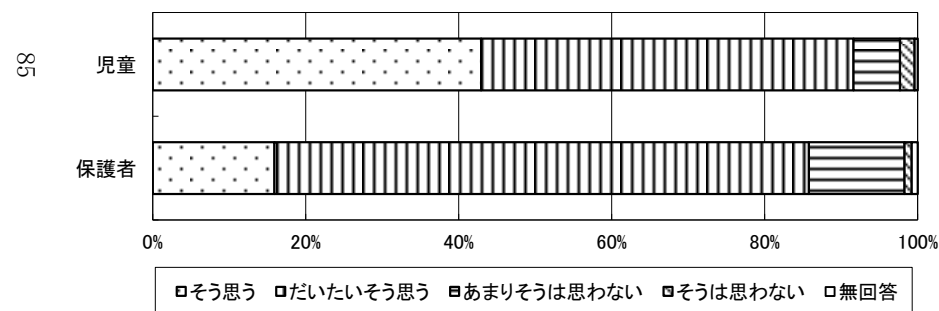
- 学校の授業は、わかりやすい(「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた児童は平成26年度から1.0ポイント高い。生徒は平成26年度から0.7ポイント増加した。
- 学校の授業は、わかりやすいと答えた生徒は保護者より2.0ポイント低かった。

【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校の授業は、わかりやすいですか。	保護者	平成27	15.9%	69.8%	12.5%	0.9%	0.8%
	児童	平成27	42.9%	48.7%	6.1%	1.9%	0.4%
		平成26	42.2%	48.3%	7.5%	1.4%	0.5%
		平成25	38.4%	51.5%	7.7%	1.9%	0.4%

【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校の授業は、わかりやすいですか。	保護者	平成27	18.3%	67.5%	11.3%	1.3%	1.5%
	生徒	平成27	22.6%	61.2%	13.1%	2.7%	0.4%
		平成26	21.4%	61.8%	12.8%	3.4%	0.6%
		平成25	20.1%	60.7%	14.9%	3.7%	0.6%



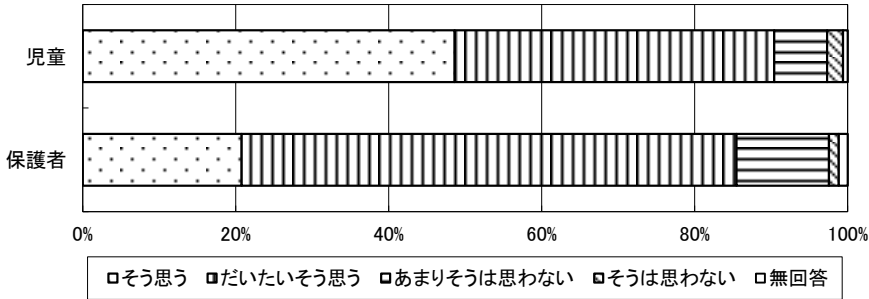
1 確かな学力②

■ 先生方は、授業を工夫している(「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた児童は平成26年度から2.1ポイント増加した。生徒は平成26年度から0.2ポイント減少したが、平成25年度より2.1ポイント高い。
先生方は授業を工夫していると答えた生徒は保護者より14.2ポイント高かった。

【小学校】

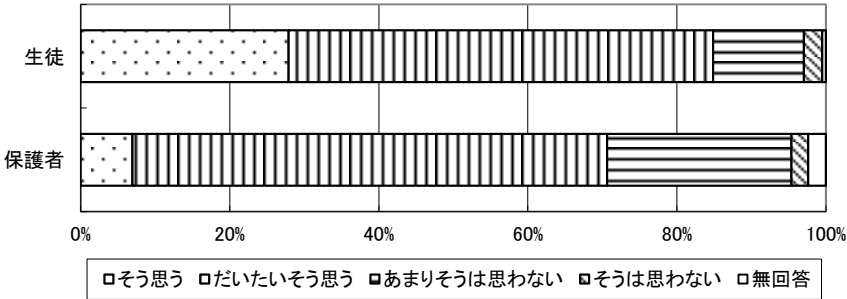
質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
先生方は、授業を工夫していますか。	保護者	平成27	20.8%	64.7%	12.1%	1.3%	1.2%
	児童	平成27	48.6%	41.8%	6.9%	2.1%	0.6%
		平成26	49.2%	39.0%	9.4%	1.8%	0.6%
		平成25	45.9%	41.7%	9.3%	2.3%	0.8%

89



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
先生方は授業を工夫していますか。	保護者	平成27	6.9%	63.7%	24.8%	2.2%	2.4%
	生徒	平成27	27.9%	57.0%	12.2%	2.5%	0.5%
		平成26	27.9%	57.2%	12.1%	2.2%	0.6%
		平成25	25.1%	58.9%	13.9%	2.6%	0.6%



平成27

平成26

平成25

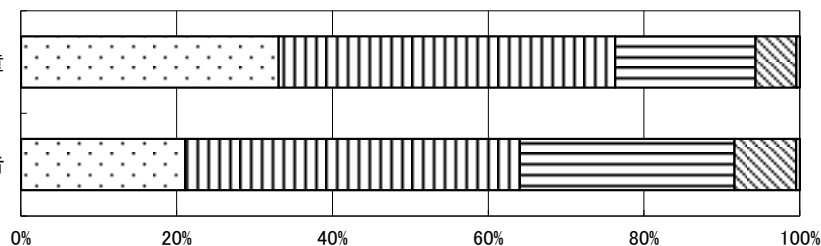
1 確かな学力③

■ 家庭学習の習慣が身に付いている(「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた児童は平成25年度から0.7ポイント増加し、生徒は平成25年度から1.5ポイント増加した。

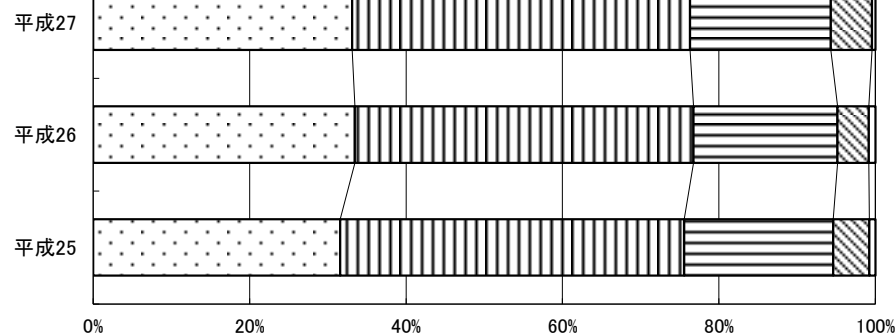
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
家庭学習の習慣が 身に付いていると思 いますか。	保護者	平成27	21.1%	43.0%	27.5%	7.9%	0.5%
	児童	平成27	33.1%	43.2%	18.0%	5.3%	0.4%
		平成26	33.5%	43.3%	18.4%	4.0%	0.9%
		平成25	31.6%	44.0%	19.1%	4.6%	0.8%

87

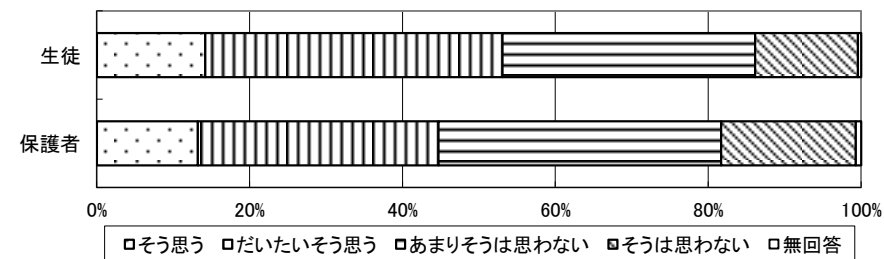


□そう思う □だいたいそう思う □あまりそうは思わない □そうは思わない □無回答

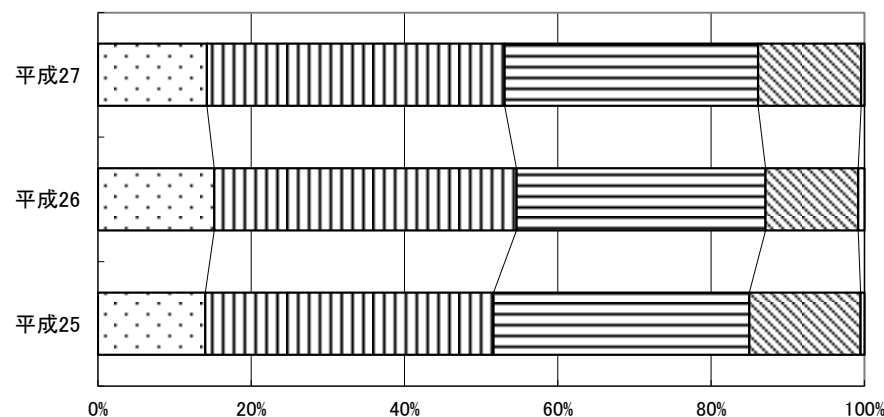


【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
家庭学習の習慣が 身に付いていると思 いますか。	保護者	平成27	13.2%	31.5%	37.0%	17.6%	0.7%
	生徒	平成27	14.2%	38.9%	33.0%	13.5%	0.4%
		平成26	15.2%	39.4%	32.5%	12.1%	0.8%
		平成25	14.0%	37.6%	33.3%	14.5%	0.5%



□そう思う □だいたいそう思う □あまりそうは思わない □そうは思わない □無回答

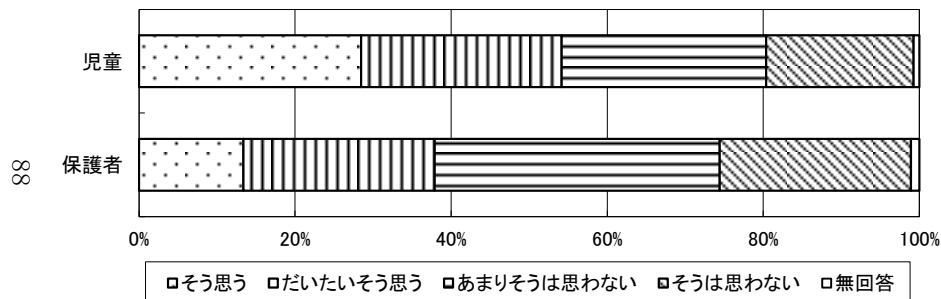


1 確かな学力④

■ 毎日読書をしている(「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた児童は平成26年度から4.7ポイント減少したが平成25年度より1.4ポイント高い。生徒は平成26年度から2.0ポイント増加した。
毎日読書をしていると答えた児童は保護者より16.3ポイント、生徒は27.5ポイント高かった。

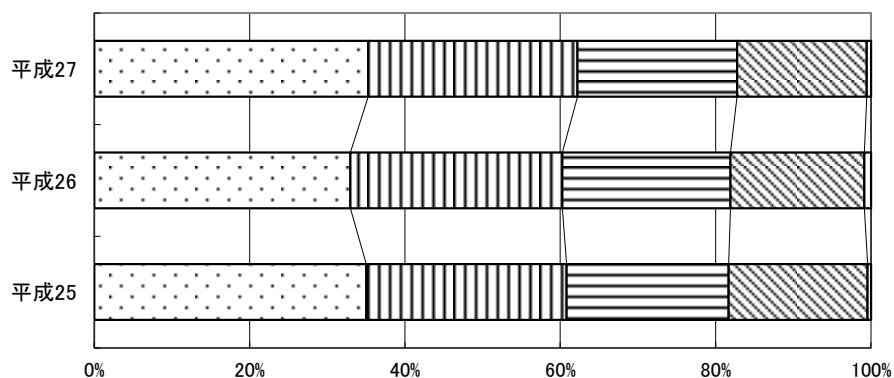
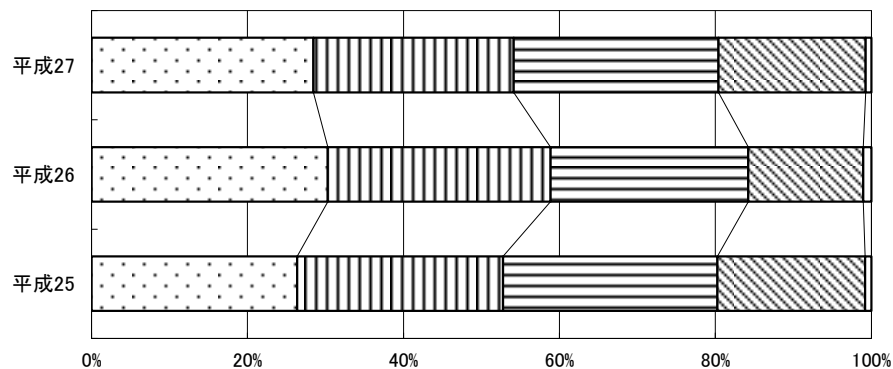
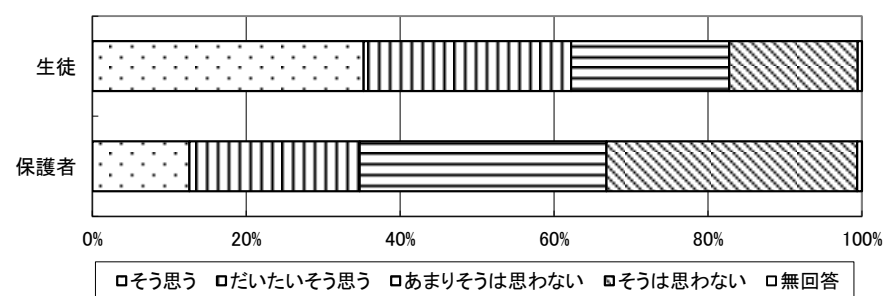
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
毎日読書をしている と思いますか。	保護者	平成27	13.4%	24.5%	36.5%	24.5%	1.1%
	児童	平成27	28.4%	25.7%	26.2%	18.9%	0.7%
		平成26	30.3%	28.6%	25.4%	14.7%	1.0%
		平成25	26.4%	26.4%	27.5%	18.9%	0.8%



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
毎日読書をしている と思いますか。	保護者	平成27	12.6%	22.2%	32.0%	32.6%	0.6%
	生徒	平成27	35.3%	26.9%	20.5%	16.7%	0.6%
		平成26	33.0%	27.3%	21.6%	17.3%	0.8%
		平成25	35.0%	25.8%	20.9%	17.9%	0.4%

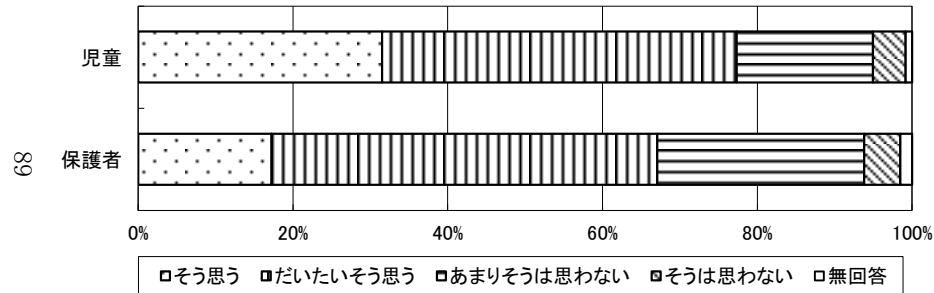


1 確かな学力⑤

■ 学校で学んだことを生活の中で生かしている(「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた児童は平成26年度から0.3ポイント、生徒は平成25年度から3.2ポイント増加した。
学校で学んだことを生活の中で生かしていると答えた生徒は保護者より18.1ポイント高かった。

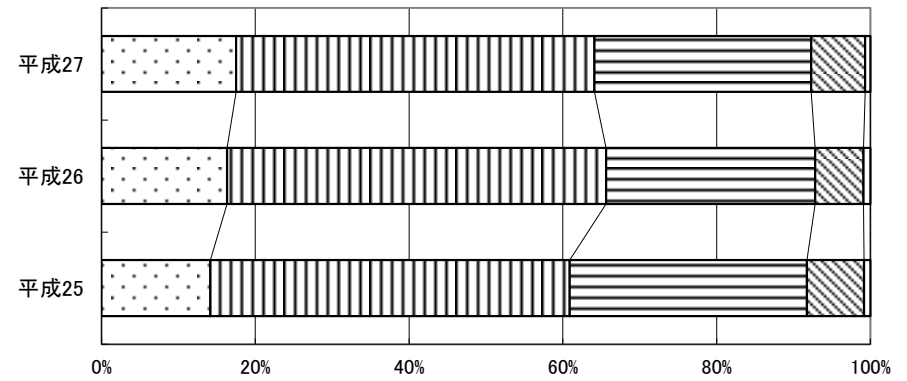
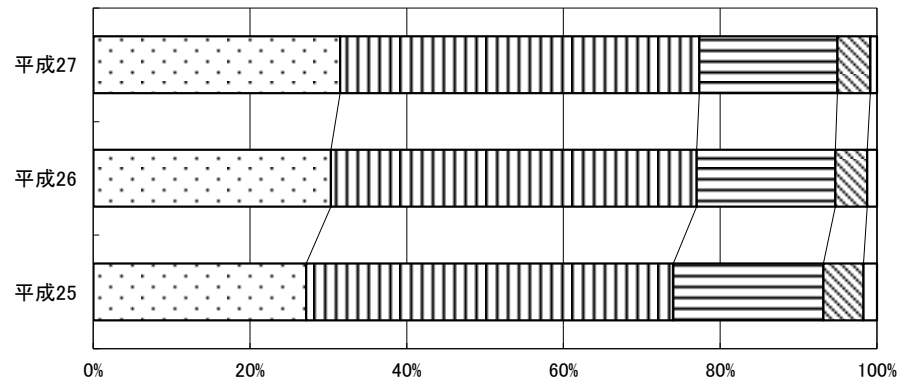
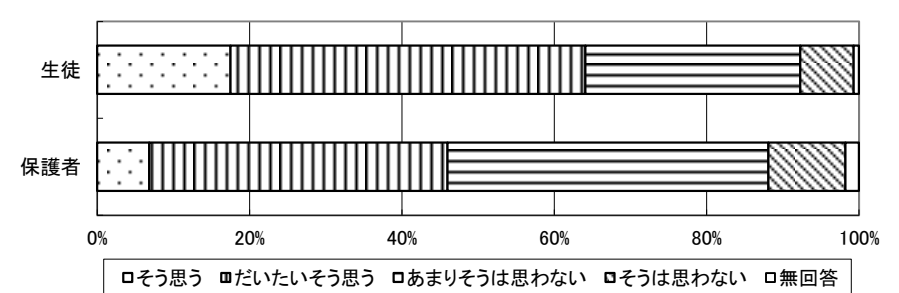
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校で学んだことを 生活の中で生かして いますか。	保護者	平成27	17.2%	49.8%	26.7%	4.7%	1.5%
	児童	平成27	31.5%	45.8%	17.6%	4.2%	0.8%
		平成26	30.3%	46.7%	17.7%	4.1%	1.2%
		平成25	27.2%	46.9%	19.2%	5.1%	1.7%



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校で学んだことを 生活で生かしていま すか。	保護者	平成27	6.8%	39.2%	42.2%	10.1%	1.8%
	生徒	平成27	17.5%	46.6%	28.2%	7.0%	0.7%
		平成26	16.3%	49.3%	27.2%	6.3%	0.9%
		平成25	14.2%	46.7%	30.9%	7.4%	0.8%

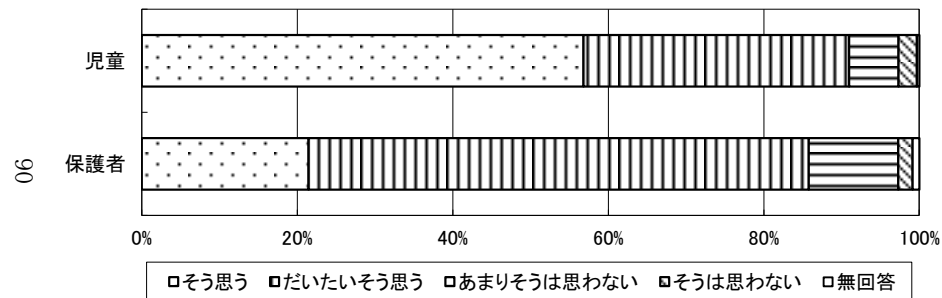


2 豊かな心①

■ 学校の授業で、自分や友だちのことを大切に学ぶことがある(「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた児童は平成25年度から1.0ポイント増加した。生徒は平成26年度から2.1ポイント減少したが平成25年度より0.7ポイント高かった。

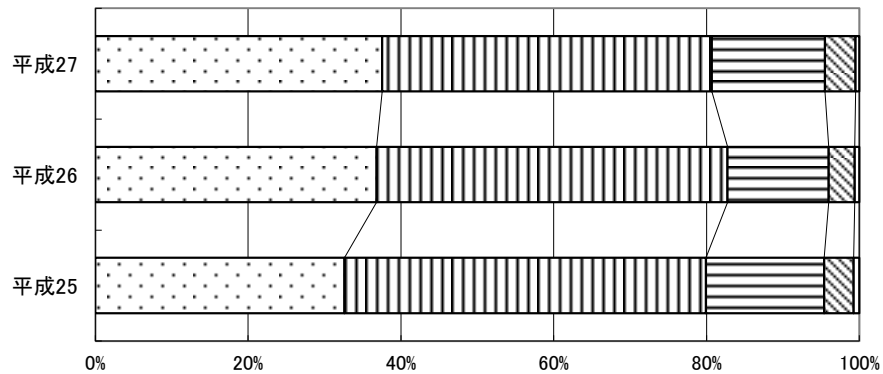
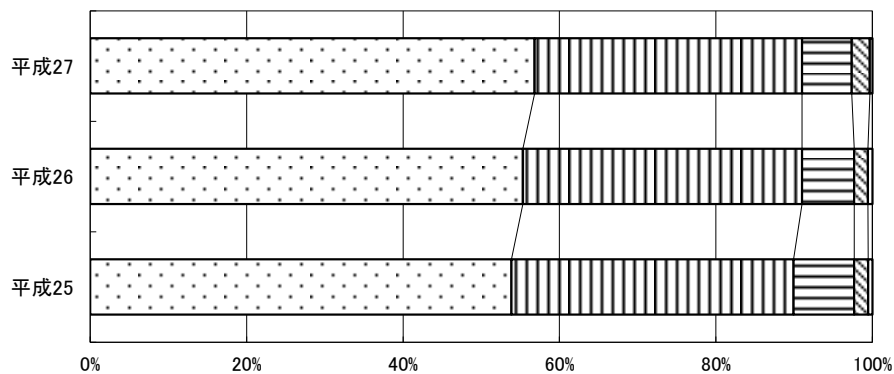
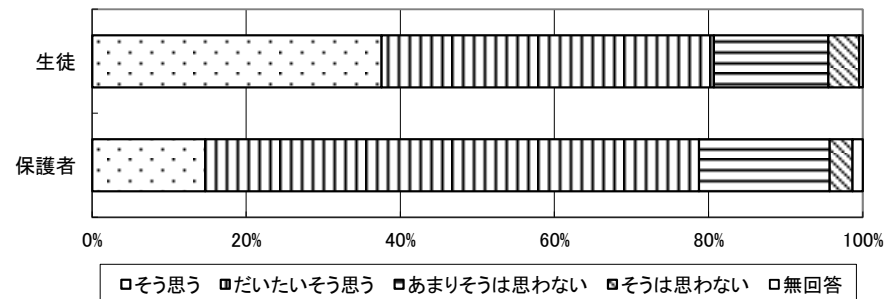
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校の授業で、自分や友だちのことを大切に学ぶことが あると思いますか。	保護者	平成27	21.4%	64.3%	11.5%	1.8%	0.9%
	児童	平成27	56.8%	34.2%	6.4%	2.3%	0.3%
		平成26	55.3%	35.7%	6.7%	1.8%	0.6%
		平成25	53.9%	36.1%	7.8%	1.8%	0.6%



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校の授業で、自分や友だちのことを大 切だと学ぶことがあ ると思いますか。	保護者	平成27	14.7%	64.1%	16.9%	3.0%	1.3%
	生徒	平成27	37.6%	43.1%	14.8%	4.0%	0.5%
		平成26	36.8%	46.0%	13.2%	3.4%	0.6%
		平成25	32.6%	47.3%	15.5%	3.9%	0.7%

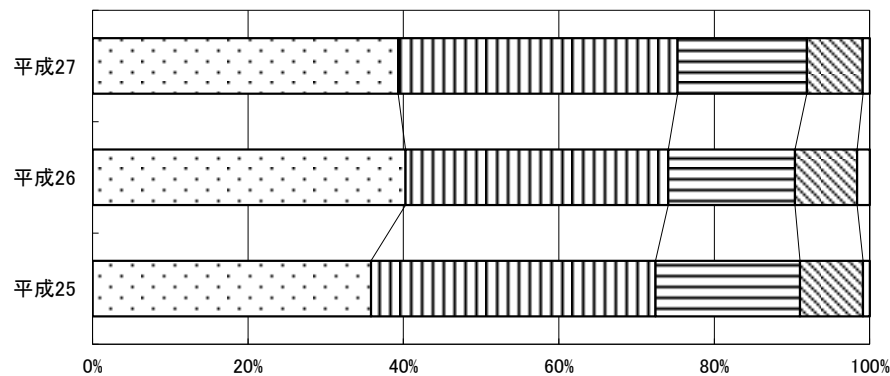
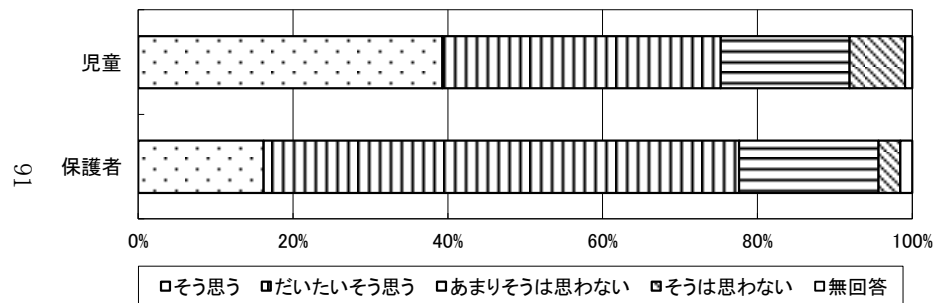


2 豊かな心②

- 学校には、あなたの気持ちをよくわかってくれる先生がいる(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から1.2ポイント、生徒は平成25年度から1.5ポイント増加した。
学校には、あなたの気持ちをよくわかってくれる先生がいると答えた生徒は保護者より10.8ポイント低かった。

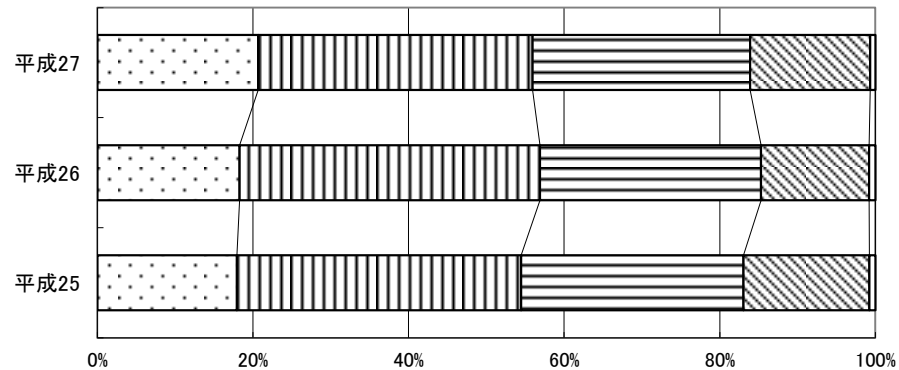
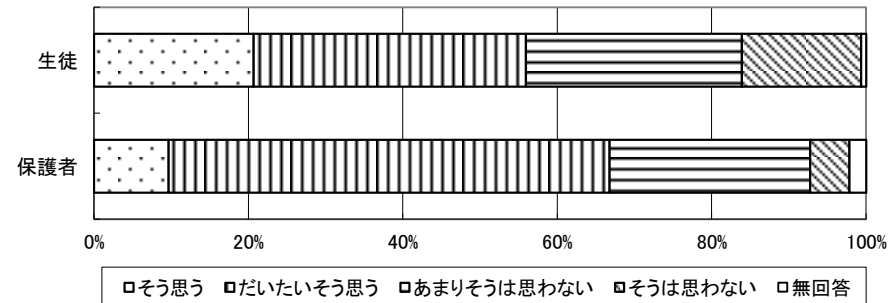
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校には、あなたの気持ちをよくわかってくれる先生がいますか。	保護者	平成27	16.2%	61.4%	18.0%	2.8%	1.5%
	児童	平成27	39.3%	36.0%	16.6%	7.2%	0.9%
		平成26	40.3%	33.8%	16.3%	8.0%	1.7%
		平成25	35.8%	36.6%	18.6%	8.1%	0.9%



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校には、あなたの気持ちをよくわかってくれる先生がいますか。	保護者	平成27	9.6%	57.1%	26.0%	5.1%	2.2%
	生徒	平成27	20.7%	35.3%	27.9%	15.4%	0.7%
		平成26	18.3%	38.6%	28.4%	13.9%	0.8%
		平成25	17.9%	36.5%	28.6%	16.2%	0.8%



2 豊かな心③

■ 学校に相談できる先生がいる(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成25年度から1.7ポイント、生徒は平成25年度から2.7ポイント増加した。

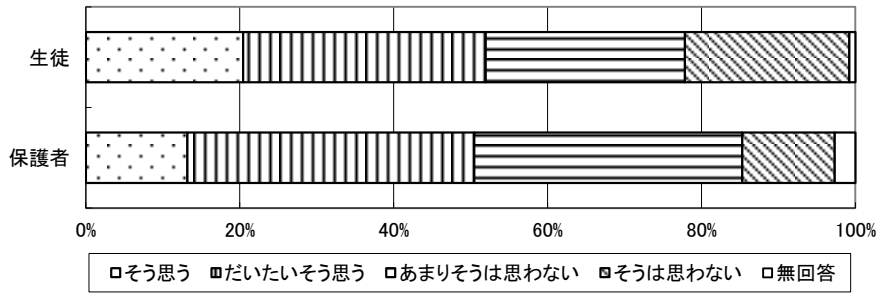
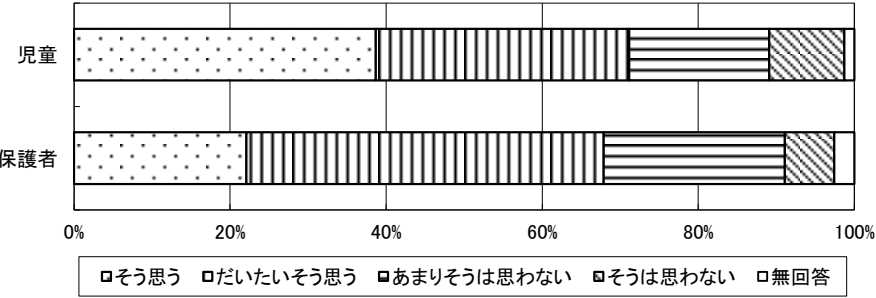
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校に相談できる先生 がいますか。	保護者	平成27	22.1%	45.8%	23.2%	6.3%	2.6%
	児童	平成27	38.6%	32.5%	18.0%	9.6%	1.3%
		平成26	38.0%	30.0%	17.7%	12.3%	1.9%
		平成25	34.6%	31.0%	19.4%	13.1%	1.9%

【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校に相談できる先生 がいますか。	保護者	平成27	13.2%	37.3%	34.8%	12.0%	2.7%
	生徒	平成27	20.4%	31.5%	25.9%	21.4%	0.8%
		平成26	18.1%	32.4%	27.8%	20.5%	1.2%
		平成25	18.0%	30.8%	27.7%	22.5%	1.0%

92



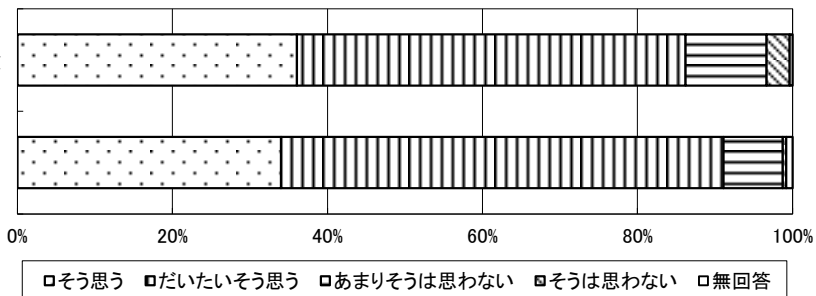
2 豊かな心④

■ 自分は、よいこと、悪いことを判断する力が身に付いている(「そう思う」「だいたいそう思う」と思うと回答した児童は平成26年度から1.8ポイント増加した。生徒は平成25年度から平成27年度までほぼ同値である。

【小学校】

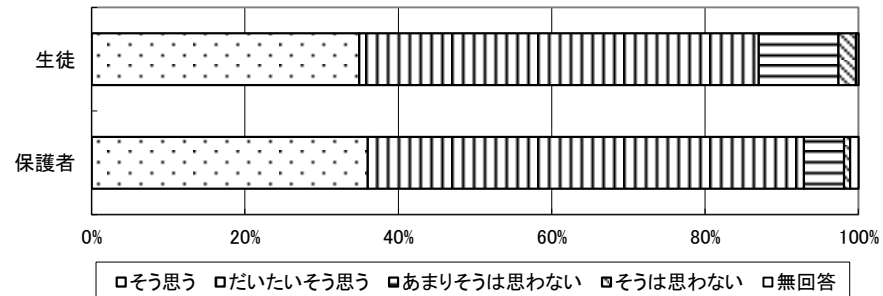
質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
自分は、よいこと、悪いことを判断する力が身に付いていると思いますか。	保護者	平成27	34.0%	57.1%	7.7%	0.4%	0.8%
	児童	平成27	36.1%	50.1%	10.5%	3.0%	0.4%
		平成26	34.2%	50.3%	11.5%	2.5%	1.5%
		平成25	32.2%	52.2%	12.4%	2.4%	0.9%

93



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
自分は、よいこと、悪いことを判断する力が身に付いていると思いますか。	保護者	平成27	36.0%	56.9%	5.2%	0.8%	1.1%
	生徒	平成27	34.9%	52.1%	10.4%	2.3%	0.3%
		平成26	33.2%	55.7%	8.1%	2.4%	0.6%
		平成25	30.5%	56.7%	9.5%	2.5%	0.9%



平成27

平成26

平成25

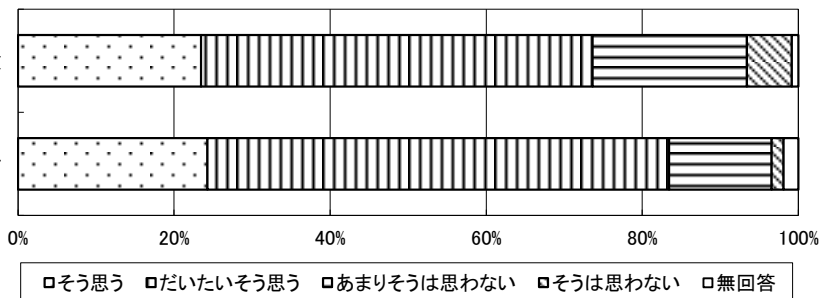
2 豊かな心⑤

- 自分は、思いやりがあるほうだと思う(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から3.3ポイント、生徒は平成25年度から0.5ポイント増加した。
自分は思いやりがあるほうだと思うと回答した児童は保護者より9.8ポイント低かった。

【小学校】

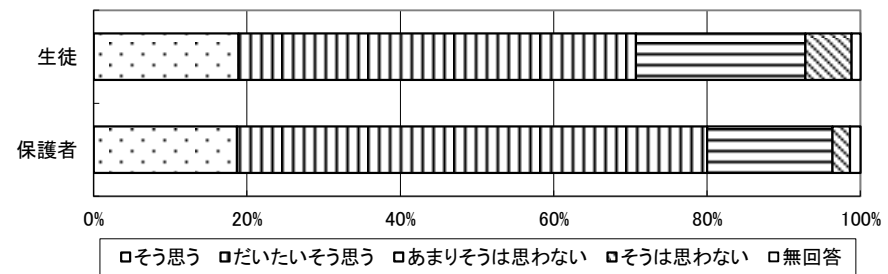
質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
自分は、思いやりが あるほうだと思いますか。	保護者	平成27	24.3%	59.2%	13.2%	1.5%	1.9%
	児童	平成27	23.4%	50.2%	19.8%	5.8%	0.8%
		平成26	21.1%	49.3%	22.5%	5.6%	1.6%
		平成25	19.5%	51.0%	21.7%	6.2%	1.7%

94



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
自分は、思いやりが あるほうだと思いますか。	保護者	平成27	18.7%	61.3%	16.4%	2.3%	1.4%
	生徒	平成27	18.9%	51.8%	22.1%	6.1%	1.1%
		平成26	20.3%	54.5%	19.5%	5.0%	0.7%
		平成25	17.1%	53.2%	22.6%	5.9%	1.2%

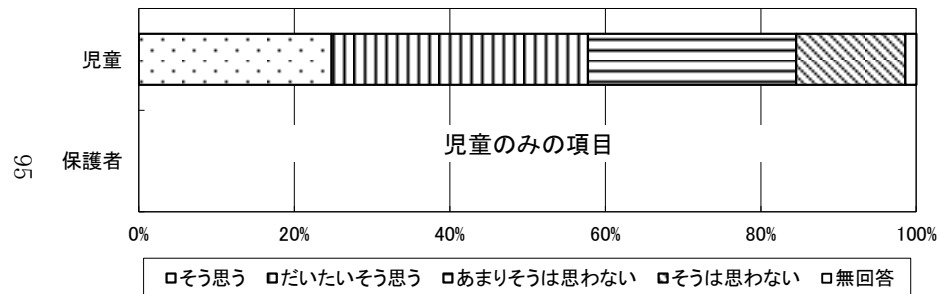


2 豊かな心⑥

■ 学校生活の中で感動することがありますか(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から1.8ポイント増加し、生徒は平成25年度から4.4ポイント増加した。

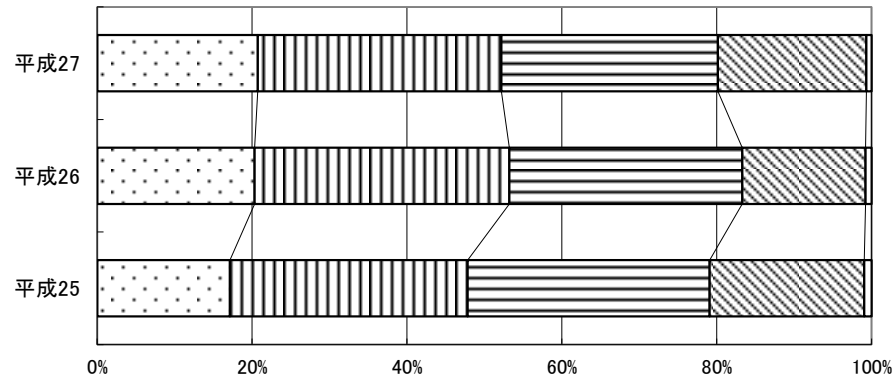
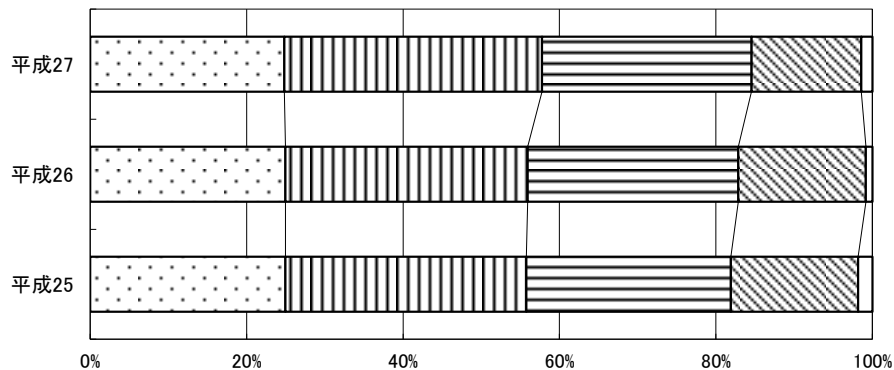
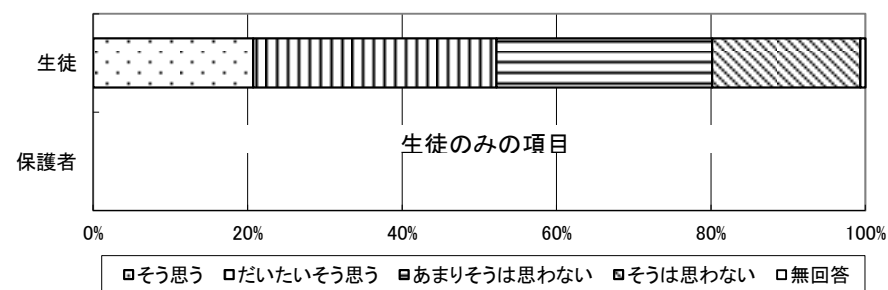
【小学校】

質問事項		選択肢					
		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答	
学校生活の中で感動することがありますか。	保護者	児童のみの項目					
	児童	平成27	24.8%	33.0%	26.8%	14.0%	1.4%
		平成26	25.0%	31.0%	26.9%	16.3%	0.8%
		平成25	25.0%	30.8%	26.2%	16.3%	1.8%



【中学校】

質問事項		選択肢					
		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答	
学校生活の中で感動することがありますか。	保護者	生徒のみの項目					
	生徒	平成27	20.7%	31.5%	28.0%	19.2%	0.7%
		平成26	20.3%	32.9%	30.1%	15.9%	0.8%
		平成25	17.1%	30.7%	31.2%	20.0%	1.0%



3 輝く未来①

■ 自分に向いているのは何か考える機会がある(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から0.7ポイント増加し、将来の生き方を考える機会がある(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒は平成25年度から平成28年度まで80%より高い値であった。また、児童は保護者より18.3ポイント、生徒は16.2ポイント高かった。

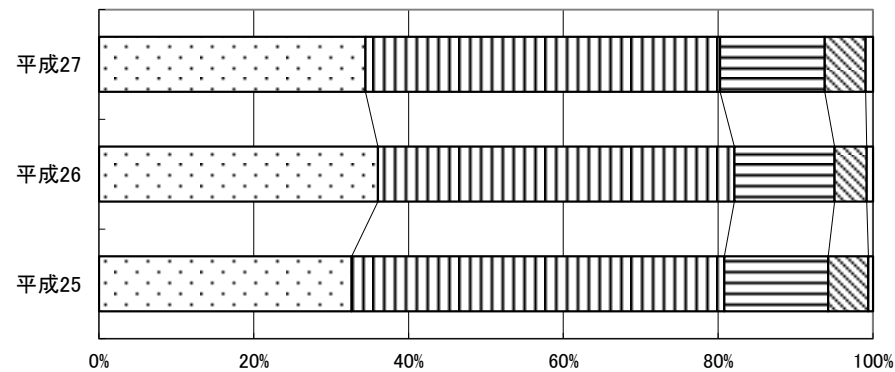
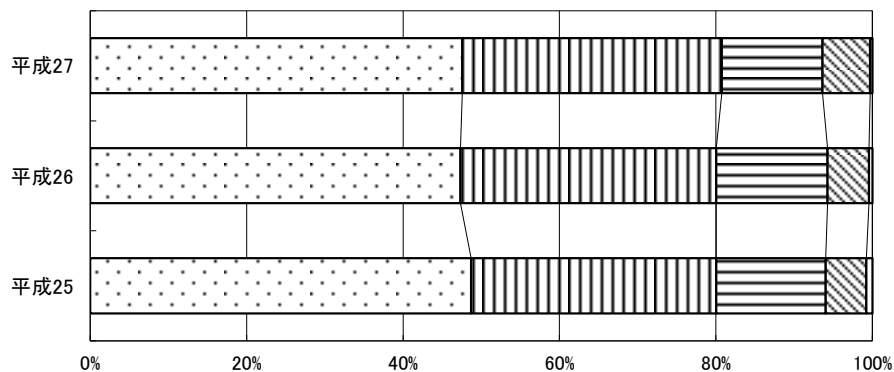
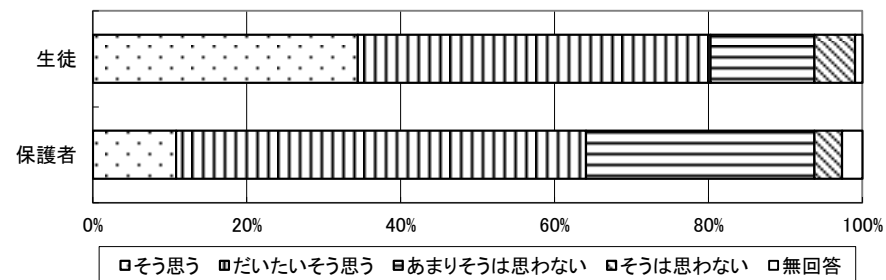
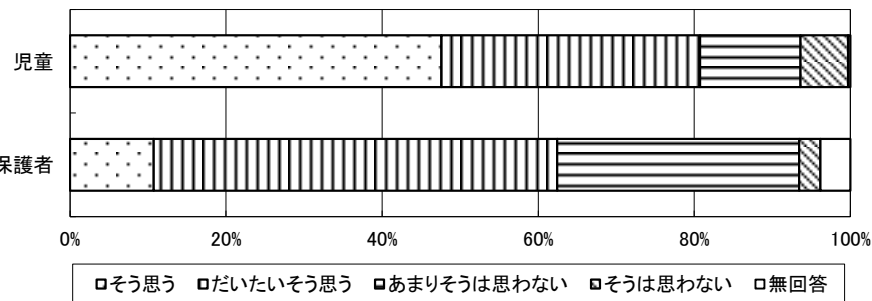
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
「自分の得意なものは何か」「自分に向いているのは何か」について考えることがありますか。	保護者	平成27	10.7%	51.7%	31.0%	2.7%	3.8%
	児童	平成27	47.6%	33.2%	12.9%	6.1%	0.3%
		平成26	47.3%	32.7%	14.2%	5.3%	0.4%
		平成25	48.7%	31.3%	14.0%	5.2%	0.8%

【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校は、あなたの将来の生き方について、考える機会を与えていると思いますか。(職場体験など)	保護者	平成27	10.8%	53.3%	29.7%	3.6%	2.6%
	生徒	平成27	34.4%	45.8%	13.5%	5.3%	0.9%
		平成26	36.0%	46.0%	13.0%	4.2%	0.8%
		平成25	32.6%	48.1%	13.4%	5.2%	0.6%

96



3 輝く未来②

■ 先生方は、将来の夢や目標などについて相談にのってくれる(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から3.5ポイント増加し、先生方は、進路について適切にアドバイスしてくれる(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒は平成25年度から0.3ポイント増加した。

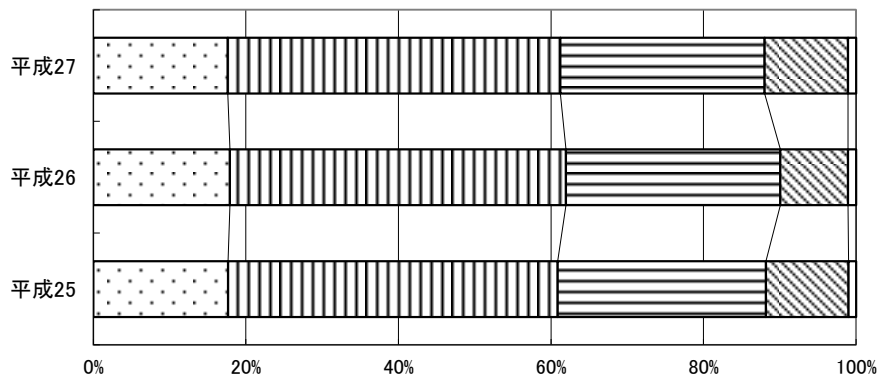
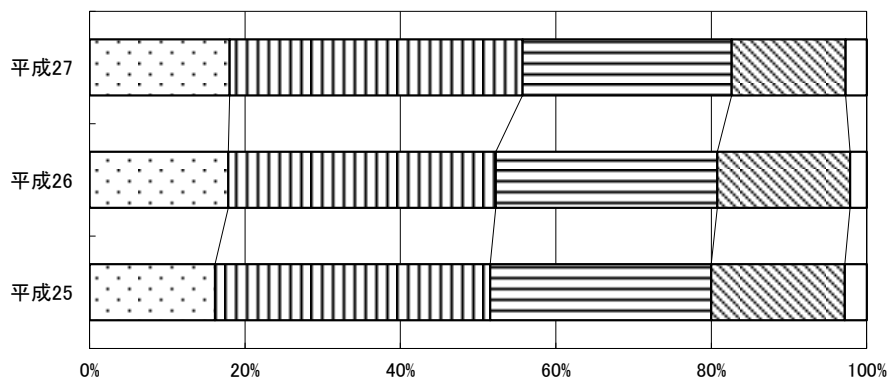
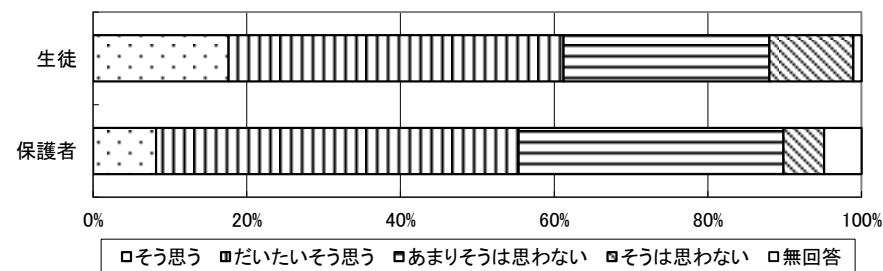
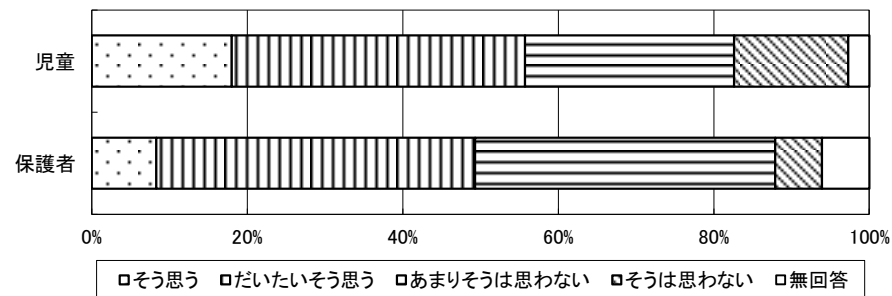
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
先生方は、将来の夢 や目標などについて 相談にのってくれま すか。	保護者	平成27	8.3%	41.0%	38.6%	6.0%	6.1%
	児童	平成27	18.0%	37.7%	26.9%	14.7%	2.7%
		平成26	17.9%	34.4%	28.5%	17.1%	2.2%
		平成25	16.1%	35.4%	28.5%	17.2%	2.8%

【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう 思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
先生方は、あなたが 知りたい進路の情報 や将来の生き方につ いて、適切にアドバ イスをしてくれていま すか。	保護者	平成27	8.2%	47.2%	34.5%	5.3%	4.9%
	生徒	平成27	17.6%	43.6%	26.8%	10.9%	1.1%
		平成26	17.9%	44.1%	28.1%	8.9%	1.1%
		平成25	17.6%	43.3%	27.3%	10.8%	1.0%

97



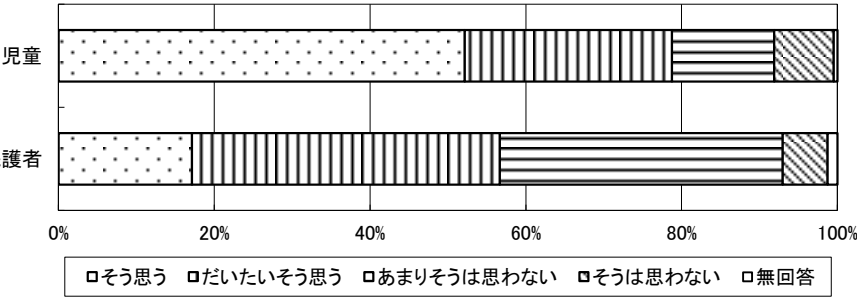
3 輝く未来③

■ 自分の将来について考えることがある(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成25年度から平成27年度まで78.8%より高い値であり、生徒は平成26年度から0.3ポイント増加した。
自分の将来について考えることがあると回答した児童は保護者より22.1ポイント、生徒は18.9ポイント高かった。

【小学校】

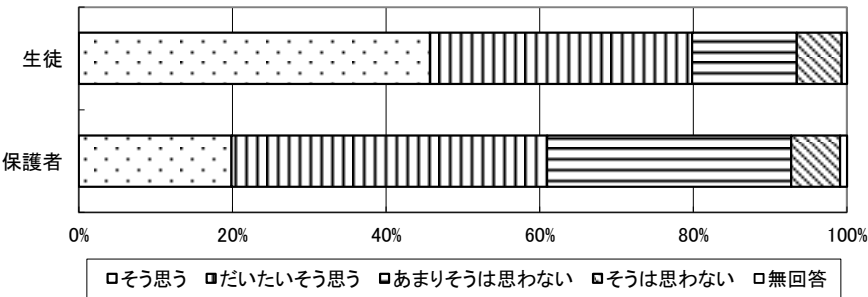
質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
自分の将来について 考えることがありま すか。	保護者	平成27	17.1%	39.5%	36.3%	5.8%	1.3%
	児童	平成27	52.1%	26.6%	13.1%	7.6%	0.5%
		平成26	54.5%	25.4%	12.3%	7.2%	0.6%
		平成25	53.4%	26.9%	12.2%	6.3%	1.2%

98



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
自分の将来について 考えることがありま すか。	保護者	平成27	19.9%	41.1%	31.8%	6.4%	0.9%
	生徒	平成27	45.7%	34.1%	13.6%	5.8%	0.7%
		平成26	44.6%	34.9%	13.9%	5.6%	1.0%
		平成25	42.5%	36.8%	13.6%	6.2%	0.8%

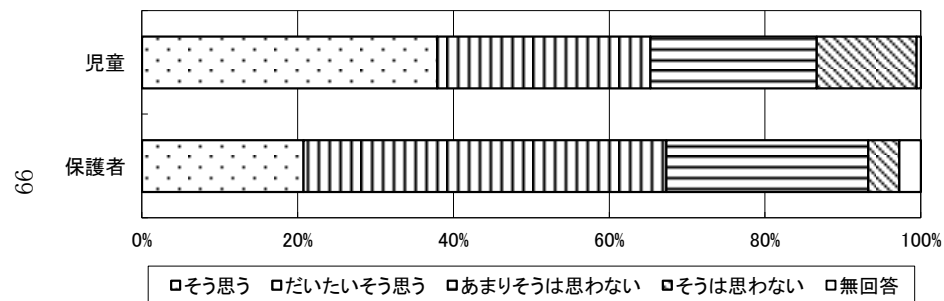


3 輝く未来④

- 家族と自分の将来について考えることがある(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度と同数であり、生徒は平成26年度から0.9ポイント増加した。
家族と自分の将来について考えることがあると答えた生徒は保護者より7.2ポイント低かった。

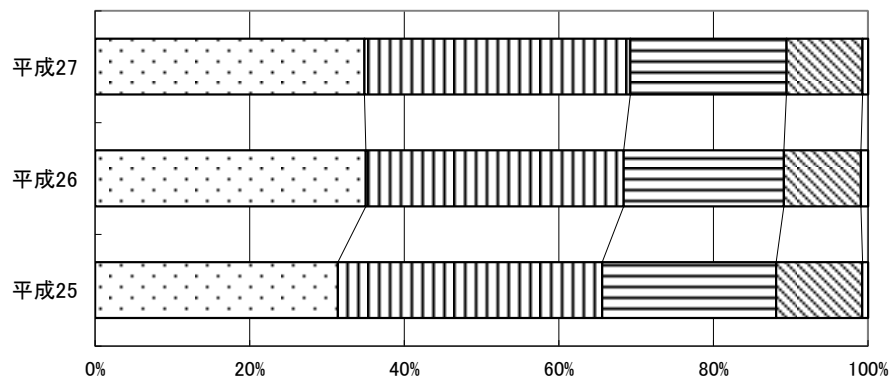
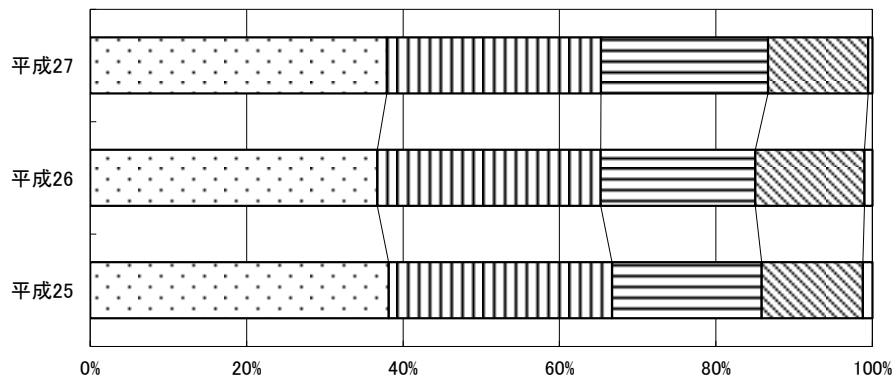
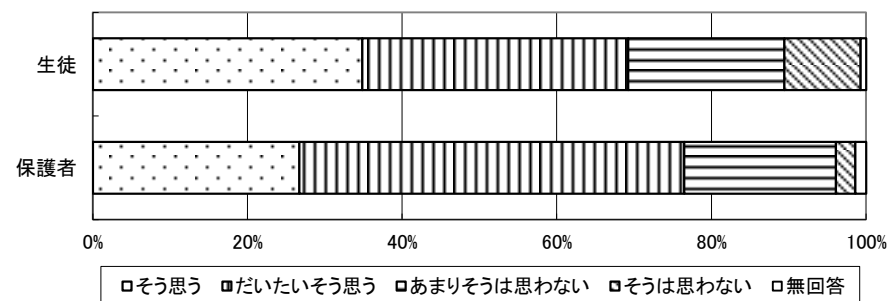
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
家族と自分の将来について考えることがありますか。	保護者	平成27	20.7%	46.6%	25.9%	4.0%	2.8%
	児童	平成27	37.9%	27.4%	21.4%	12.8%	0.5%
		平成26	36.7%	28.6%	19.8%	14.0%	1.0%
		平成25	38.1%	28.6%	19.1%	12.9%	1.2%



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
家族と自分の将来について考えることがありますか。	保護者	平成27	26.7%	49.8%	19.6%	2.5%	1.4%
	生徒	平成27	34.8%	34.4%	20.2%	9.9%	0.7%
		平成26	35.0%	33.4%	20.7%	10.0%	0.9%
		平成25	31.4%	34.2%	22.5%	11.1%	0.8%

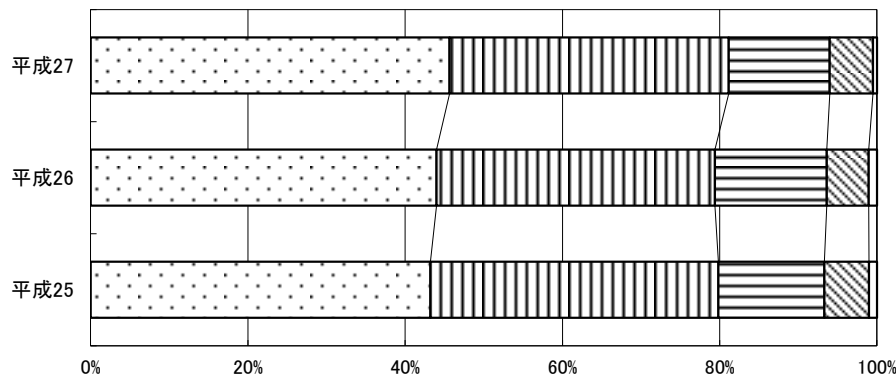
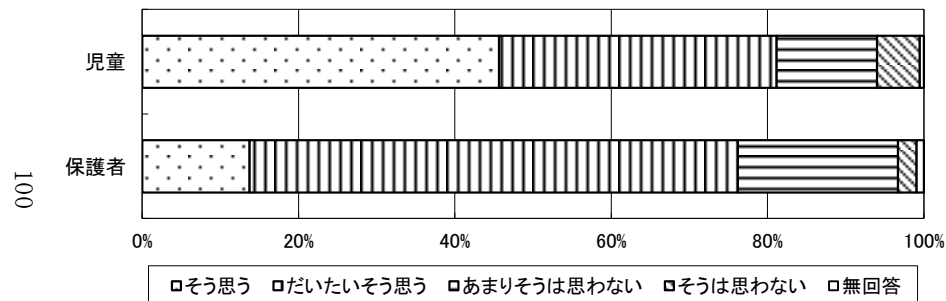


4 たくましい体①

- 学校生活を通して、自分の体力は高まっていると思う(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から1.8ポイント増加し、生徒は平成26年度から1.6ポイント増加した。

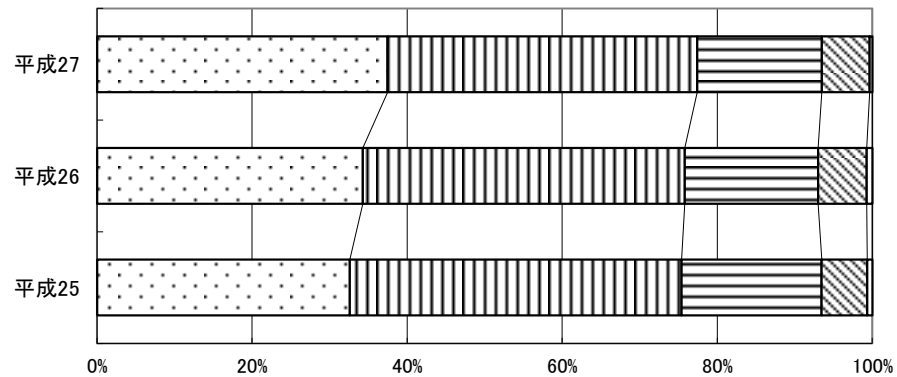
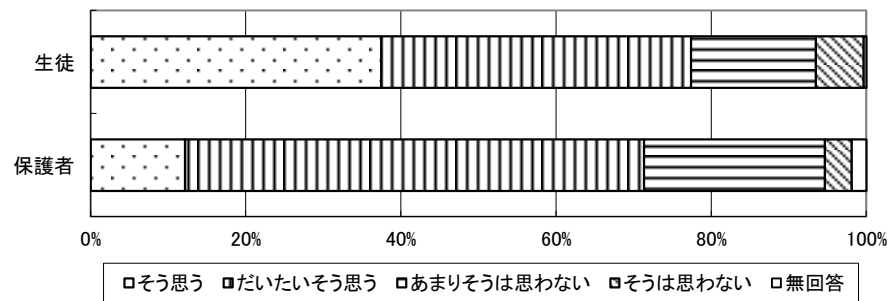
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校生活を通して、体力が付いてきていると思いますか。	保護者	平成27	13.7%	62.5%	20.5%	2.4%	0.9%
	児童	平成27	45.6%	35.5%	12.8%	5.5%	0.5%
		平成26	44.0%	35.4%	14.2%	5.4%	1.0%
		平成25	43.2%	36.6%	13.5%	5.7%	1.0%



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校生活を通して、自分の体力は高まっていると思いますか。	保護者	平成27	12.2%	59.2%	23.3%	3.4%	1.9%
	生徒	平成27	37.5%	39.9%	16.1%	6.2%	0.4%
		平成26	34.3%	41.5%	17.2%	6.3%	0.7%
		平成25	32.6%	42.8%	18.1%	5.9%	0.7%

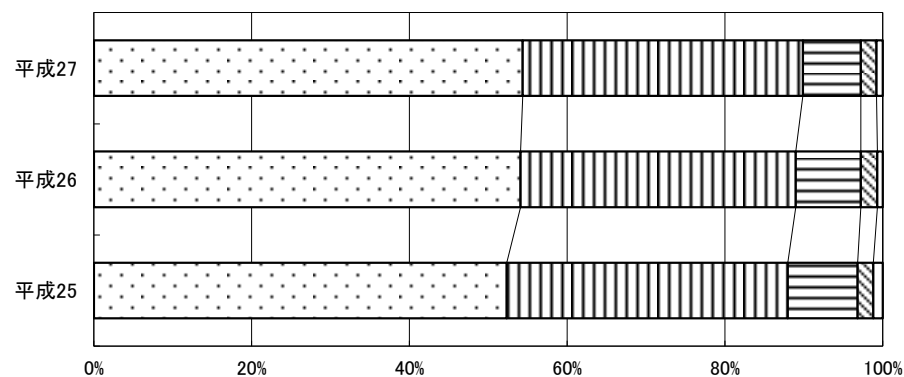
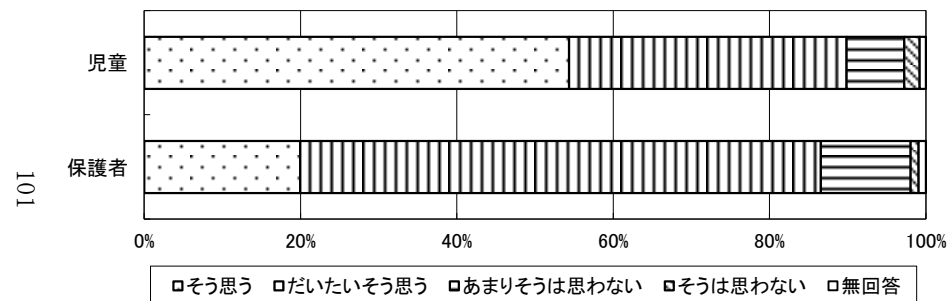


4 たくましい体②

■ 学校で、安全や健康について学ぶことがある(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から0.9ポイント増加し、生徒は平成26年度から1.8ポイント増加した。

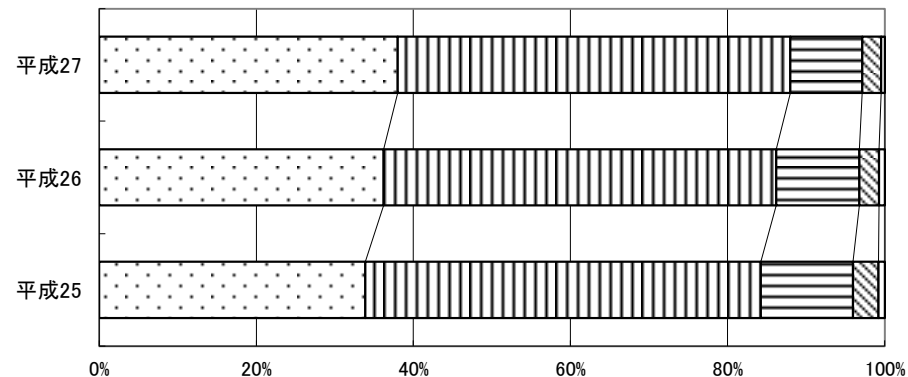
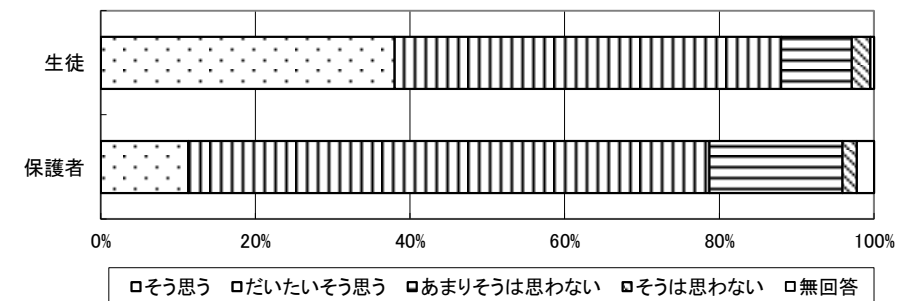
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校で、安全や健康 について学ぶことが ありますか。	保護者	平成27	20.0%	66.6%	11.5%	1.0%	0.9%
	児童	平成27	54.4%	35.5%	7.4%	2.0%	0.8%
		平成26	54.1%	34.9%	8.2%	2.1%	0.7%
		平成25	52.3%	35.6%	8.9%	2.0%	1.2%



【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは 思わない	そうは思わな い	無回答
学校で、安全や健康 について学ぶことが ありますか。	保護者	平成27	11.3%	67.4%	17.2%	1.9%	2.2%
	生徒	平成27	38.0%	50.0%	9.1%	2.4%	0.5%
		平成26	36.2%	50.0%	10.6%	2.5%	0.7%
		平成25	33.9%	50.3%	11.7%	3.3%	0.8%



4 たくましい体③

■ 学校で学んだ食事や栄養の知識は普段の食生活の中で生きていると思う(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から1.7ポイント増加し、生徒は平成25年度から3.2ポイント増加した。

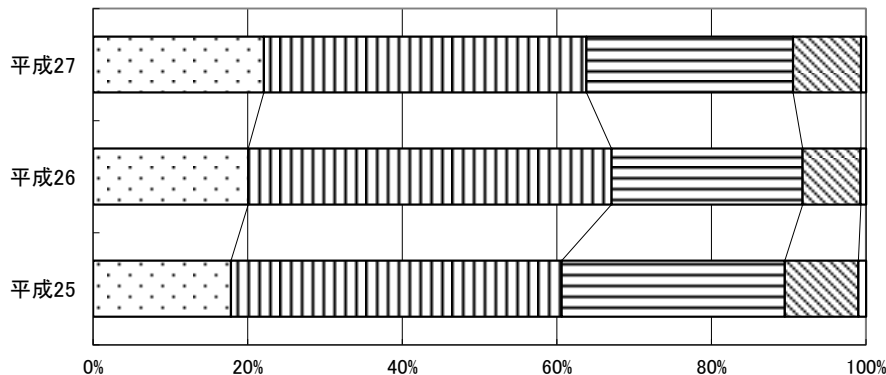
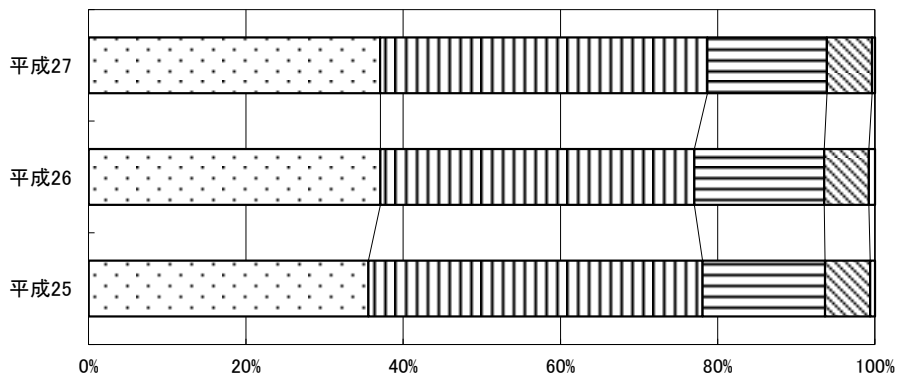
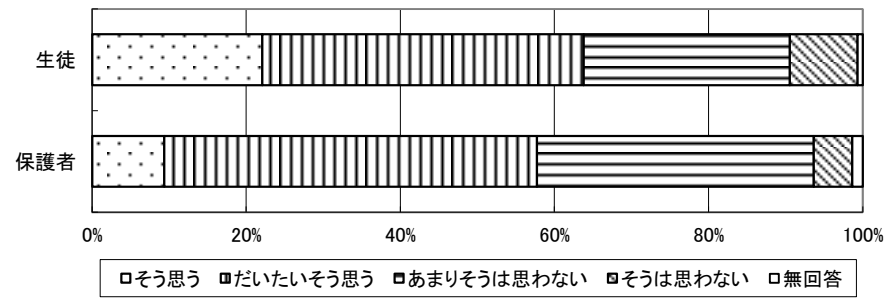
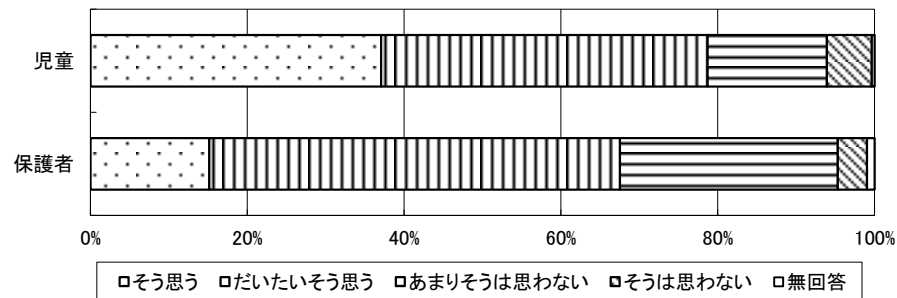
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校で学んだ食事や栄養の知識は生活の中で生きていると思いますか。	保護者	平成27	15.1%	52.4%	27.8%	3.7%	1.0%
	児童	平成27	37.1%	41.6%	15.2%	5.7%	0.4%
		平成26	37.1%	39.9%	16.5%	5.7%	0.8%
		平成25	35.6%	42.5%	15.6%	5.7%	0.6%

【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
学校で学んだ食事や栄養の知識は普段の食生活の中で生きていると思いますか。	保護者	平成27	9.4%	48.4%	35.9%	5.0%	1.4%
	生徒	平成27	22.1%	41.7%	26.8%	8.8%	0.7%
		平成26	20.0%	47.0%	24.7%	7.5%	0.7%
		平成25	17.8%	42.8%	28.9%	9.5%	1.0%

102



4 たくましい体④

■ 家庭や社会の一員として、お互いにいたわるように心がけていますか(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は平成26年度から2.8ポイント増加し、生徒は平成25年度から1.2ポイント増加した。

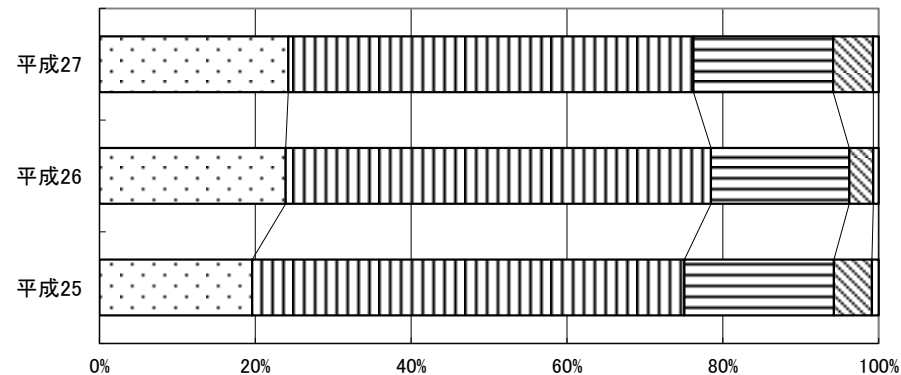
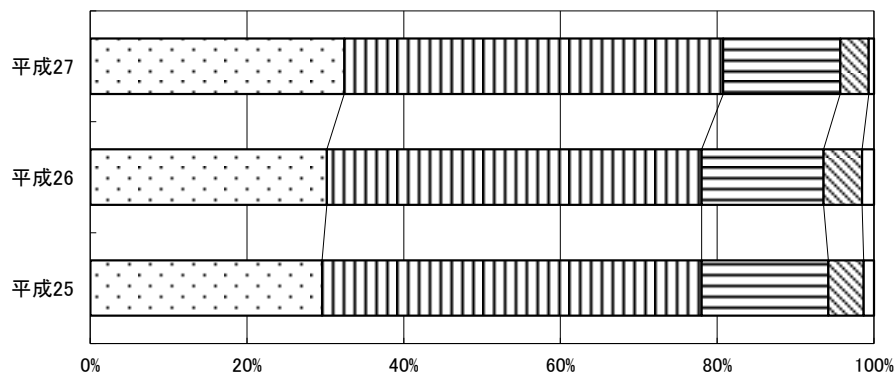
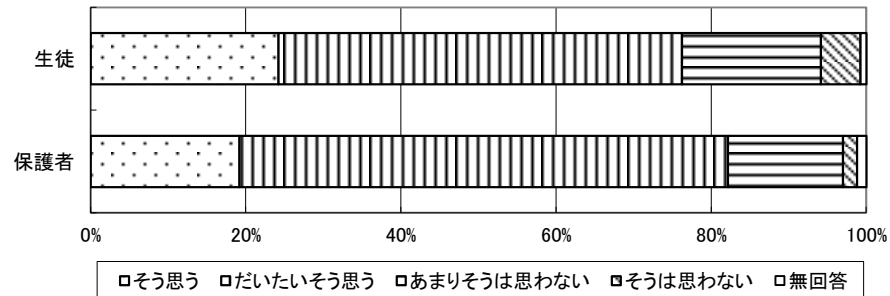
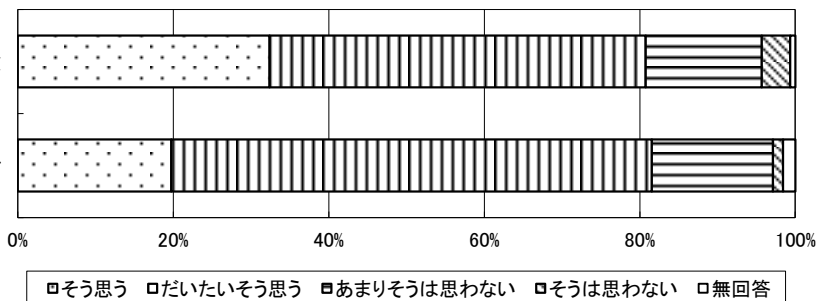
【小学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
家庭や社会の一員として、お互いをいたわりあうように心がけていますか。	保護者	平成27	19.8%	61.8%	15.6%	1.3%	1.6%
	児童	平成27	32.4%	48.4%	14.9%	3.7%	0.7%
		平成26	30.2%	47.8%	15.6%	4.9%	1.5%
		平成25	29.5%	48.4%	16.1%	4.5%	1.3%

【中学校】

質問事項			選択肢				
			そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
家庭や社会の一員として、異性を尊重し、お互いをいたわりあうように心がけていますか。	保護者	平成27	19.2%	63.0%	14.8%	1.8%	1.2%
	生徒	平成27	24.2%	52.0%	17.9%	5.1%	0.8%
		平成26	23.9%	54.6%	17.7%	3.1%	0.7%
		平成25	19.6%	55.5%	19.2%	4.9%	0.9%

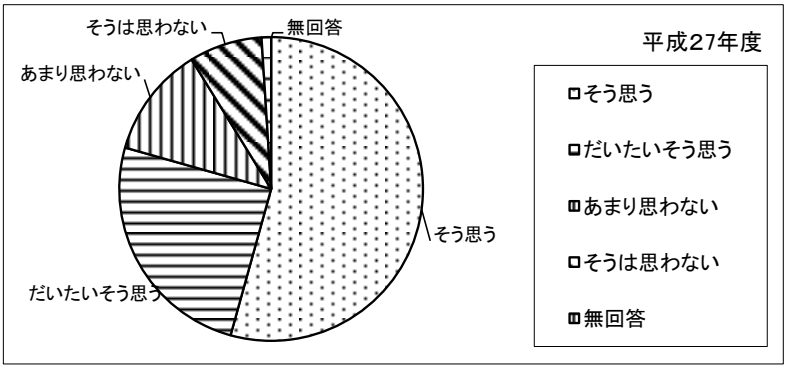
103



その他①習い事

【小学校】

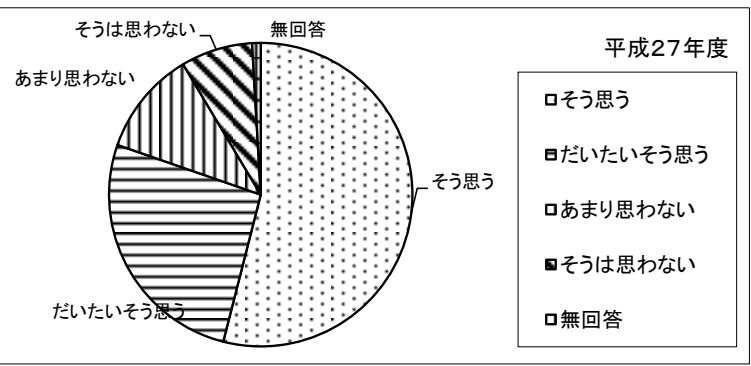
【その他①】	年 度	そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	そうは思わない	無回答
①土・日等休日は、学習・スポーツ・音楽などの活動を行い有意義に過ごしていますか。	27年度	54.3%	25.1%	11.8%	7.8%	1.0%



土・日等休日を有意義に過ごしている(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答している児童は、79.4ポイントである。

【中学校】

【その他①】	年 度	そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	そうは思わない	無回答
①土・日等休日は、学習・スポーツ・音楽などの活動を行い有意義に過ごしていますか。	27年度	54.0%	26.3%	11.1%	7.6%	0.9%

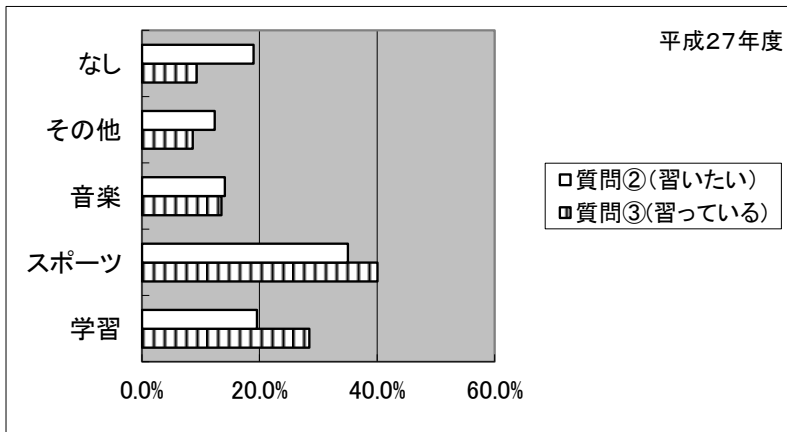


土・日等休日を有意義に過ごしている(「そう思う」「だいたいそう思う」と回答している生徒は、80.3ポイントである。

【小学校】

【その他①】	年 度	学 習	ス ポ ー ツ	音 楽	そ の 他	な し
②学習・スポーツ・音楽などを習いたいと思いますか。(複数回答可)	27年度	19.5%	35.0%	14.1%	12.4%	19.0%

【その他①】	年 度	学 習	ス ポ ー ツ	音 楽	そ の 他	な し
③学習・スポーツ・音楽などを習っていますか。(複数回答可)	27年度	28.5%	40.0%	13.5%	8.7%	9.3%

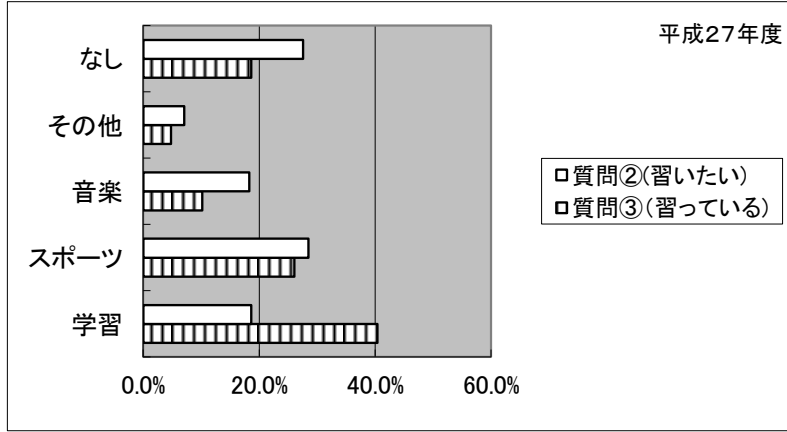


スポーツを「習いたい」または「習っている」と回答した児童のポイントが一番高い。学習を「習っている」児童のポイントはスポーツに次いで高い。

【中学校】

【その他①】	年 度	学 習	ス ポ ー ツ	音 楽	そ の 他	な し
②学習・スポーツ・音楽などを習いたいと思いますか。(複数回答可)	27年度	18.6%	28.5%	18.3%	7.0%	27.6%

【その他①】	年 度	学 習	ス ポ ー ツ	音 楽	そ の 他	な し
③学習・スポーツ・音楽などを習っていますか。(複数回答可)	27年度	40.4%	26.1%	10.1%	4.8%	18.6%

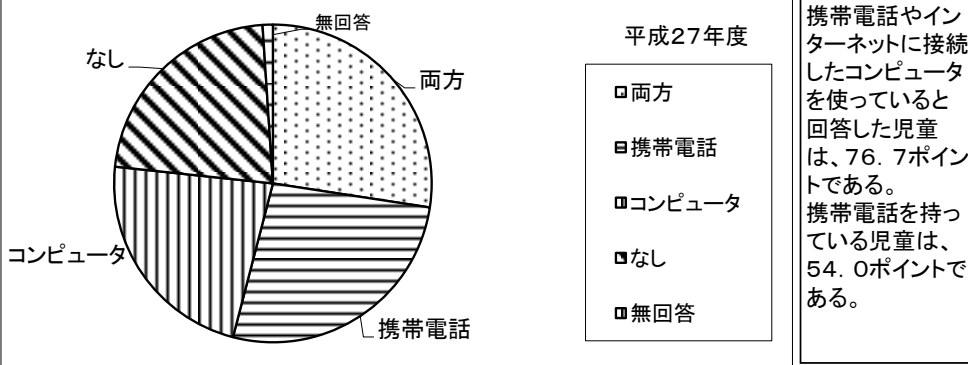


学習の項目において「習いたい」と回答している生徒より「習っている」と回答したポイントが高い。スポーツを「習いたい」と回答した生徒のポイントは学習や音楽よりも高い。

その他②携帯電話

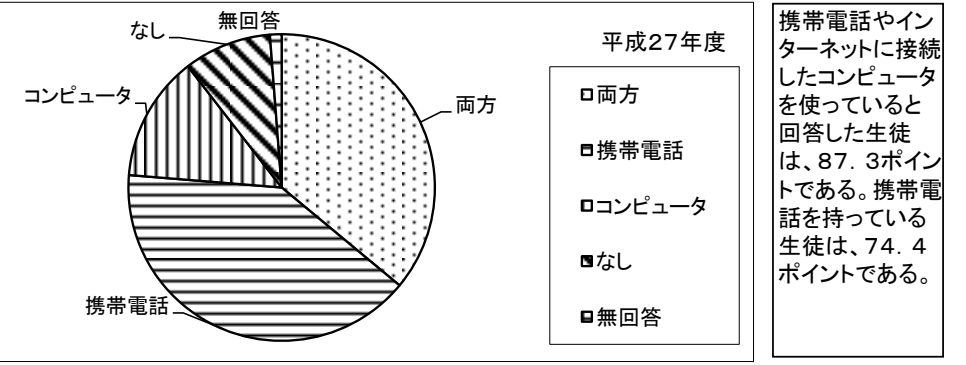
【小学校】

【その他②】	年 度	両方	携帯電話	コンピュータ	なし	無回答
①携帯電話やインターネットに接続したコンピュータを使っていますか(持っている)。	27年度	27.4%	26.6%	22.6%	22.3%	1.0%

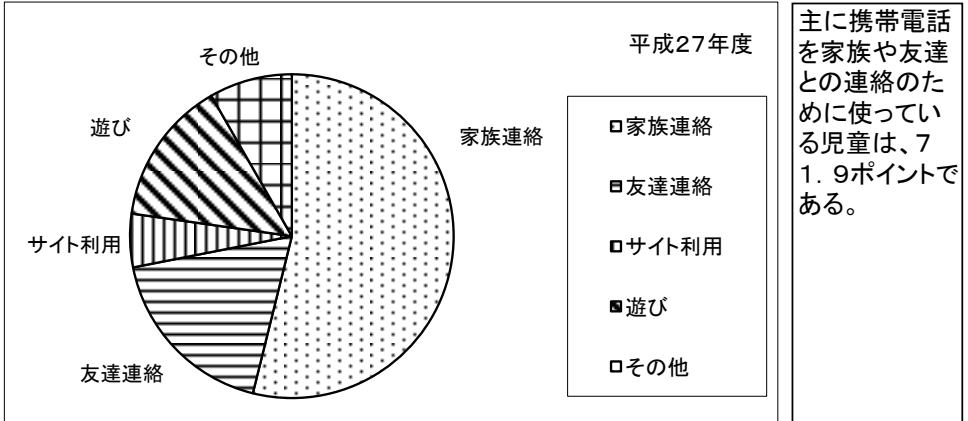


【中学校】

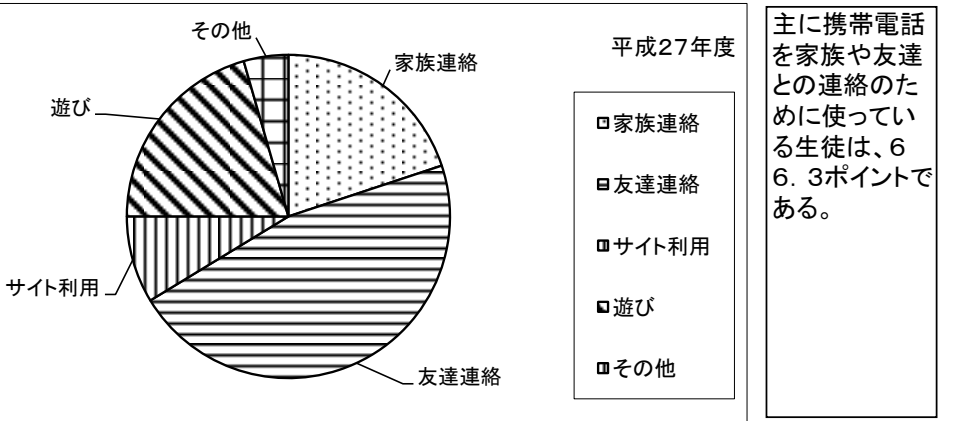
【その他②】	年 度	両方	携帯電話	コンピュータ	なし	無回答
①携帯電話やインターネットに接続したコンピュータを使っていますか(持っている)。	27年度	36.0%	40.3%	13.2%	9.3%	1.2%



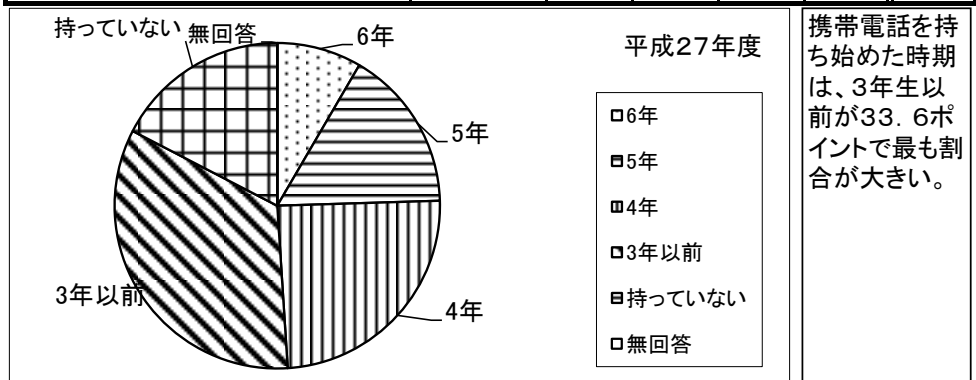
【その他②】	年 度	家族連絡	友達連絡	サイト利用	遊び	その他
②携帯電話の1番使っているのは次のうちどれですか。(①で「両方」「携帯電話」を持っていると回答した者のみ)	27年度	53.9%	18.0%	5.3%	14.5%	8.3%



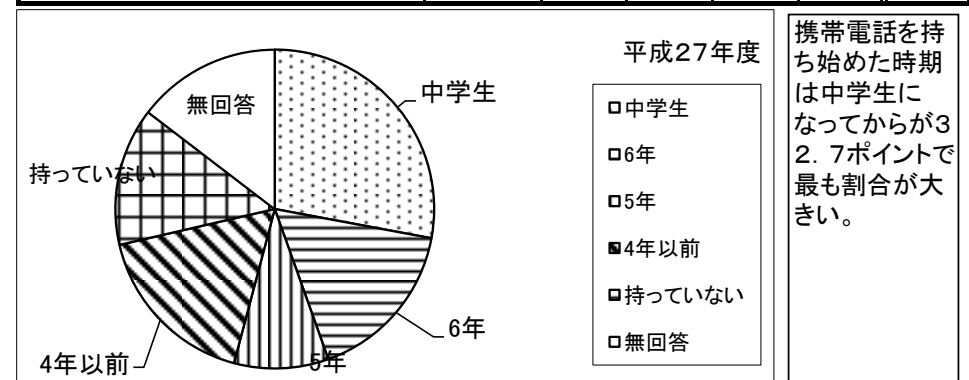
【その他②】	年 度	家族連絡	友達連絡	サイト利用	遊び	その他
②携帯電話の1番使っているのは次のうちどれですか。(①で「両方」「携帯電話」を持っていると回答した者のみ)	27年度	19.9%	46.4%	8.7%	20.5%	4.5%



【小学校】	※母数は全回答数					
【その他②】	年 度	6年	5年	4年	3年以前	持っていない
③いつから携帯電話を使っていますか。(①で「両方」「携帯電話」を持っていると回答した者のみ)	27年度	8.4%	16.1%	24.5%	33.6%	17.4%



【中学校】	※母数は全回答数					
【その他②】	年 度	中学生	6年	5年	4年以前	持っていない
③いつから携帯電話を持っていますか。(①で「両方」「携帯電話」を持っていると回答した者のみ)	27年度	32.7%	19.5%	11.2%	20.2%	16.4%



第5章 平成27年度「昭島市立学校教育推進計画」の数値目標及びそれに対する実績について

平成28年5月定例会で報告

学校名	平成27年度の目標	平成27年度末現在の結果・成果と課題
東小学校	1 全国学力・学習状況調査 国語A +2.0ポイント 国語B +5.0ポイント 算数A +2.0ポイント 算数B +5.0ポイント 2 東京都学力向上を図るための調査 国語 +2.0ポイント 社会 +1.0ポイント 算数 +2.0ポイント 理科 +2.0ポイント	1 全国学力・学習状況調査 国語A +5.7ポイント(+3.7) 国語B +5.4ポイント(+0.4) 算数A +3.2ポイント(+1.2) 算数B +2.0ポイント(-3.0) 理科 +4.4ポイント 2 東京都学力向上を図るための調査 国語 +0.7ポイント(-1.3) 社会 +0.2ポイント(-0.8) 算数 +1.8ポイント(-0.2) 理科 +3.6ポイント(+1.6) 3 全国体力調査における体力合計点 男子(5年) 61点 女子(5年) 59点 ○ 6年生の結果は今年度も都の平均を上回っている。国語については、今年度、東京都言語能力向上拠点校として研究を進めた成果が現れ、平均を大きく上回っている。 ○ 5年生は都の平均値を少し上回っている状況であり、今後も基礎学力の定着を図る必要がある。 ○ 東小の結果は全国や都の平均を上回っているが、二極化が顕著である。上位層の子どもが多い反面、下位層の子も多い。下位層の子どもたちの学力の定着・向上が課題として挙げられる。 ○ 運動能力については、全学年で立ち幅跳びの記録が平均を下回った。実施方法に問題があったかもしれないので見直しを行う。全体としては平均を上回っている。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
共成小学校	1 新出漢字定着度 87% 2 基本的計算技能定着度 85% 3 学校公開保護者参観率 80% 4 不登校児童 0名 5 本好きの児童全学年 100% 6 調べ学習などで学校の図書館利用率 80% 7 家庭学習の手引き、カードの活用度 100% 8 家庭学習に取り組んでいる児童 100%	1 新出漢字定着度 87.9% 2 基本的計算技能定着度 82.3% 3 学校公開保護者参観率の向上 4月 28 日(火) 60%、6月 21 日(土) 80%、9月 6 日(土) 85%、 11月 28 日(土) 83%、1月 16 日(土) 76% 4 不登校児童 0名の維持 5 本好きの児童は 98%である。 6 読書期間中の 1 日の読書率 15 分が最多(学校で 59%、家で 43%)。家で 1 時間～2 時間上 13%。読 み聞かせが楽しい 98%。 7 家庭学習の習慣の定着は 83%(児童)。 【成果と課題】 土曜補習等への参加意欲が見られた。家庭学習の取り組み 状況は、学期によつての差が見られる。個に応じた指導を行う。
富士見丘小学校	1 平成 27 年度都「学力向上を図るための調査」では、4 教 科の平均を都平均の 2. 5 P 以内を目指していく。 2 平成 27 年度「全国学力調査」では、国語の平均を国の平 均の 5 P 以内を目指す。算数は 4. 3 P を目指す。 3 一人当たりの図書貸し出し数 7 0 冊を越え、読書量を増や し学力向上を目指す。	1 全国学力調査 国語：国の平均の -6. 5 P (国語 A、-1. 7 P、国語 B、-10. 4 P) 算数：国の平均の -6. 5 P (算数 A-11. 2 P、算数 B-2. 6 P) 2 都学力調査 4 教科の平均は都平均の -5. 8 P となった。 <成果と課題> ○ 本物から学ぶ感動体験は、児童・保護者・地域から大変好評で、学習 意欲の向上やキャリア教育の推進に繋がった。 ○ 地域との交流給食は充実した取組ができ、好評であった。 ○ 全国学力調査での無回答率は減少し、各教科の関心意欲については、 上昇傾向にある。落ち着いた学級作りに取り組んだ成果である。都の 5 年生各教科の平均正答率が 5. 8 ポイント離れているのが課題である。来 年度の全国学力調査は、5 ポイント以内にしたい。特に算数の正答率が 低いので、5 ポイント以内を目指したい。 ○ 4 年生市の学力調査は、国語は物語の内容を読み取る力はあるが説明 文を読み取る力は平均を下回り、特に文を書く力が劣っている。算数は、 学習への関心・意欲が低く、全国・市の平均より下回っている。落ち着 いた学級環境を作り、くり返し学習が必要。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
武蔵野小学校	1 確かな学力の定着 ① 授業がよく分かる・・・90%以上 ② 家庭学習の定着・・・80% 2 豊かな心の醸成 ① 自分は思いやりがある・・・70% ② 感動することがある・・・50% ③ みんなと仲良く過ごせている・・・90% 3 健やかな体の育成 全国平均との差 ① 男子・・・-0.5ポイント ② 女子・・・+0.8ポイント 4 輝く未来に向かって ①学校のために役に立つことができた・・・80%以上	1 確かな学力の定着 ①91.3% ②78.2% 〈成果〉「授業がよく分かる」が目標を1.3%上回った。〈課題〉昨年度と比べて、「家庭学習の定着」が0.1%下回った。 2 豊かな心の醸成 ①68.7% ②44.7% ③89.0% 〈成果〉昨年度と比べて、「思いやりがある」が14.2%、「みんなと仲良く過ごせている」が1.2%上回った。〈課題〉昨年度と比べて、「感動することがある」が横ばいであった。 3 健やかな体の育成 ①-3.42ポイント ②-3.63ポイント 〈課題〉昨年度と比べて、男子9.8ポイント、女子3.67ポイント下回った。 4 輝く未来に向かって 60% 〈課題〉「学校のために役立つことができた」の目標を20%下回った。
玉川小学校	1 家庭学習（宿題以外も）に取り組む児童 75% 2 相談できる先生 60% 3 全国体力・運動能力体力合計点 男子 62点 女子 58点	1 家庭学習に取り組んでいると答えた割合 69.5%（内訳 児童 73% 保護者 66%） 2 相談できる先生がいると答えた割合 74.5%（内訳 児童 75% 保護者 74%） 3 全国体力・運動能力体力合計点 5年男子 54.6 女子 58.9 ＜成果と課題＞ ○ きめ細かい指導をし、全国・都の学力テストはそれぞれの平均を上回る結果だった。 ○ 全学年体力調査は、都・全国平均を超えるか、ほとんど同じという結果だった。 ○ 読書活動については、読書旬間を実施したり、図書ボランティアによる読み聞かせをしたが、児童自らがすすんで読書に取り組む姿勢を育てていくことが課題である。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
中神小学校	1 学力 東京都平均のレベルを目指す。 2 体力・運動能力 東京都平均を上回る種目の割合を、49%にする。 3 給食の残菜率 7.6%以下にする。 4 学級の安定 全学級を安定させる。 5 読書量 6%増を目指す。 6 図書ボランティア 人数7%増を目指す。	1 平成26年度 5年都平均からマイナス5.5ポイント、6年都平均からマイナス7.9ポイント、全国平均からマイナス5.8ポイント 2 平成26年度の体力等調査で、47%の種目で東京都平均以上 3 残菜率 4月から12月の平均6.6% (前年度から1.3%減) 4 全学級安定している。 5 読書量 4月から1月の前年比 2.1%減 (工事のため8月の貸し出し無) 6 図書ボランティア 20名 ・最盛時(23年度)21名のレベルに復活 ・24・25年度の15名から5名増
つつじが丘南小学校	1 全国学力・学習状況調査 (全国の平均正答率目標値) 国語A問題 -2.0ポイント 国語B問題 -3.7ポイント 算数A問題 -3.9ポイント 算数B問題 +4.1ポイント 2 都・学力向上を図るための調査 (都の平均正答率目標値) 国語 -1.5ポイント 社会 -0.9ポイント 算数 -0.5ポイント 理科 -1.8ポイント 3 長期欠席児童の減少 長期欠席児童 0名	1 全国学力調査(目標値との比較) 国語A -1.9 B -3.4 算数A -3.3 B -9.2 理科 -7.6 ○国語AB、算数Aで目標を達成した。 2 東京都学力調査(目標値との比較) 国語 -7.8 社会 -7.7 算数 -4.6 理科 -3.8 ○全ポイントが目標値に届かなかった。 ○特に国語Aが課題である。 3 長期欠席児童 1名(2名減)

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
つつじが丘北小学校	1 全国学力・学習状況調査 (全国の平均正答率目標値) 国語 A 問題 8.4 ポイント 国語 B 問題 10.4 ポイント 算数 A 問題 6.0 ポイント 算数 B 問題 7.5 ポイント 2 都・学力向上を図るための調査 (都の平均正答率目標値) 国 語 6.0 ポイント 社 会 4.0 ポイント 算 数 8.0 ポイント 理 科 7.0 ポイント 3 長期欠席児童の減少 長期欠席児童 0 名	1 全国学力調査(目標値との比較) 国語 A +1.5 B +1.1 算数 A +2.4 B +2.6 理科 12.2 ○算数 A の伸びが課題である。 2 東京都学力調査 (目標値との比較) 国語 -1.0 社会 -1.7 算数 -5.6 理科 -2.5 ○目標値には全教科届かなかったが、都の平均は数ポイント上回っている。 ○特に国語の取り出す力、社会の読み取る力・解決する力が課題である。 3 長期欠席児童 1 名 (1 名減)
光華小学校	1 3・4 年生：簡単な挨拶や返答の定着率 85% 2 5・6 年生：自己紹介や好みや考えを伝えることについて定着率 90% 3 学校園に児童全員 2 球ずつのチューリップを咲かせる。 4 敷地内や校舎周辺での学級プランター栽培実施率 100% 5 校舎壁面のグリーンカーテンを校舎の 60% 実施 6 文科省調査及び都調査、都平均に並ぶ。 7 読む・書く・計算することの定着率それぞれ 80% 8 読書量の対 23 年度比 10% アップ 9 図書館活用率対 23 年度比 25% 増 10 読書マスター達成率 80%	1 簡単な挨拶や返答の定着率 85～89% 2 学校園に児童全員 2 球ずつのチューリップを咲かせることができた。 3 敷地内や校舎周辺での学級プランター栽培実施率 100% 4 「緑のバトン運動」に参加。桜の苗を 80 株栽培し、岩手県の小学校に送付。 5 全国学力・学習状況調査(6 年)、東京都学力調査(5 年)の正答率が都平均・市平均を下回った。家庭学習の啓発も含め、学校と家庭とが連携しながら、漢字・計算をはじめとする基礎的な事柄の定着を目指していく。 6 芝生化工事が完了。新年度はポット苗作りなど芝生の維持管理への児童の参画を予定。 7 児童の体育に対する意識や意欲は向上したが、体力テストの結果の向上には至らなかった。意欲をいかに体力や技能の向上へとつなげていくかが今後の課題。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
成隣小学校	1 全国学力調査結果で全国平均より 国語 A は 4.0 以上、国語 B は 1.0 以上 算数 A は 6.5 以上、算数 B は 5.5 以上 2 東京都学力向上を図るための調査結果で都の平均より 国語は 1.0 以上、社会は 3.0 以上 算数は 3.0 以上、理科は 0.8 以上 3 授業がわかりやすいと答える児童が 90% 以上 4 毎日読書をする児童が 50% 以上 5 家庭学習が定着している児童が 75% 以上 6 不登校児童 1 名以内 7 給食の残菜率が学校全体で 5.0% 以下	1 全国学力調査結果 国語 A は +6.2、国語 B は +6.4 算数 A は +2.3、算数 B は +1.0 2 都の学力向上を図るための調査結果 国語は -2.3、社会は -5.7 算数は -0.7、理科は -4.1 3 授業がわかりやすいと答える児童は 92% 4 毎日 30 分以上読書をする児童は 15 分以上は 65% だが、30 分以上は 40% 5 家庭学習を毎日 30 分以上する児童は 全校の平均は 70% 6 不登校児童の減少：30 日以上欠席は 4 名 7 給食の残菜率の減少：学校全体で 2.5% <成果> ○ 授業改善が進み、わかりやすい授業の実践が行われている。 <課題> ○ 5 年生の基礎学力向上
田中小学校	1 サポートプロジェクト ① 全国/都の学力状況調査結果を上げる。 2 図書プロジェクト ② 地域親子図書館の年間延べ利用者数 1300 人をめざす。 ③ 児童一人あたりの年間図書貸し出し数を前年度より 2 冊増やす。 ④ 読書旬間を年 3 回行い内容を充実させる。 3 環境プロジェクト ⑤ 全校児童草取り集会 4 回、教職員草取り芝刈り随時、PTA や地域草取り 7 回、校庭使用団体草刈り 7 回実施。 4 未来プロジェクト ⑥ 多摩辺中学校との連携 ⑦ 職業体験の実施	① 全国学力・学習状況調査結果 国語 A …全国平均より +1.0 国語 B …全国平均より +1.7 算数 A …全国平均より -0.8 算数 B …全国平均より +1.7 理科 ……全国平均より +4.6 ・東京都学力向上を図るための調査 国語 …都平均より +1.5 社会 …都平均より -3.2 算数 …都平均より +2.2 理科 …都平均より +0.7 ②③④⑤ 目標達成。 ⑥ 多摩辺中学校との交流（音楽クラブ・多摩辺学級との合同落語鑑賞会）実施 ⑦ 市内 17 事業所の協力を得て、第 6 学年で職業体験を実施。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
拝島第一小学校	1 全国学力調査 平準化ポイント 2 ポイントアップ 国語 A94 B96 算数 A97 B97 2 東京都学力調査 (都を 50 を規準とした値) 国語 2 ポイントアップ 42 算数 2 ポイントアップ 42 (社会 41 理科 42) 3 市アンケート 確かな学力 「授業が分かる」 「授業の工夫」の項目の 保護者肯定率 90%以上 児童肯定率 85%以上	1 全国学力調査 結果…国語 A97 国語 B97 算数 A95 算数 B96 ○ いずれも、昨年度より上昇傾向にある。国語は目標値を超えることができた。ただし、算数に課題が残ったため、さらに個に応じた指導、授業改善、帯の時間の活用等に学校全体として、取り組んでいく。 2 東京都学力調査 結果…国語 46 算数 46 (社会 47 理科 45) ○ どの教科も、目標値を上回ることができた。今まで取り組んできた取組が現れている結果になった。ただ、都の結果よりは低いため、さらに学習の量や質を高めていく。 3 市アンケート 確かな学力 ○ 「授業が分かる」 保護者肯定率 86% 児童肯定率 94% ○ 「授業の工夫」の項目の 保護者肯定率 83% 児童肯定率 97%

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
栢島第二小学校	1 学力テスト 全国平均以上（基礎・基本の問題は、平均＋ 2 ポイント以上） 2 校内漢字/計算調査 平均習得率 87%以上 3 読書好き児童 全校の 87%以上 4 朝学習及び学習規律定着 全校の 92%以上 5 家庭学習定着率 平均定着率 85%以上	1 全国学力・学習状況調査（全国比） 国語 A +3.4 ポイント 国語 B +2.9 ポイント 算数 A +5.2 ポイント 算数 B +6.8 ポイント 2 都学力向上を図るために調査 4 教科都平均 -3.8 ポイント（速報値計算） 4 教科市平均 -0.5 ポイント 3 校内漢字・計算調査（3 学期平均習得率） 漢字 91.6% 計算 88.5% 4 読書好き児童 92.6%（1 学期末） 5 朝学習・学習規律定着率 70.2%（1 学期末） 6 家庭学習定着率 72.4%（1 学期末） 7 児童意識 ①挨拶 83.2% ②きまりを守る 65.9% 8 エネルギー摂取量 5 年：目安量の-638kcal 3 年：目安量の-100kcal 9 身体活動量総消費量 5 年エネルギー摂取量の+4kcal （前年度は-120 k c a l） 3 年エネルギー摂取量の-285kcal （前年度は-471 k c a l）

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
拝島第三小学校	1 国学力調査結果 A 問題 72% B 問題 50% を目指す。 2 通知表 C 評価を 7%以下	1 全国学力調査国語 A問題 66.6% B問題 60.8% 2 全国学力調査算数 A問題 71.6% B問題 39.7% 3 都学力調査国語 A問題 59.2% B問題 30.7% 4 都学力調査算数 A問題 67.6% B問題 39.1% 5 市学力調査国語・算数平均 基礎 61.8% 活用 48.9% 6 通知表 C 評価 1 学期 7.2% 2 学期 7.3% 都の学力調査から算数科ではD層の割合が 24.1%と前年度より減ってきていることから習熟度別指導の効果みられた。全体として基礎的・基本的な内容の定着に課題がある。デジタル教科書等の I C T 機器を活用して、視覚的に意味を理解させ、東京ベーシックドリル等を活用して確実に技能を定着させていく。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
昭和中学校	1 全国学力・学習状況調査 国語A問題 全国の平均正答率+0.6ポイント以内 国語B問題 全国の平均正答率+1.5ポイント以内 数学A問題 全国の平均正答率+1.4ポイント以内 数学B問題 全国の平均正答率+3.8ポイント以内 2 都・学力向上を図るための調査 5教科平均 都の平均正答率-2.5ポイント以内。 1教科は都の平均を上回る 3 不登校生徒 3.0%以内	1 全国学力・学習状況調査 国語A問題 全国の平均正答率+2.9ポイント 国語B問題 全国の平均正答率+1.5ポイント 数学A問題 全国の平均正答率+4.9ポイント 数学B問題 全国の平均正答率+2.0ポイント 2 都・学力向上を図るための調査 社会は大きく都の平均を上回ったが、英語が特に低い。 3 不登校生徒 3.0%
福島中学校	1 部活動加入率 90% 2 完全不登校生徒率 1.0%以下 3 全国学力調査 正答率全国比を上回る(活用・基礎) 4 WATによる学力診断 全国平均で3教科上回る 5 家庭学習1時間以上の生徒 20%以上 6 授業生徒満足度 85%以上 7 地域・保護者連携学校行事への保護者等参加者数のべ 230名以上 8 総合の生徒満足度 80%以上	1 部活動加入率は 87.3%と昨年度より増加している。また、部活動に所属していない生徒は、地域のクラブ等で活動している。 2 不登校傾向生徒への指導を全教員とSC、SSWで取り組み、完全不登校生徒率が 0.39%(1名)に留まった。 3 授業改善が進み、全国学力調査の正答率全国比で下回ったのが数学Aのみ-1.0となった。 4 「学習ハンドブック」、「E ライブラリ」を活用し家庭学習習慣の定着が見られる。(19%) 5 全教科、全教員が「生徒による授業評価アンケート」に取り組み、平均満足度が 89.2%に達した。 6 地域・保護者連携学校行事への保護者等参加者数のべ 250 名以上となり、信頼を得ることができた。 7 学校生活総合の生徒満足度が 88.4%となり、生徒は福島中での生活で成就感を得ることができている。全体的に充実した教育活動が展開できている。次年度もさらに授業改善に努め、基礎学力の定着を確かなものにしていく。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
瑞雲中学校	1 確かな学力の形成 ① <学習達成度> 観点別評価結果 →AorB（関心・意欲）：85% ② <授業満足度> 生徒の学校診断 →「ある」の回答：85% 2 生きる力の醸成 ① <学校居心地感>アンケート結果 →居心地感のよい生徒 70% ② <相談環境>生徒の学校診断 →相談できる人がいる 60%	1 確かな学力の形成 ① <学習達成度> 観点別評価結果 →AorB（関心・意欲）：91.1% ② <授業満足度> 生徒の学校診断 →「ある」の回答：80.0% 2 生きる力の醸成 ① <学校居心地感>アンケート結果 →居心地感のよい生徒 69% ② <相談環境>生徒の学校診断 →相談できる人がいる 44.3% <成果と課題> ○ 第1観点（関心意欲・態度）については、ほぼ目標を達成している。今後は、思考・判断・表現の力を高めていくことが課題である。
清泉中学校	1 生徒による授業評価の満足度において、85%以上にする。 2 都の学力調査において、都の平均値にできる限り近づける。 3 学習支援室の入室者の30%を教室に復帰させる。 4 不登校の出現率を3.0パーセント以下とする。 5 学校生活満足度を85パーセント以上とする。	1 平成 27 年度生徒による授業評価（年度末）において、「授業がわかりやすい」と答えた生徒は82.0%、「授業が工夫されている」と答えた生徒は84.0%であった。中間評価より数値は増加しているものの、昨年度に比較し、わかりやすさでは2.9ポイント、授業の工夫では2.4ポイント減少している。充実した授業の実施に向けて、尚一層の努力が必要である。 2 平成 27 年度の都学力調査において、都平均を100とすると、5科平均は89.1であった。昨年度に比べさらに7.6ポイント差が開いた。個に応じた指導を充実させ、生徒が意欲的に学習できる環境作りに力を入れる。 3 不登校の出現率は、今年度2.26%となり、昨年度より0.77%低下した。また、適応指導教室や学習支援室に入室を希望する生徒が増加し、学習支援室には、昨年度は3名入室していたが、現在7名の生徒が入室し、普通教室への復帰に向けて努力している。平成 28 年度も関係機関と連携しながら、不登校生徒の出現を抑え、不登校生徒の早期復帰を目指していく。 4 生徒による学校評価アンケートによると、平成 27 年度に「学校が楽しい」と答えた生徒の数は85.5%であり、昨年度に比べ0.2ポイント微増している。今後も引き続き、生徒の充実感を高められる指導を工夫していく。

学校名	平成 27 年度の目標	平成 27 年度末現在の結果・成果と課題
拝島中学校	1 国・都の学力調査において-1 ポイント値を目指す。 2 学習支援室 教室復帰 5 割 3 生徒の授業満足度 85%以上 4 土曜講座参加者満足度 90%以上 5 英検対策 参加者 90%以上の合格率	1 全国学力状況調査 平均値-3.1 ポイント 2 東京都学力向上調査 5教科平均値 0.16 社会・数学・理科の3教科において都の平均値を超えた。 3 授業アンケート 90% 4 土曜講座 88% 5 英検対策 準2級 2名合格
多摩辺中学校	1 各教科観点別評価（関心・意欲・態度） → A または B である割合： 80%以上 2 学校以外での1日の勉強時間 → 1時間以上： 50%以上 2時間以上： 20%以上 3 各種検定受験者（3学年） → 漢検3級以上： 50% 英検3級以上： 50% 数研5級以上： 30% 4 不登校生徒（年間30日以上） → 3%以下	1 各教科観点別評価（関心・意欲・態度） → 1学年：5科（社・数・保体・技家・英）で達成 2学年：3科（社・保体・技家）で達成 3学年：全科で達成 ⇒ 各学年・全教科で目標（80%）を達成させていくことが課題である。 2 学校以外での1日の勉強時間 → 1時間以上： 68.0% 2時間以上： 29.9% ⇒ 2時間以上を5ポイントアップさせることが課題である。

第6章 点検及び評価に関する有識者からの意見

早瀬 健介

(東京女子体育大学准教授)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成27年4月より教育委員会制度は約60年ぶりに大きく転換、自治体の長(首長)の関与が強まることとなった。

ともすればタテ系列の教育行政となりがちな中において、地域住民や地域コミュニティ等とのヨコのつながりを大切にし、その機能が形骸化することなく責任の所在の明確化とともに、昭島市民の民意も活かす教育委員会活動が一層期待されている。

直接地域住民に影響を及ぼす市町村行政だからこそ、その役割には極めて大きなものがあり、教育委員会活動についての点検・評価を行い市民に公表することは、更なる発展のためにも必要なことといえる。

昭島市においては学校教育・生涯学習振興の教育目標実現のための最上位計画である『第2次昭島市教育振興基本計画(平成27～32年度)』を平成27年1月に策定、教育施策推進の方向性を具体的に示すとともに本年度4月より教育施策及び事業を行ってきた。

当該計画は、プラン1～4が学校教育、プラン5が生涯学習の計5つのプランからなり、各項目において具体的施策展開が示されている。本計画が平成32年度までの6年間にわたるものであることより、平成27年度にとりわけ重点を置いて取組がなされた施策を中心に意見を述べる。

プラン1 確かな学力の定着

昨年度の点検評価に関する意見にもあったように、依然として全国学力調査結果との比較について課題がある。それらに対応し習熟度別指導等の充実や土曜日や放課後等の補習の充実等を行っていることは評価したい。しかしながら、本来それを必要としている児童・生徒に事業実施者の意図が届いているのか、また教育基本法第10条「家庭教育」にもあるように、保護者においても家庭教育の在り方について今一度考えていただく必要もあるのではないだろうか。

個に応じた指導の充実に関しては、平成25年2月策定の『特別支援教育推進計画』に基づき取組が進められているようであり、平成28年4月開設の特別支援教室を前倒しで前年10月にプレ開設したことは評価したい。しかし、この「個に応じた指導」に関しては不登校傾向のある子どもに対する対応やその他にも様々な課題もある。更なる取組を期待したい。

プラン2 豊かな心の醸成

小・中学校におけるいじめの認知件数が、平成26年度と比べ倍ほど件数がふえてい

る状況が明らかになり、中学生徒会を中心に話し合いの場を設けたことについては一定の評価をする。しかし、いじめの根は深く認知件数は氷山の一角でしかないと考えられ、個々の児童・生徒において、『いじめ』は卑怯な行為であり、人として恥ずかしい、恥ずべき行いであることを、十分に理解させる取組等、更なる充実が求められる。

プラン3 健やかな身体の育成

子どもの体力向上については、平成の時代に入ってから一貫して言われてきていることであり、地方自治体も学校現場においても様々な取組を行ってきている。スポーツ庁を中心に行う「体力・運動能力調査」、「体力・運動能力・運動習慣等調査」結果を参考にプログラム作成をすることにやぶさかではないが、普段から児童・生徒がおもわず身体を動かしたくなるような環境づくりが大切である。

いよいよ4年後にこの東京を中心にオリンピック・パラリンピックが開催される。おそらくもう二度と無いこのチャンスを活かす、市民企業(昭島に拠点を置く企業)も巻き込んだ、東京都昭島市ならではのスポーツ活動プログラム作成をぜひとも期待したい。

プラン5 生涯学習の推進

長年の懸案であった『(仮称)教育福祉総合センター』設立に関し、業者選定・基本設計が行われ、今後平成31年の開設に向けて詳細設計・工事が進められることとなった。昭島市における生涯学習推進には大きな動きといえる。完成の際には昭島市民はもとより近隣住民から複合型大規模生涯学習施設として大きな期待が寄せられることより、今から当該施設に「学びの回遊」にふさわしい入念なソフトの構築を期待したい。

また、文科省の策定した「スポーツ基本計画」を参酌し「昭島市スポーツ振興計画」・「第五次昭島市総合基本計画」等を受け、『昭島市スポーツ推進計画』を平成28年3月に策定したことは評価したい。ともすれば競技スポーツばかりに目が行きがちな昨今において、地域スポーツ振興を見据えた計画の策定そして実現に向けた取組は重要であり、そのためにも時代に即応した計画は必要である。この推進計画を絵に描いた餅にしないためにも、そして2020東京オリンピック・パラリンピックを通過点に大きく進展する可能性のある地域スポーツ振興を念頭に計画の実施に取り組んでいただきたい。

教育委員会事業は、このほかにも「小中一貫教育校」設立に向けた取組や、家庭教育充実に向けた具体の取組、文科省も推進している「スクールインターシップ事業」、学舎でもある学校をはじめとする教育環境の整備、図書館活動、文化・芸術活動など、その取組は多岐にわたり、当然のことながら課題も山積している。この報告書からも明らかなように、教育委員会活動の全ての取り組みについて、大きく進展、大きな成果を上げることが極めて困難である。大切なのは僅かずつでも改善をしていくことである。教育行政にはこれでもう充分であるといったゴールは無いため、現状を把握し次のステップを明確に定めることが重要である。

何かと苦勞の絶えない教育委員会ではあるが、次年度が現在と比較した時、より良くなるべく努力していただいていることに心より感謝をする。

平成 27 年度は、新たな教育活動の推進に向けた「第 2 次昭島市教育振興基本計画」に基づく教育施策および事業が実施された最初の年度でした。主要施策(プラン 1～5)の取組状況は全体的に手堅く遂行されている印象を受けました。個々の項目についてとくに気付いたことを中心に、意見を述べさせていただきます。

プラン 1 確かな学力の定着

市独自の学力調査のほか、国および都の調査を実施、残念ながらほとんどの教科で、昭島市は国・都の平均を下回るという結果が出ました。全国的に子どもの貧困と教育格差の問題が指摘されていますが、昭島市でも同様の背景があるものと推察されます。しかし、「所得格差」「地域間格差」を言い訳にこの結果に甘んじるわけにはいきません。義務教育の中で学校ができる施策はまだ残されていると私は考えています。その点で 27 年度に行った「授業改善推進プラン」、さらに「習熟度別指導等の実施」「土曜日・放課後補習の実施」などの取組は評価できます。これからも、子どもたちの学力定着のために学校教育ができることを地道に取り組み、本基本計画の最終年度(平成 32 年度)には全国平均を上回る学力調査の結果が出ることを期待しています。

プラン 2 豊かな心の醸成

小・中学校でのいじめによる事件が後を絶ちません。昭島市では平成 27 年度のいじめ認知件数が前年度の倍程度増えたとのこと。これは“児童・生徒へのアンケート調査の継続と教員への信頼の結果で、これまで見過ごされていたいじめが顕在化されたため”と分析されていましたが、その通りならとても良い傾向だと考えます。「いじめ防止会議」「中学生ネットいじめ防止サミット」等の取組を形骸化させることなく、心の通った施策として継続していただきたいと思います。

プラン 3 健やかな身体の育成

2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けて、子どもたちのスポーツへの関心は高まってきています。昭島市の校庭の芝生化はすでに小学校 11 校、中学校 3 校、13,100 m²となり、児童・生徒の運動能力向上に大きな役割を担っているものと思われます。「クリケットのまちづくり」については、市内中学校合同のクリケット部の創設が今後の取組として挙げられています。この部分はもっと市外にも P R すべきかと考えます。クリケットは競技人口の少ないマイナーなスポーツではありますが、地域おこしの格好の素材であることは間違いありません。教育振興基本計画策定の背景と趣旨として、「子どもたちにとっての『ふるさと』である昭島市を誇りに思える教育施策を展開し～」とありますが、クリケットを通じて“ふるさと愛”をはぐくむことができるのではないのでしょうか。

プラン4 輝く未来に向かって

教育委員会が家庭学習の定着や生活習慣の充実についてできることは限られていますが、「家庭・地域の教育力向上」は非常に重要な課題であるので、より具体的な施策を立案し、着実に取り組んでいく必要があると考えます。また細かいことですが、「国際理解教育の推進」で中学生英語キャンプ定員30人に対し応募が14名だったと記されていました。応募者が少なかった要因についての洗い出しは行ったのでしょうか。海外交流事業では定員の4倍もの応募があったとのこと。このミスマッチは検証が必要です。事業プランを再検討し修正していくべきと考えます。

プラン5 生涯学習の推進

今回、生涯学習推進の中で一番目を引いたのは、(仮称)教育福祉総合センターの基本設計です。図書館を核に、郷土資料室、既存校舎、既存体育館が連携した“学びの回遊”の場がどのように造られていくのか、非常に楽しみであり、期待が高まります。基本設計にあたり市民参加のワークショップを開催するなど、市民の生の声を取り入れている点にも注目しました。

「土曜地域ふれあい事業」や「文化財ボランティアの育成」などシニア層がいきいき活躍する場をつくる取組も評価できます。今後ますますこの分野の企画の充実が求められるでしょう。

また、市民意識調査で図書館の利用頻度が低いという結果が出たことを受け、平成27年度は2万冊超の図書購入や近隣市図書館との連携など市として努力をしていることが読み取れました。中・高校生の読書フォーラムでビブリオバトルを実施するなど若い世代の取り込みにも積極的に取り組んでいる様子もうかがえます。これらの取組の成果は、近い将来必ず現れてくるものと期待しています。